

三芳町町民意識調査報告書

平成17年 5 月

三 芳 町

三芳町町民意識調査報告書

平成
17
年
5
月

三
芳
町

三芳町町民意識調査報告書

平成17年 5 月

委託者：三芳町役場 企画財政課
〒354-8555 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保1100番地 1
電話：049-258-0019（代）

受託者：(株)サーベイリサーチセンター
〒116-8581 東京都荒川区西日暮里 2 - 40 - 10
電話：03-3802-6724

I 調査の概要

II 調査結果の概要

III 調査結果の詳細

IV 參考資料

目 次

I 調査の概要	3
1 調査目的	3
2 調査項目	3
3 調査設計	3
4 回収結果	3
5 報告書の見方	3
6 調査回答者の特性	4
II 調査結果の概要	9
III 調査結果の詳細	13
1 まちの住みやすさ	13
（1）居住理由	13
（2）住みやすさ	15
（3）住みやすいと感ずる理由	17
（4）住みにくいと感ずる理由	19
（5）以前と比べて三芳町の住みやすさ	21
（6）定住意向	25
（7）住み続けたくない理由	27
2 町の現状についての満足度	29
（1）町の現況に対する満足度	29
（2）町に対する愛着	40
3 地域内の様子について	42
（1）よりよい地域をつくっていく雰囲気や土壌	42
（2）地域活動や交流への関心	44
（3）自治会や町内会についての考え方	46
（4）参加したい地域活動	48
4 町行政運営について	50
（1）町政への関心	50
（2）町政に関心がある理由	52
（3）町政に関心がない理由	52
（4）町政や町の行事の情報収集方法	53
（5）町政に意向を伝える方法	55

(6) 行政運営に対する要望	56
(7) 力を入れるべき施策	57
5 町の将来イメージ	70
(1) 町に望む将来のイメージ	70
(2) 町の現在のイメージと期待するこれからのイメージ	72
(3) 町の誇りや宝、シンボル等	74
6 自由意見	76
IV 参考資料	83
町民意識調査調査票	83

はじめに

このたび、平成17年2月に実施しました「三芳町町民意識調査」の結果がまとまりましたので、お届けいたします。

平成8年に策定しました「第3次総合振興計画」では、町民一人ひとりの「心の豊かさ」を求め「ひと・みどり・ぬくもりのまち」を将来像に定め、年毎のローリングにより、町政の各分野に積極的に取り組んで、その実効性を確保してまいりました。

今、経済情勢は回復の兆しが見えはじめたといわれますが、依然として中小企業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。地方財政についてもその動向を注視しながら財政運営をしていく必要があります。

また、地方分権の進展の中では、地域の問題は住民自らが選択し決定するシステムとなってまいります。今後、自治体としての責任はますます重くなってくるとともに、町民の皆さまと協働してまちづくりを進めていくことが大切になってまいります。

このような状況の中、第4次総合振興計画の策定にあたって行われた今回の調査は、町民の皆さまの声を計画に反映させ、また、町民と行政によるパートナーシップのまちづくりの契機となることを願って実施したものです。

この調査結果を十分に検討し、新計画の策定や町政運営に生かしてまいりたいと思います。また、関係各位におかれましても、この調査結果を有効にご活用いただければ幸いです。

おわりに、調査にご協力いただきました多くの町民の皆さまに心からお礼申し上げますとともに、今後とも町政に対するご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成17年5月

三芳町長 林 孝 次

I 調査の概要

1 調査目的

「三芳町町民意識調査」は、今後のまちづくりの基本的な指針となる「三芳町第4次総合振興計画」策定のための基礎資料として、まちづくりに関する町民の意見・意識を客観的に把握するために実施するものである。

2 調査項目

- (1) まちの住みやすさ
- (2) 町の現状についての満足度
- (3) 地域内の様子について
- (4) 町行政運営について
- (5) 町の将来イメージ

3 調査設計

- (1) 調査地域 三芳町全域
- (2) 調査対象 三芳町に居住する20歳以上の男女
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為に抽出
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配布－郵送回収）
- (6) 調査時期 平成17年2月3日～2月18日

4 回収結果

項目	内容
配布票数	2,000票
有効回収数	1,117票
有効回収率	55.9%

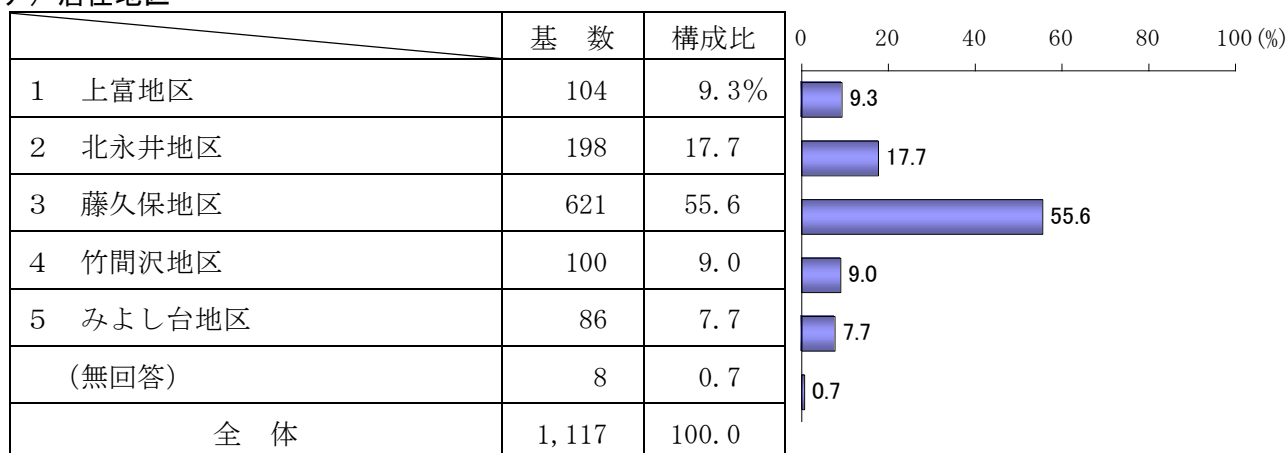
5 報告書の見方

本報告書を読む際には、次の点に留意する必要がある。

- ①比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- ②基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は基数を100%として算出した。
- ③一人の回答者が複数回答で行なう設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- ④サンプル数が少なくなるほどデータの正確さを保証するのは困難である。したがって、サンプル数が少ないものについては参考資料として掲載し、数値をあげた具体的なコメントを行わない。また、サブクエスションの関係でサンプル数が少なくなった場合には具体的なコメントは行っていない。

6 調査回答者の特性

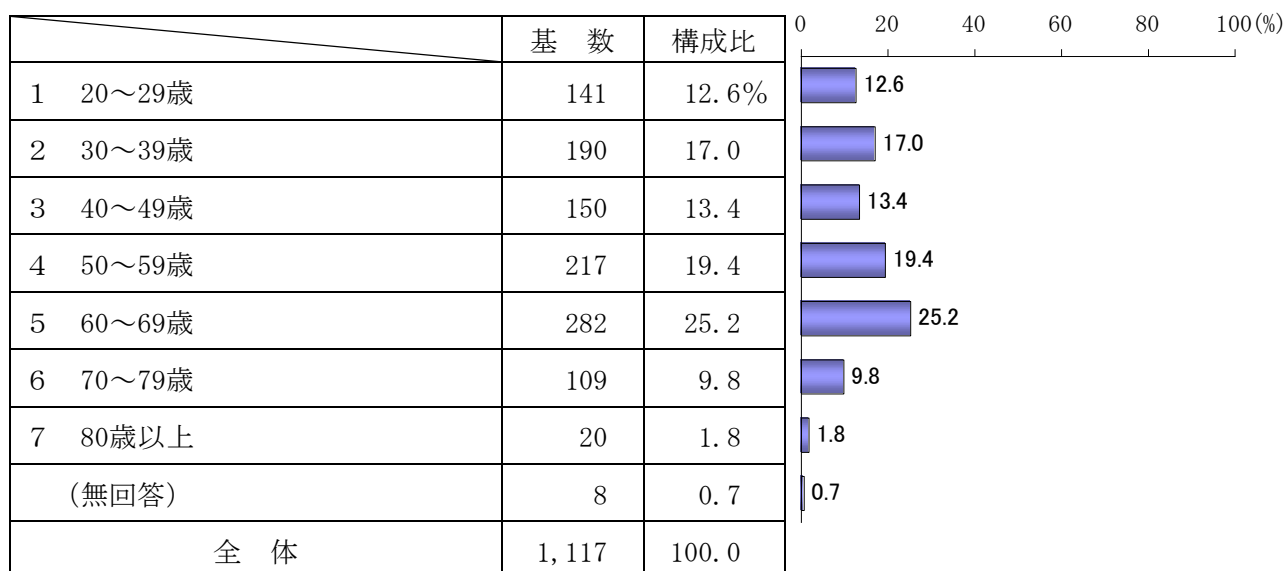
(ア) 居住地区



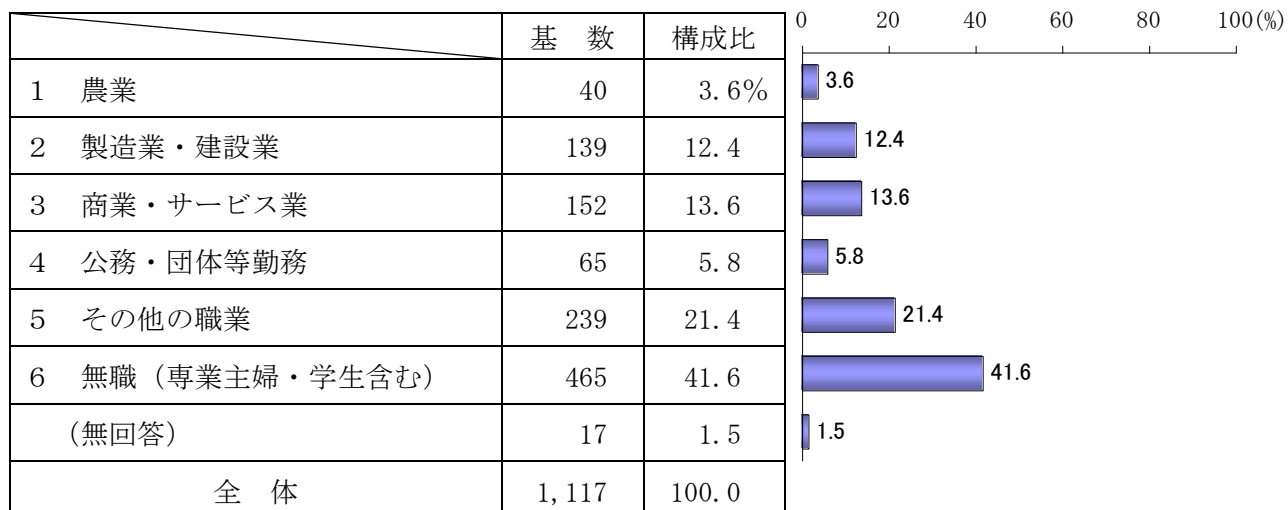
(イ) 性別



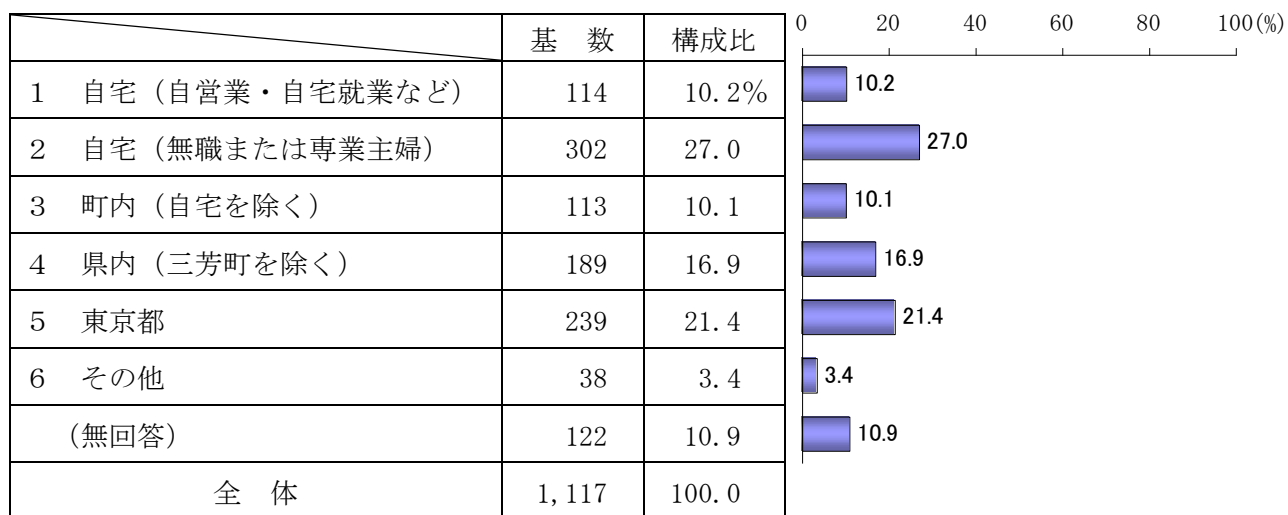
(ウ) 年齢



(エ) 職業



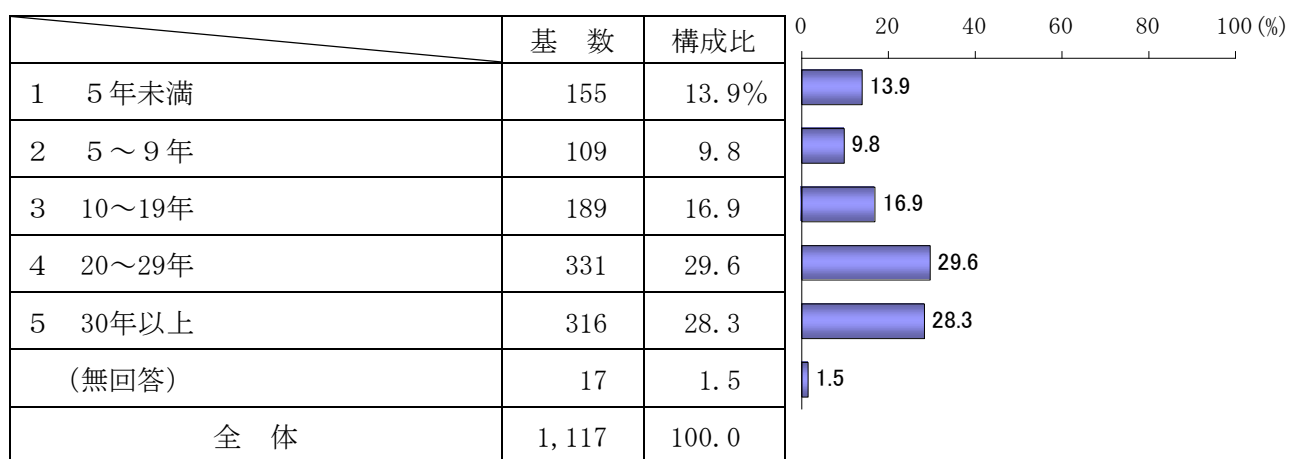
(オ) 就業地・通学地



(カ) 住宅



(キ) 三芳町での居住年数



Ⅱ 調査結果の概要

1 まちの住みやすさ

三芳町の住みやすさについては、『住みやすい』が7割台半ばを超え、『住みにくい』を大きく上回っている。住みやすいと感じる理由は、「生活が便利」が最も高く4割を超えている。以前と比べて住みやすくなったと感じる点は、道路・交通の便や買い物の便がよくなったという回答が上位を占める。その反面、自然が少なくなったことや、交通渋滞のために住みにくいという意見も多く見られる。

地区別に見ると、「マイホームを求めて」三芳町に住むようになった人が多いみよし台地区では、「生活が便利」という理由で『住みやすい』と答える人が多い。一方で、「生まれたときから住んでいる」という人が多い上富地区では、「周辺の自然環境が良い」と「長年住み慣れている」でいずれも上富地区が半数を超えているが、「生活が便利」と答える人が他の地区に比べ非常に少ない。地域によって「住みやすい」と感じる理由が大きく分かれる。

2 町の現状についての満足度

文化・教育についての満足度は、他の項目と比べ満足度が高いものが多い。また、環境についても全体的に満足度が高い項目が多くなっている。一方、産業経済ではいずれの項目でも満足度が低い。都市整備の満足度は高低差が大きく、上下水道は高い満足度を得ているが、公共交通網や道路、市街地整備では低くなっている。安全対策も同様に、消防・防火の満足度は高いものの、放置自転車に対しては低評価となっている。

3 地域内の様子について

よりよい地域をつくっていく雰囲気や土壌は、『あると思う』と回答した人が4割を超えている。いずれの地区でも、『あると思う』が高くなっている傾向がみられるが、みよし台地区で最も高く5割台半ばを超え、唯一半数以上の人が『あると思う』と回答している。また、地域活動や交流への関心が、『ある』という人も4割を超えている。地域に対する関心等は、いずれの地区でも共通して高い結果が見られる。

4 町行政運営について

町政への関心は、『ある』と答えた人が半数を超えている。関心がある理由は、「自分の暮らし向きに直接関係があるから」が6割台半ばで最も高く、次いで「町をもっとよくしたいから」となっている。一方、『関心がない』理由は、「個人の意見は行政に反映されにくいだろうから」が約4割、次いで「忙しくて町政のことを考える暇がない」が3割半ば弱となっている。

町についての情報は、「広報みよし」から得ている人が約9割で突出している。年齢別に見ると、「広報みよし」が30歳以上の年代で8割半ばから9割半ば強となっており、非常に多くの人が「広報みよし」から情報を得ていることが分かる。

今後力を入れるべき施策は、都市整備分野で、「生活道路の整備」と「バスなど交通網の整備」の2項目が4割半ばから5割弱と高くなっている。安全分野では、「防犯対策」で唯一半数を超え6割台半ばの回答があり、最も対策が望まれている項目となっている。また、産業経済分野では、「雇用確保や就労支援」が4割、コミュニティ分野では、「地域のふれあい」が4割弱となっており、比較的高くなっている。

5 町の将来イメージ

町民が望む将来の三芳町のイメージについては、「生活環境の整った人にやさしい福祉のまち」が4割弱で最も高い。次いで「緑や自然と調和したまち」が2割台半ばを超えており、福祉や自然環境についてのイメージを望んでいる傾向がみられる。性別に見ると、女性では「生活環境の整った人にやさしい福祉のまち」が高く、男性では「緑や自然と調和したまち」が高い。

現在の三芳町のイメージについては、「緑豊かな」や「自然環境がよい」が高くなっており、将来望むイメージと近い傾向がみられる。一方、期待するこれからのイメージについては、「緑豊かな」ではなく、「活力」を望む声が多。

○ 前回調査（平成6年3月）との比較

町の住みやすさについては、前回同様『住みやすい』という回答が7割台半ばを超えている。住みやすい理由も、「生活が便利」が前回と同様に最も高い。また、「生活が便利」についてみよし台地区、藤久保地区、竹間沢地区で多いという地域別の傾向も変化が見られない。

町の現状についての満足度は、前回調査では緑や自然に対する高い満足度が目立っていたが、今回調査では文化・教育や公共施設に関する満足度が前回より高くなっている傾向が見られる。

町行政運営に対する要望については、「閉庁日や時間外などの行政サービスの対応」、「親しみのもてる役場の環境づくり」、「行政職員の資質向上」の3つが高いという前回調査と同様の結果となっている。

町の誇りや宝・シンボルについては、自然や緑に関する項目が多数を占めており、前回調査と比べて変化は見られない。

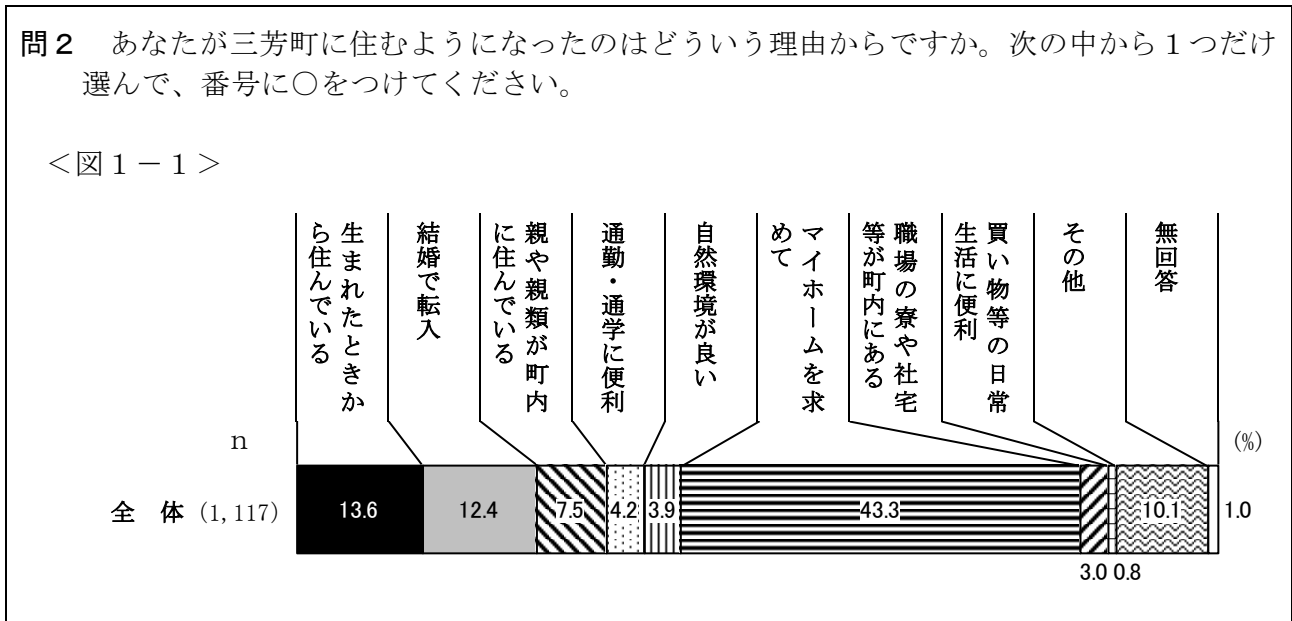
いずれの項目においても町民の意識や関心、要望等は前回調査時の平成6年と比べ変化が見られるものが少ない。

Ⅲ 調査結果の詳細

1 まちの住みやすさ

(1) 居住理由

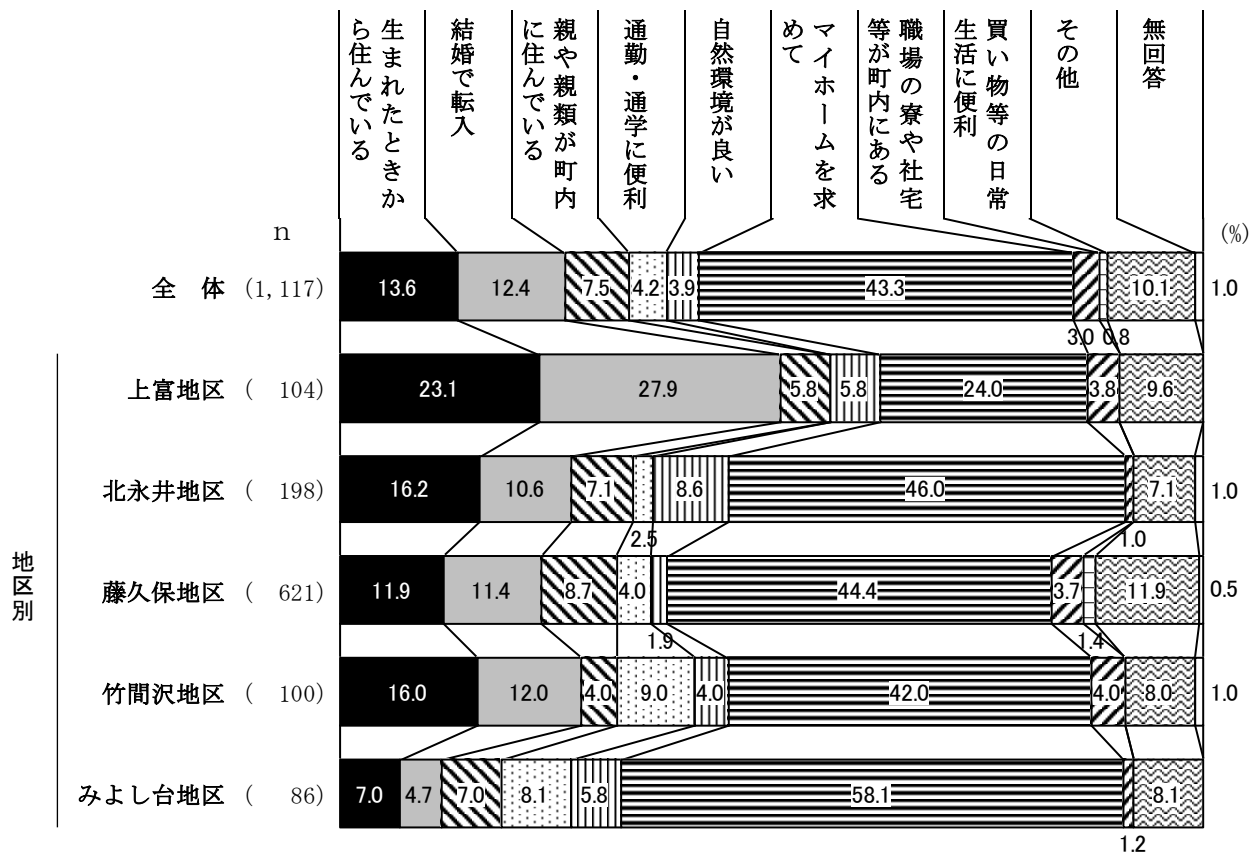
◇「マイホームを求めて」が4割台半ば



三芳町に住むようになった理由は、「マイホームを求めて」が43.3%で最も高い。以下、「生まれたときから住んでいる」(13.6%)「結婚で転入」(12.4%)と続いている。(図1-1)

地区別に見ると、「マイホームを求めて」は、みよし台地区が6割に近く最も高く、続く北永井地区で4割台半ば強となっている。一方、上富地区では「結婚で転入」が3割に近く最も高くなっている。
 (図1-2)

<図1-2>地区別

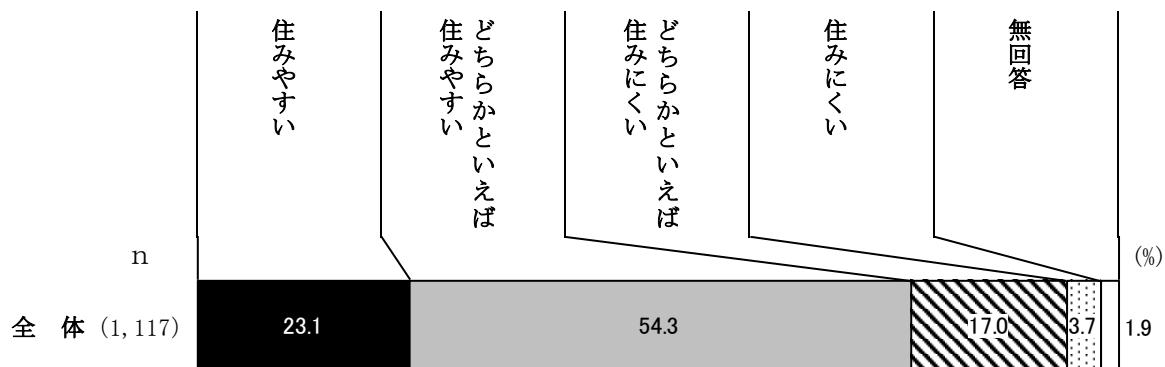


(2) 住みやすさ

◇『住みやすい』が4人に3人。『住みにくい』は約2割

問3 あなたは、現在の三芳町の住みやすさについてどのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

<図1-3>

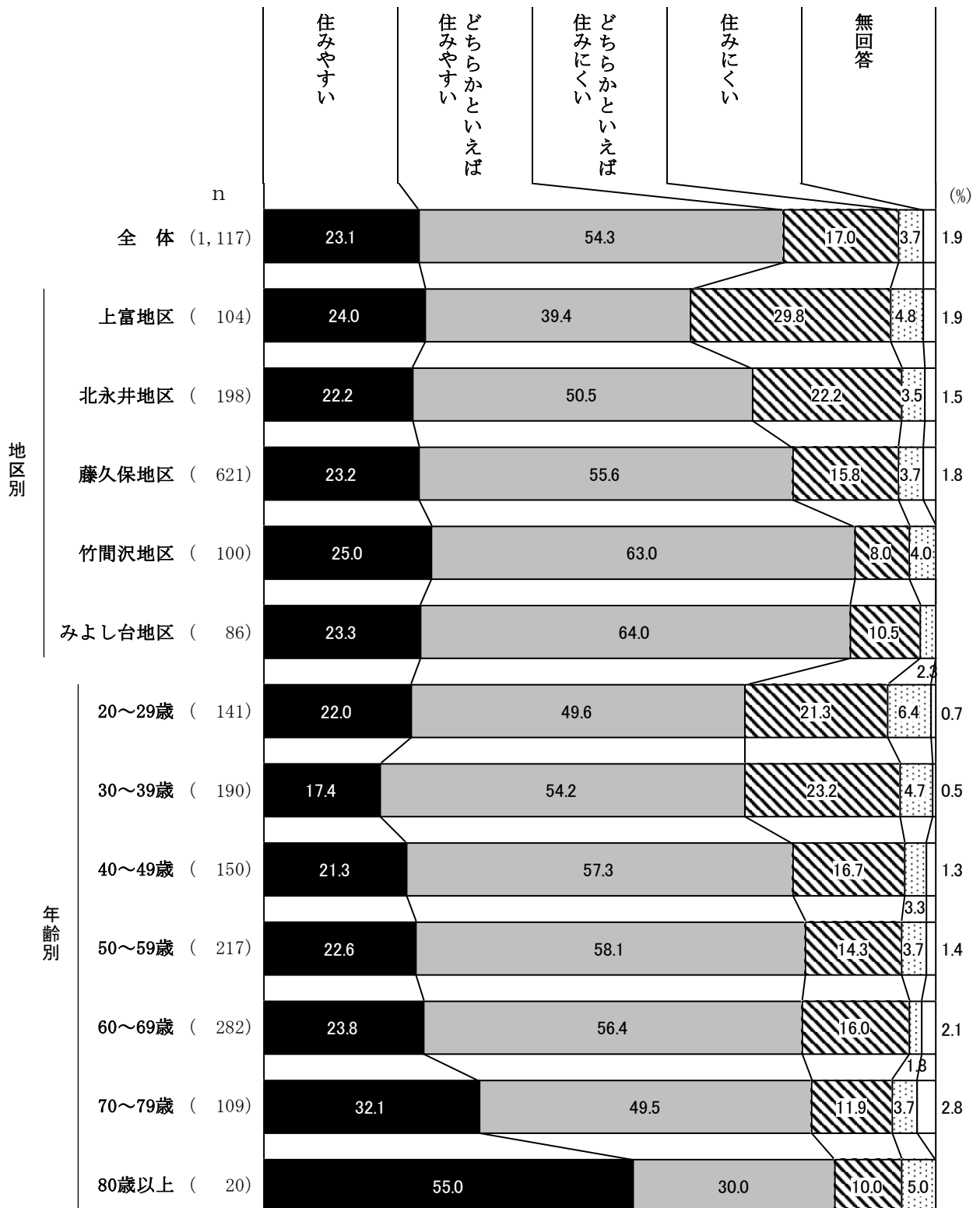


三芳町の住みやすさについては、「住みやすい」(23.1%)と「どちらかといえば住みやすい」(54.3%)をあわせた『住みやすい』(77.4%)が7割台半ばを超える。一方、「どちらかといえば住みにくい」(17.0%)と「住みにくい」(3.7%)をあわせた『住みにくい』(20.7%)は2割となっている。(図1-3)

地区別に見ると、『住みやすい』は、竹間沢地区が9割弱と最も高く、続くみよし台地区では8割台半ばを超える。一方、『住みにくい』では上富地区が3割半ばで最も高く、次いで北永井地区が2割台半ばとなっている。(図1-4)

年齢別に見ると、『住みやすい』が70～79歳と80歳以上で8割を超えている。一方で、『住みにくい』が20～29歳と30～39歳で2割台半ばを超えており、加齢とともに『住みやすい』が高くなる傾向がみられる。(図1-4)

<図1-4>地区別/年齢別

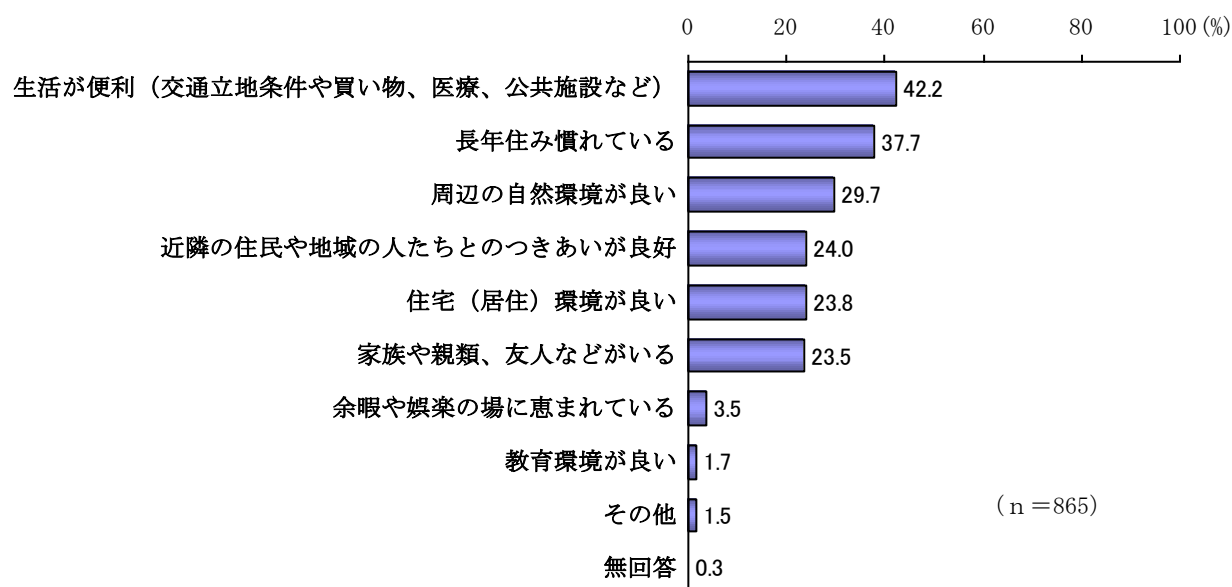


(3) 住みやすいと感じる理由

◇「生活が便利」が4割を超える

問3-① 前問(問3)で、1または2に回答された方にお聞きします。三芳町が「住みやすい」と感じるのほどのような点でしょうか。次の中から選んで、番号に○をつけてください。(複数回答可)

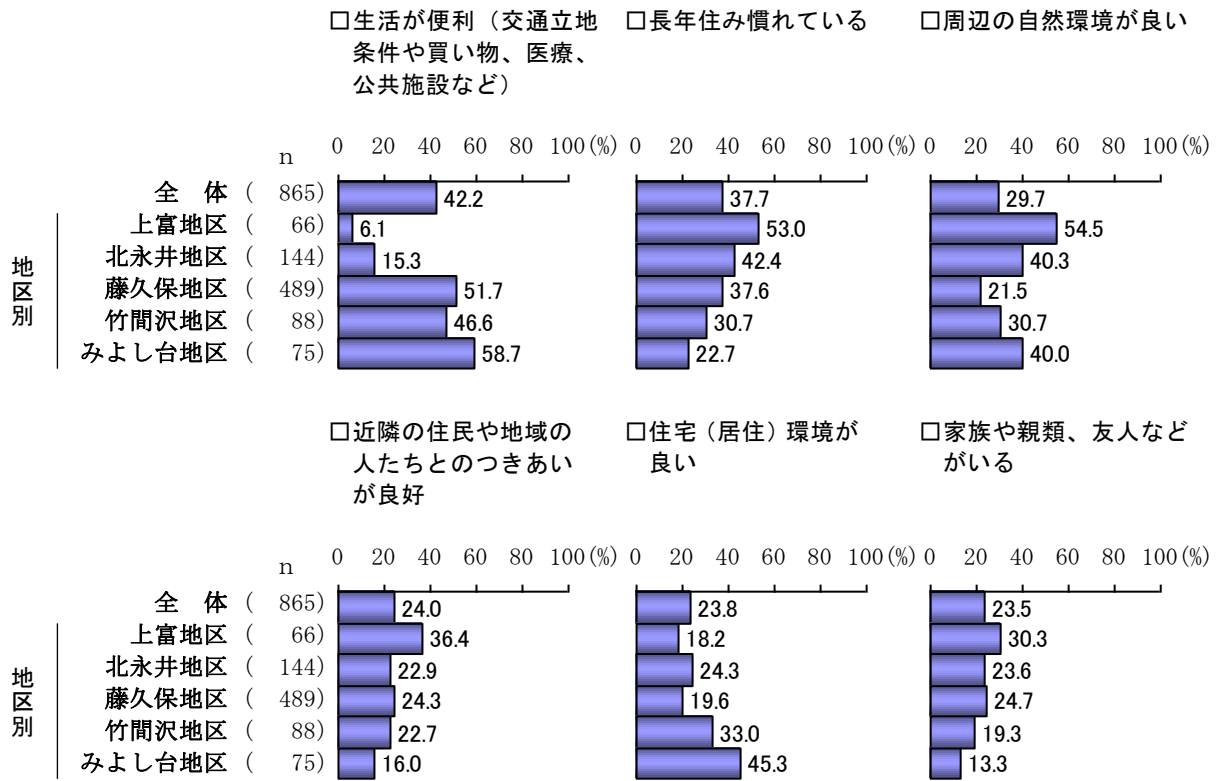
<図1-5>



問3で、『住みやすい』と答えた方にその理由を聞いたところ、「生活が便利(交通立地条件や買い物、医療、公共施設など)」(42.2%)が4割を超え最も高い。以下、「長年住み慣れている」(37.7%)、「周辺の自然環境が良い」(29.7%)と続いている。(図1-5)

地区別に見ると、「生活が便利（交通立地条件や買い物、医療、公共施設など）」がみよし台地区で6割に近く、続く藤久保地区では半数を超えている。一方、上富地区では6.1%、北永井地区では1割台半ばと低くなっており、大きな差が見られる。また、「周辺の自然環境が良い」と「長年住み慣れている」では、いずれも上富地区が5割台半ばに近い。（図1-6）

<図1-6>地区別（上位6項目）

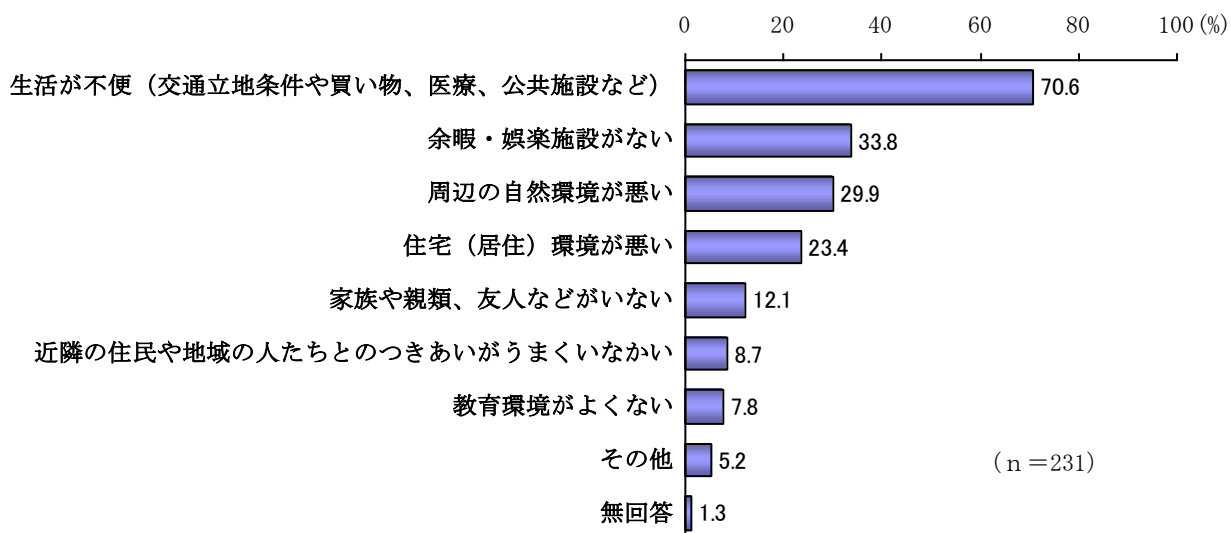


(4) 住みにくいと感ずる理由

◇「生活が不便」が約7割

問3-② 前問(問3)で、3または4に回答された方にお聞きします。三芳町が「住みにくい」と感ずるのはどのような点でしょうか。次の中から選んで、番号に○をつけてください。(複数回答可)

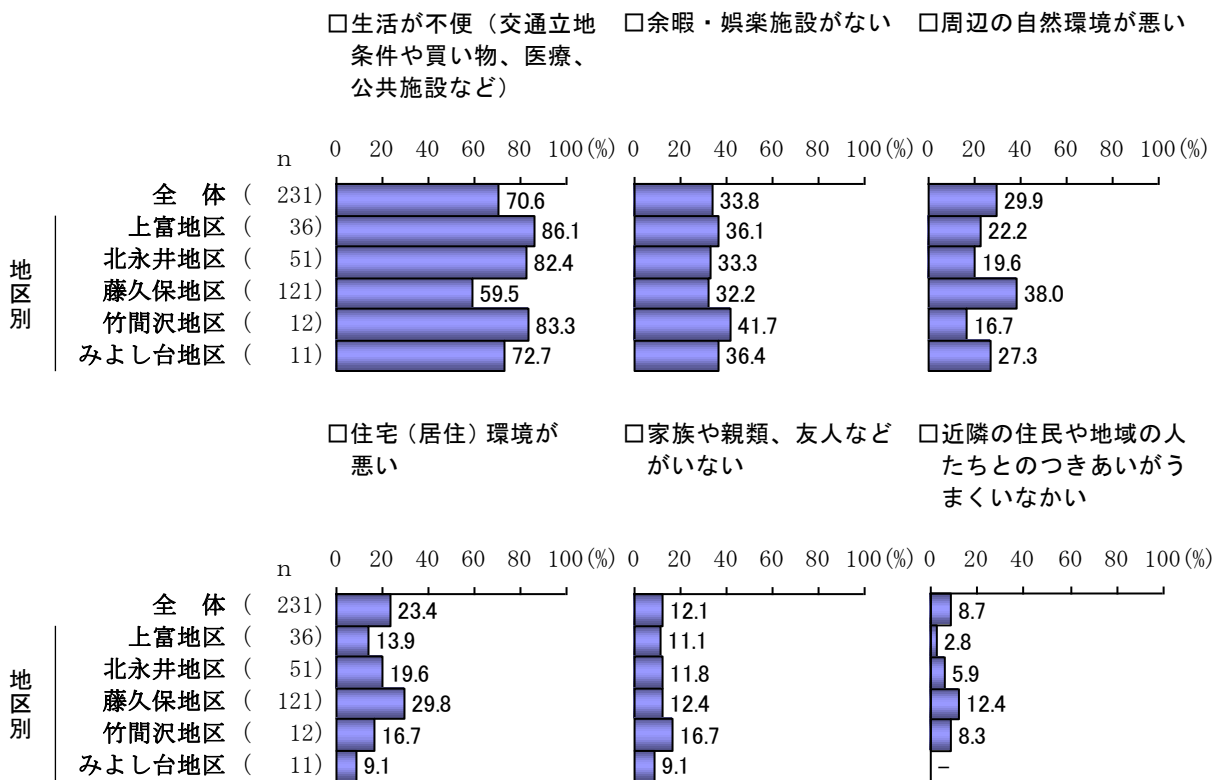
<図1-7>



問3で、『住みにくい』と答えた方にその理由を聞いたところ、「生活が不便(交通立地条件や買い物、医療、公共施設など)」(70.6%)が約7割で突出している。以下、「余暇・娯楽施設がない」(33.8%)、「周辺の自然環境が悪い」(29.9%)、「住宅(居住)環境が悪い」(23.4%)と続いている。(図1-7)

地区別に見ると、「生活が不便（交通立地条件や買い物、医療、公共施設など）」が上富地区、北永井地区、竹間沢地区で8割を超えている。一方、藤久保地区では6割と低くなっている。また、「周辺の自然環境が悪い」が藤久保地区で4割に近い。（図1－8）

<図1－8>地区別（上位6項目）

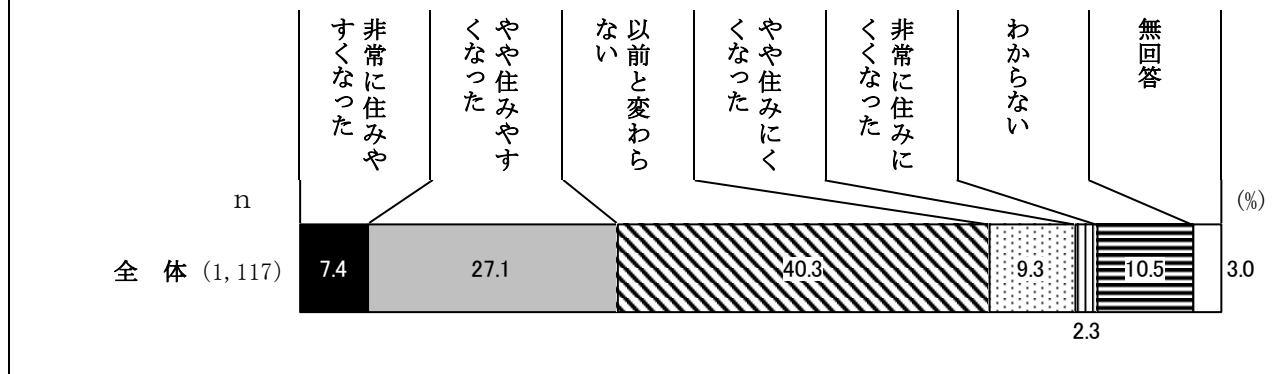


(5) 以前と比べた三芳町の住みやすさ

◇『住みやすくなった』が3割台半ば

問4 以前と比べて、あなたにとって三芳町は住みやすくなりましたか。次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

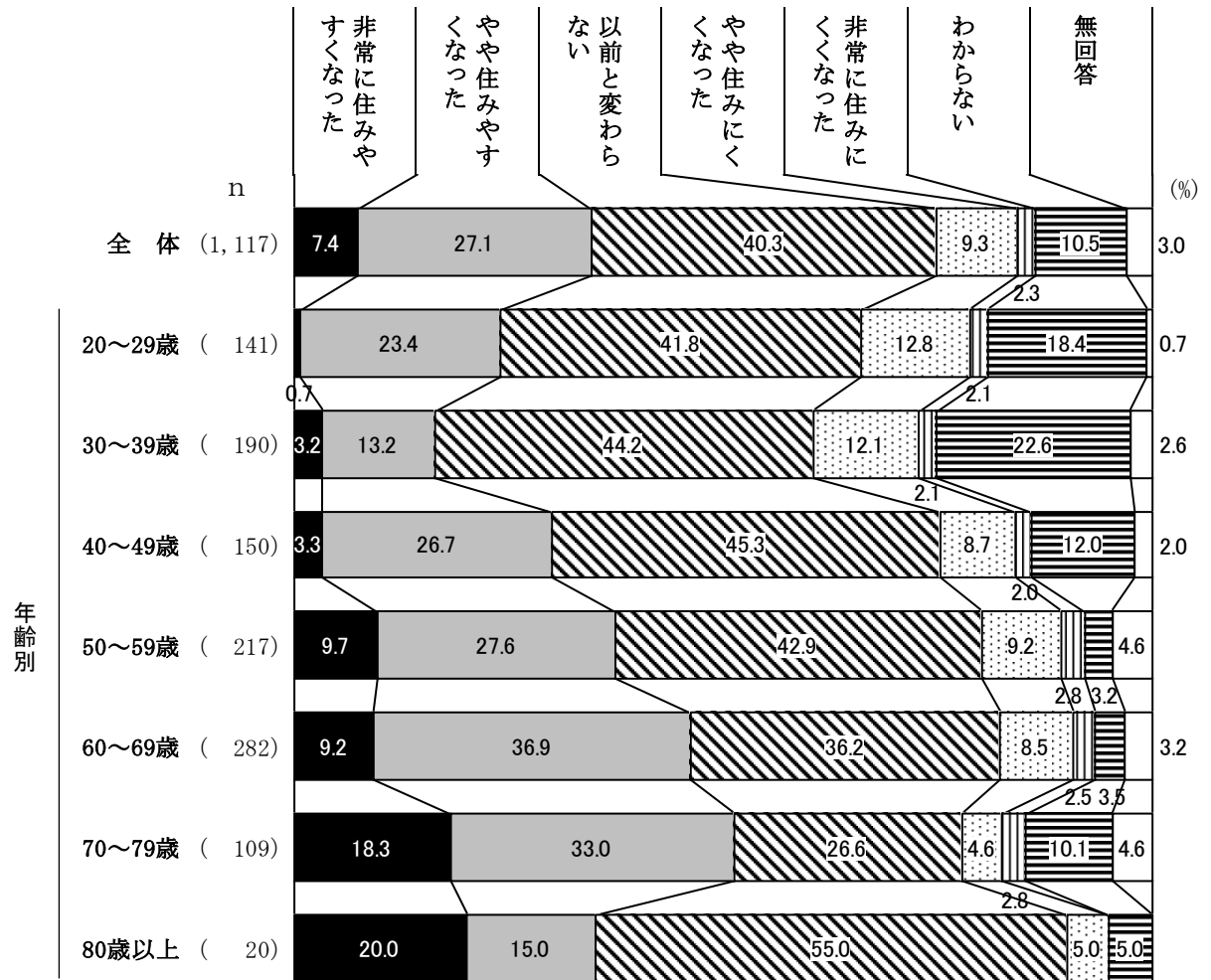
<図1-9>



以前と比べた三芳町の住みやすさについては、「非常に住みやすくなった」(7.4%)と「やや住みやすくなった」(27.1%)をあわせた『住みやすくなった』(34.5%)が3割台半ばとなっている。一方、「やや住みにくくなった」(9.3%)と「非常に住みにくくなった」(2.3%)をあわせた『住みにくくなった』(11.6%)は約1割である。(図1-9)

年齢別に見ると、『住みやすくなった』が70～79歳で半数を超え、続く60～69歳では4割台半ばとなっている。一方、『住みにくくなった』は、20～29歳と30～39歳で1割台半ばとなっている。(図1-10)

<図1-10> 年齢別



問4-① 以前と比べて、三芳町が住みやすくなったと感じる点、住みにくくなったと感じる点について、あなたのお考えをご記入ください。

<住みやすくなったと感じる点> 5件以上の回答を抽出掲載

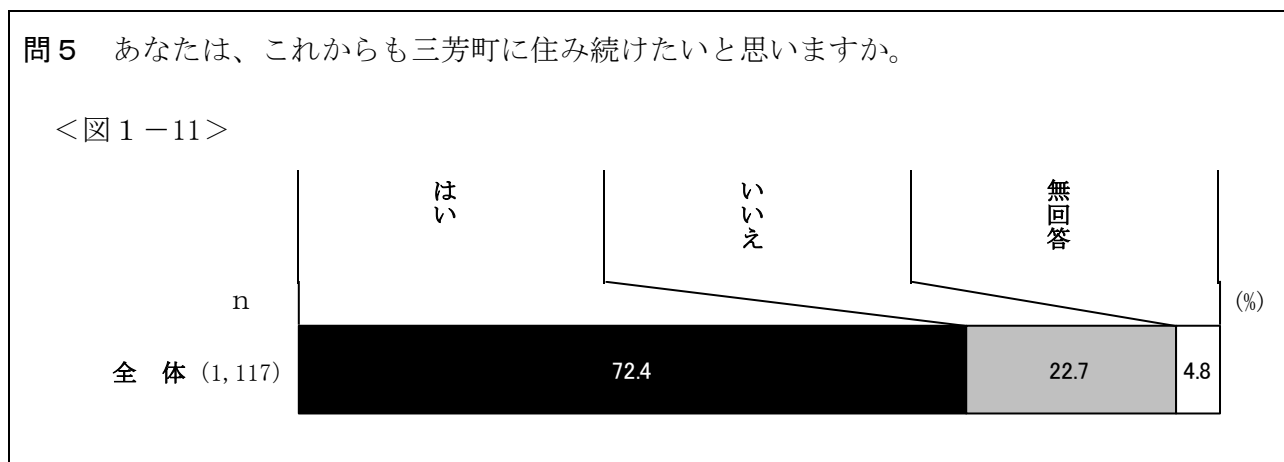
・道路が整備された	(113)
・店舗が増えた、買物が便利になった	(113)
・スーパー、大型店舗の開店	(69)
・交通の便がよくなった、駅の新設	(41)
・病院の開業	(35)
・公共施設の充実	(25)
・コンビニエンスストア（24時間営業）の開店	(24)
・下水道が整備された	(23)
・生活環境が整備されてきた	(19)
・住民間のコミュニケーションがよくなった	(19)
・ライフバスが便利になった	(13)
・出張所が新設された	(12)
・総合的に便利になった	(7)
・図書館が整備された	(6)
・文化施設が充実してきた	(6)
・医療機関が充実してきた	(6)
・公民館が新設された	(5)
・郵便局が新設された	(4)
・ゴミ回収状況がよくなった	(4)
・町並みがきれいになった	(3)
・砂埃が少なくなった	(3)
・バス路線の新設	(3)
・集会所が新設された	(2)
・上下水道が整備された	(1)
・その他	(68)

<住みにくくなったと感じる点> 5件以上の回答を抽出掲載

・緑（自然）が少なくなった	(60)
・交通量が増した、渋滞がある	(58)
・交通機関が不便	(43)
・治安悪い、防犯面で不安	(30)
・道路が狭い	(28)
・店が少ない、買物不便	(19)
・砂埃	(18)
・騒音が増した（車、工事など）	(17)
・道路が狭い上に交通量が増え危険になった	(17)
・大型車が増えた	(17)
・道路整備が遅れている	(16)
・公園がない、子どもの遊び場ない	(16)
・住民間のふれあいが減った、町のよさがなくなった	(13)
・公共・文化施設が貧弱	(12)
・自然環境悪化、住宅の急増	(11)
・路上のごみや空き缶が多くなった	(10)
・病院がない、遠い	(9)
・排気ガスにより大気汚染が悪化した	(8)
・人が増えた	(8)
・道が暗い、街灯が少ない	(8)
・空気が悪い（野火、工事など）	(8)
・役所、施設が遠い、出張所が欲しい	(8)
・マナーの低下	(7)
・車が増加し、歩行者や自転車危険になった	(6)
・違法駐車、路上駐車が多くなった	(5)
・区画整理が進まない	(5)
・税金の無駄遣い、税金・保険料が高い	(5)

(6) 定住意向

◇住み続けたいと思う方が7割を超える

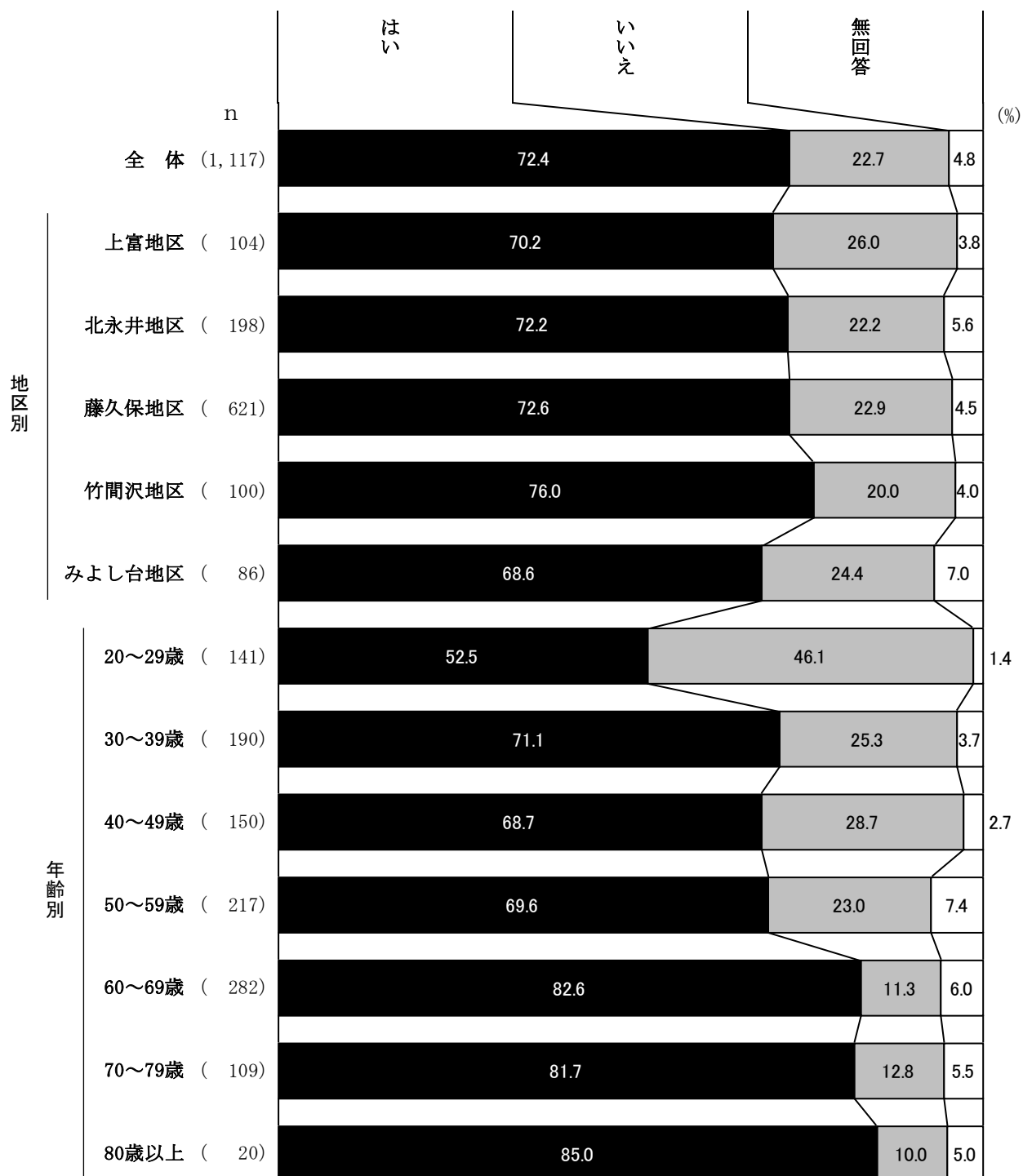


定住意向は、「はい」が72.4%となっており、住み続けたいと思う方が7割を超えている。(図1-11)

地区別に見ると、「はい」が上富地区、北永井地区、藤久保地区、竹間沢地区の4地区で7割を超え、竹間沢地区では4人に3人となっている。(図1-12)

年齢別に見ると、「はい」が60～69歳、70～79歳、80歳以上で8割を超えている。一方、20～29歳では5割強となっている。(図1-12)

<図1-12>地区別/年齢別

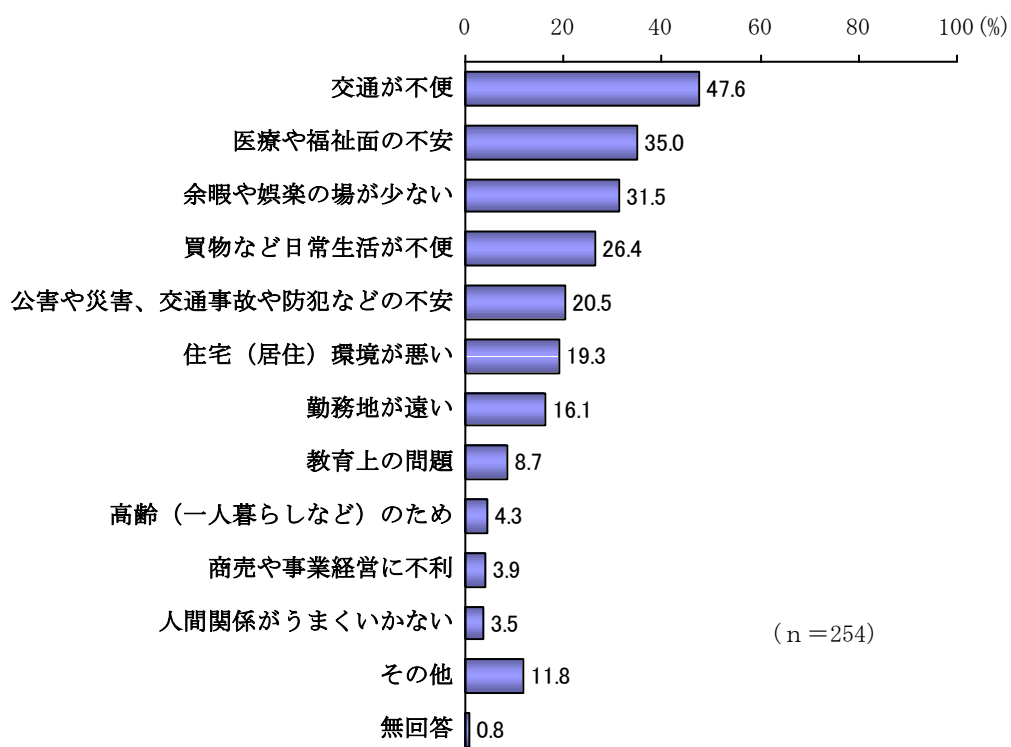


(7) 住み続けたくない理由

◇「交通が不便」が半数に近い

問5-① 前問(問5)で、「いいえ」と回答された方にお聞きします。今の場所から移りたいと思う主な理由はどのようなことでしょうか。次の中から選んで、番号に○をつけてください。(複数回答可)

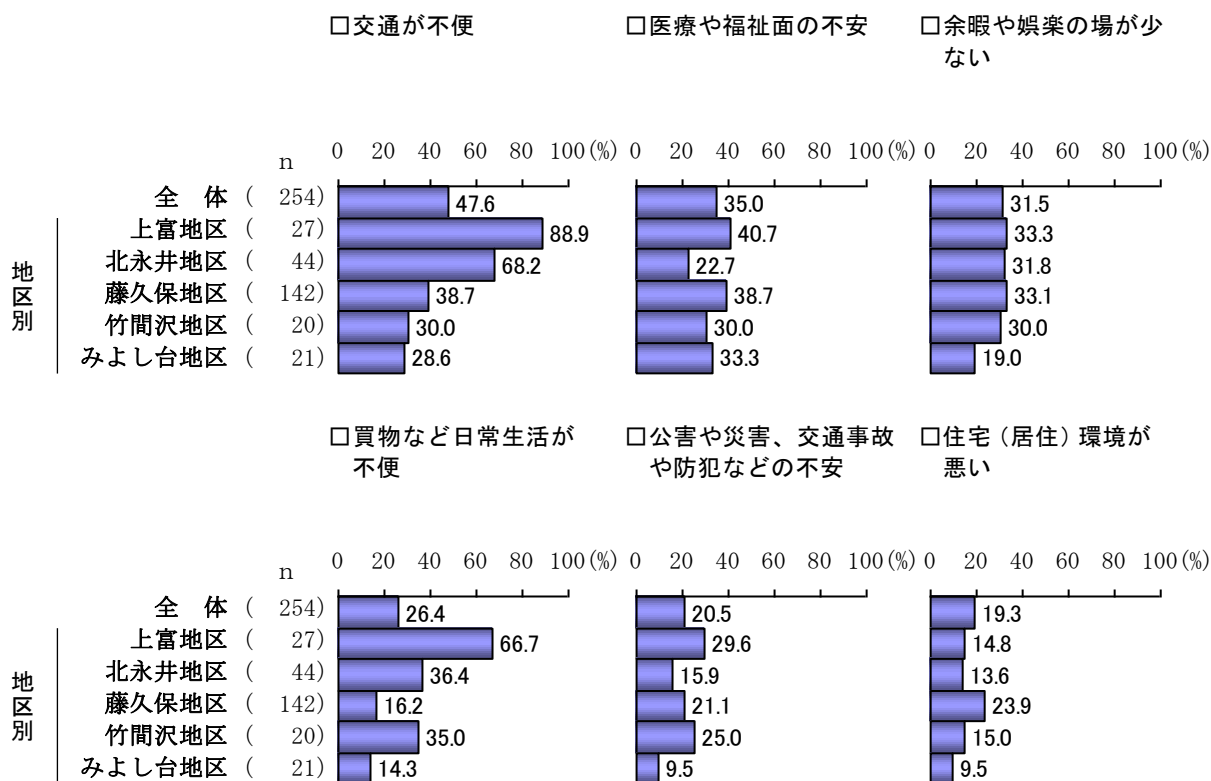
<図1-13>



問5で住み続けたいと思わない方(「いいえ」と答えた方)にその理由を聞いたところ、「交通が不便」(47.6%)が5割に近く、最も高くなっている。次いで「医療や福祉面の不安」(35.0%)が3割台半ばとなっており、「余暇や娯楽の場が少ない」(31.5%)も3割を超えている。(図1-13)

地区別に見ると、「交通が不便」、「医療や福祉面の不安」、「買い物など日常生活が不便」「公害や災害、交通事故や防犯などの不安」が上富地区で最も高くなっており、特に、「買い物など日常生活が不便」では、次ぐ北永井地区と30ポイントの差が見られる。(図1-14)

<図1-14>地区別(上位6項目)



2 町の現状についての満足度

(1) 町の現況に対する満足度

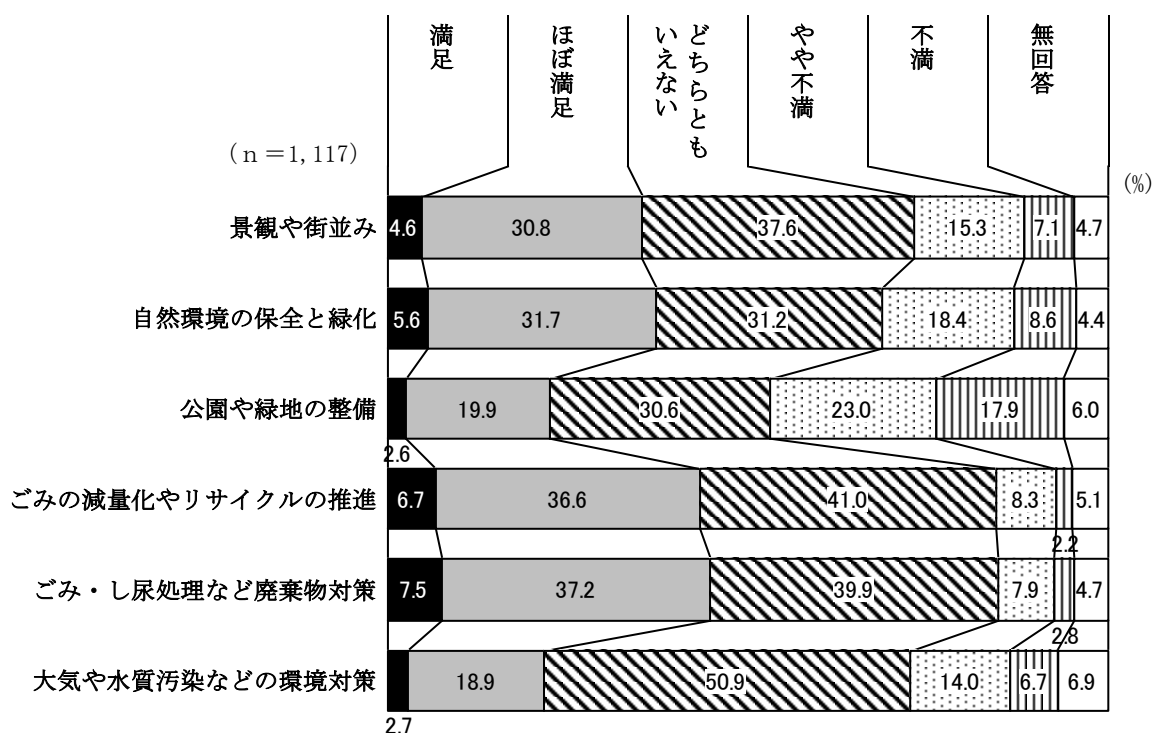
「環境」について

◇ [ごみ・し尿処理など廃棄物対策] で『満足』が4割台半ば

[公園や緑地の整備] で『不満』が4割

問6 あなたの住んでいる地域や三芳町の現況についてお聞きします。あなたは、日常生活を送るうえで、次の項目についてどの程度満足していますか。各項目の満足度について、それぞれ選んで、番号に○をつけてください。

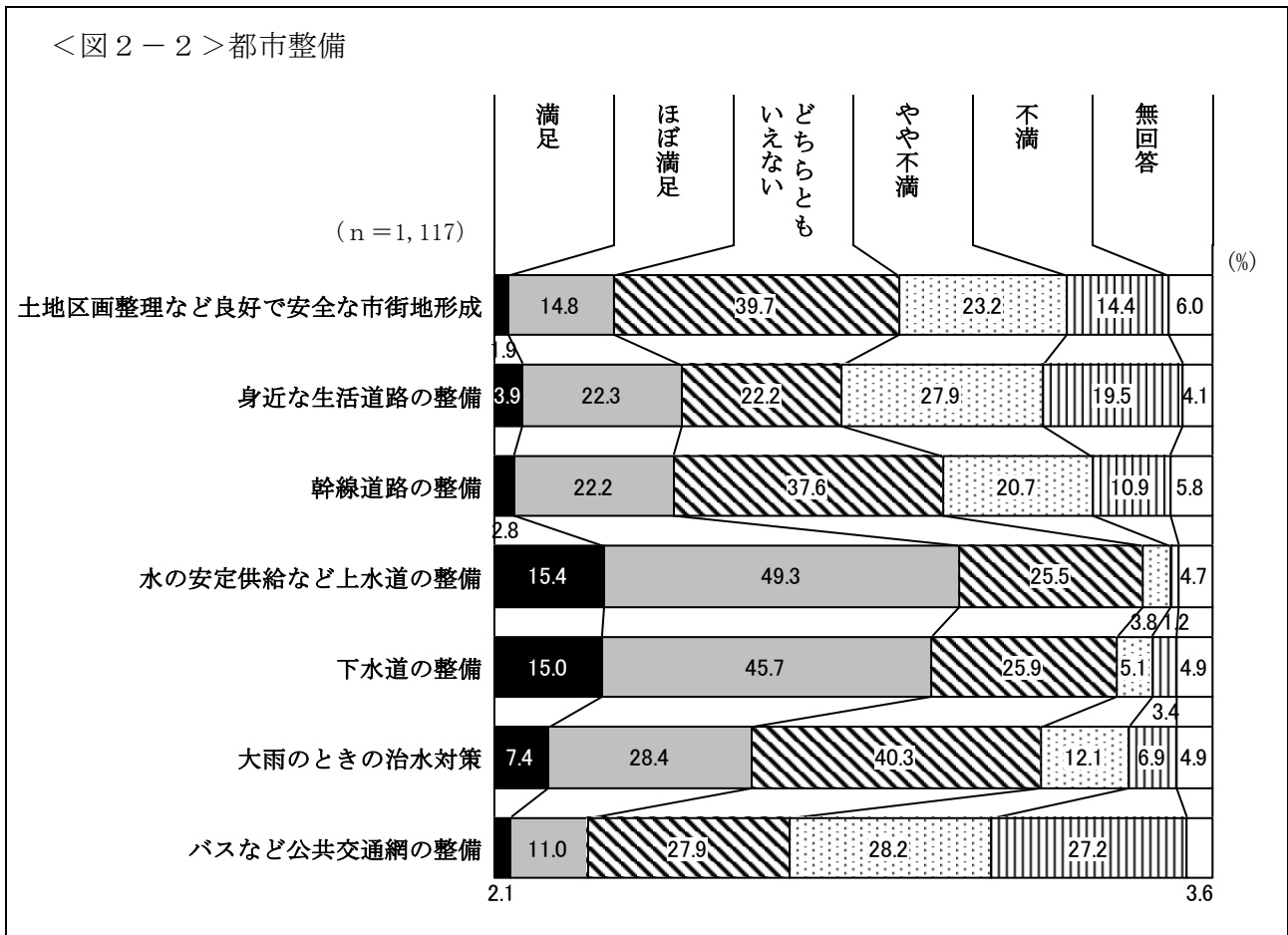
<図2-1>環境



環境についての満足度は、「満足」と「ほぼ満足」をあわせた『満足』が高いのは[ごみ・し尿処理など廃棄物対策] (44.7%) で4割台半ば、次いで、[ごみ減量化やリサイクルの推進] (43.3%) となっている。一方、「やや不満」と「不満」をあわせた『不満』が高いのは[公園や緑地の整備] (40.9%) で約4割となっている。次いで、[自然環境の保全と緑化] (27.0%) が2割台半ばを超えている。(図2-1)

「都市整備」について

- ◇ [水の安定供給など上水道の整備] で『満足』が6割台半ば
- [バスなどの公共交通網の整備] で『不満』が半数を超える

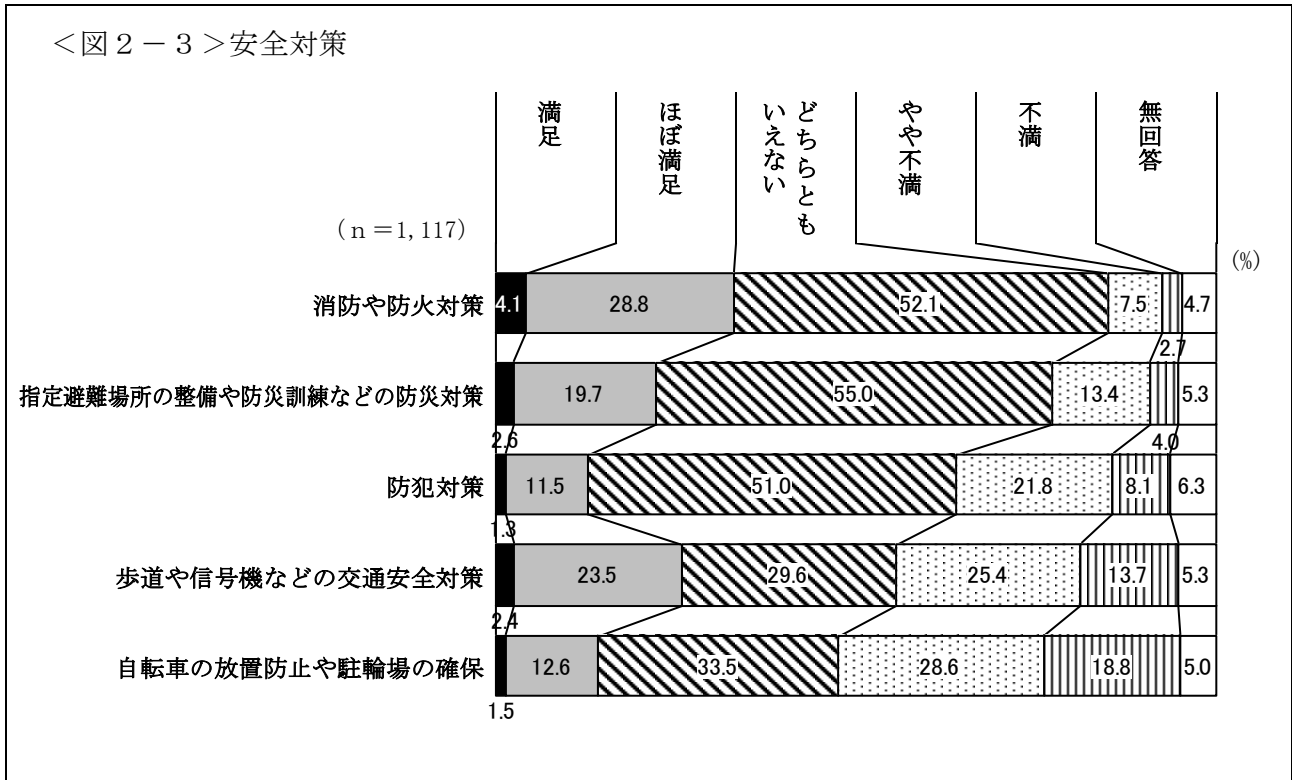


都市整備についての満足度は、『満足』が高いのは[水の安定供給など上水道の整備] (64.7%) で6割台半ば、次いで、[下水道の整備] (60.7%) が6割となっている。一方、『不満』が高いのは[バスなどの公共交通網の整備] (55.4%) で5割台半ばとなっている。次いで、[身近な生活道路の整備] (47.4%) が4割台半ばを超えている。(図2-2)

「安全対策」について

◇〔自転車の放置防止や駐輪場の確保〕で『不満』が半数に近い

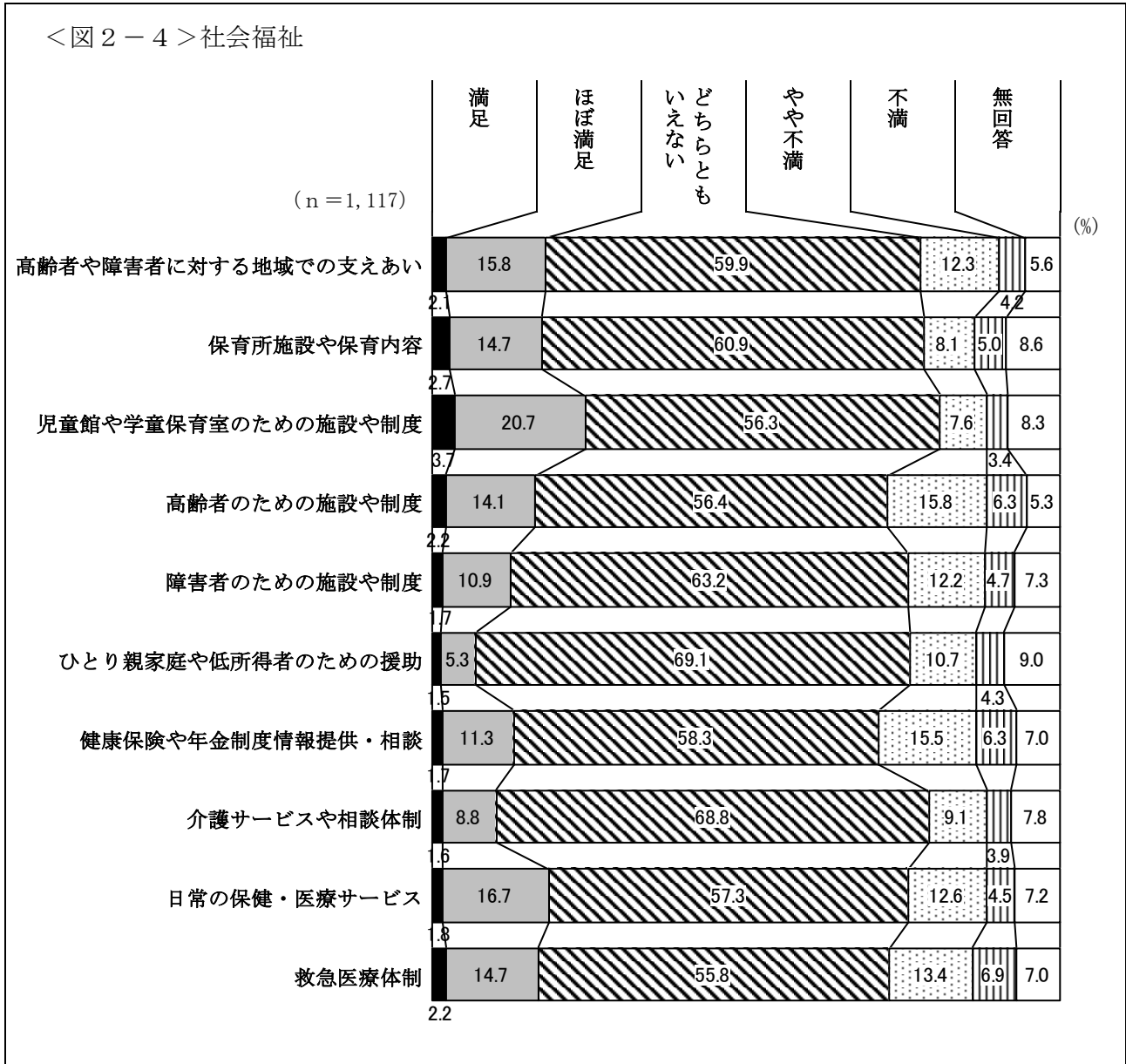
<図2-3>安全対策



安全対策についての満足度は、『満足』が高いのは〔消防や防火対策〕（32.9%）で3割台半ばに近い。次いで、〔歩道や信号機などの交通安全対策〕（25.9%）が2割代半ばとなっている。一方、『不満』が高いのは〔自転車の放置防止や駐輪場の確保〕（47.4%）で半数に近く、次いで〔歩道や信号機などの交通安全対策〕（39.1%）が約4割となっている。（図2-3）

「社会福祉」について

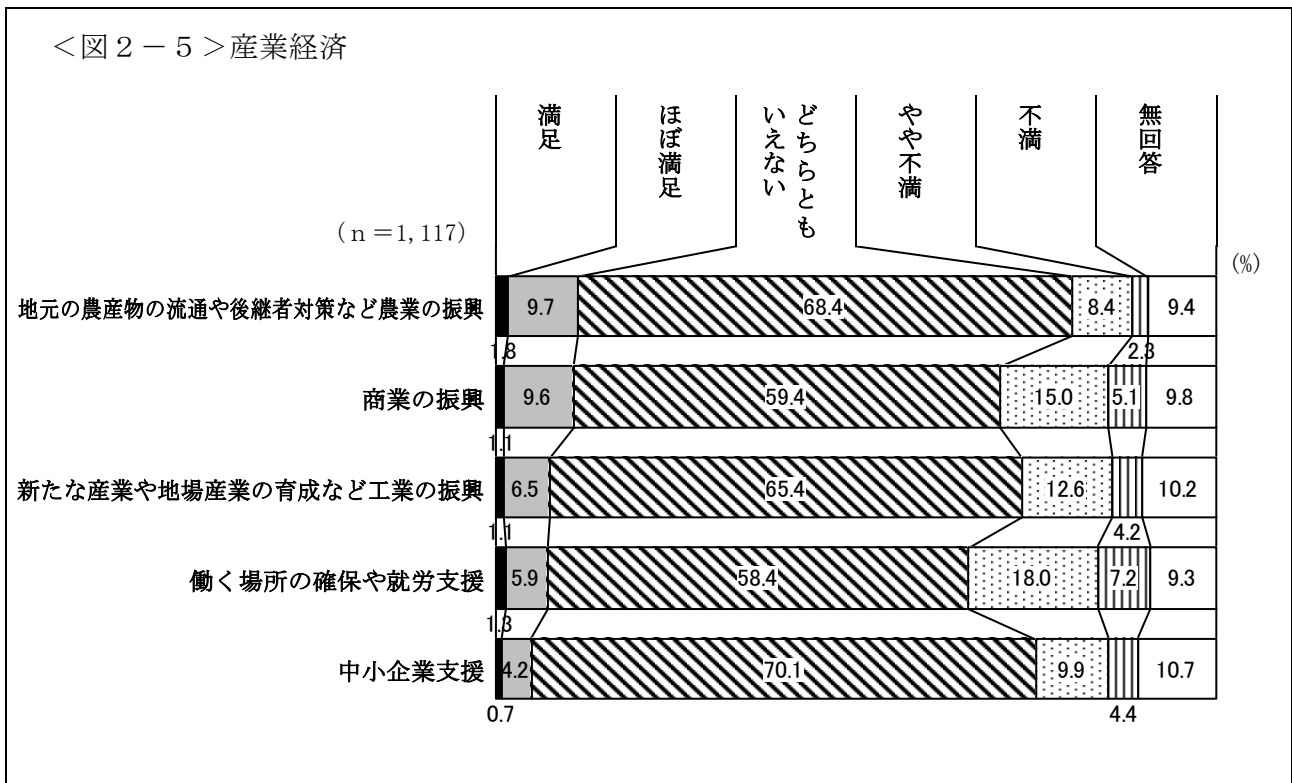
- ◇ [児童館や学童保育室のための施設や制度] で『満足』が4人に1人
- [高齢者のための施設や制度] で『不満』が2割を超える



社会福祉についての満足度は、『満足』が高いのは[児童館や学童保育室のための施設や制度] (24.4%) で4人に1人、次いで、[日常の保健・医療サービス] (18.5%) が2割に近い。一方、『不満』が高いのは[高齢者のための施設や制度] (22.1%) で2割を超える。以下、[健康保険や年金制度情報提供・相談] (21.8%)、「救急医療体制」(20.3%) が約2割と続いている。(図2-4)

「産業経済」について

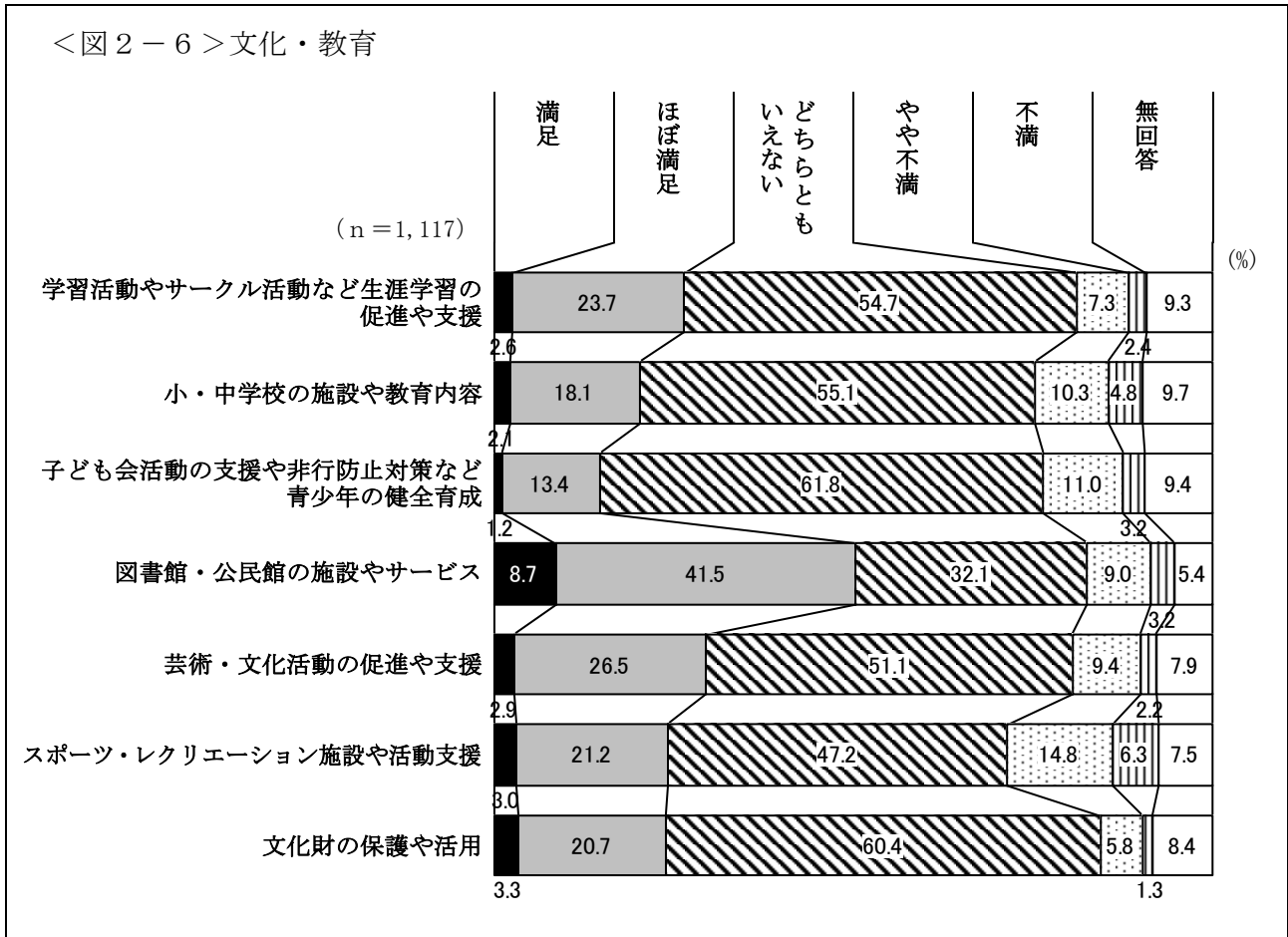
◇【働く場所の確保や就労支援】で『不満』が4人に1人



産業経済についての満足度は、『満足』が高いのは〔地元の農産物の流通や後継者対策など農業の振興〕（11.5%）で1割を超え、次いで、〔商業の振興〕（10.7%）が1割となっている。一方、『不満』が高いのは〔働く場所の確保や就労支援〕（25.2%）で4人に1人、次いで〔商業の振興〕（20.1%）が2割となっている。（図2-5）

「文化・教育」について

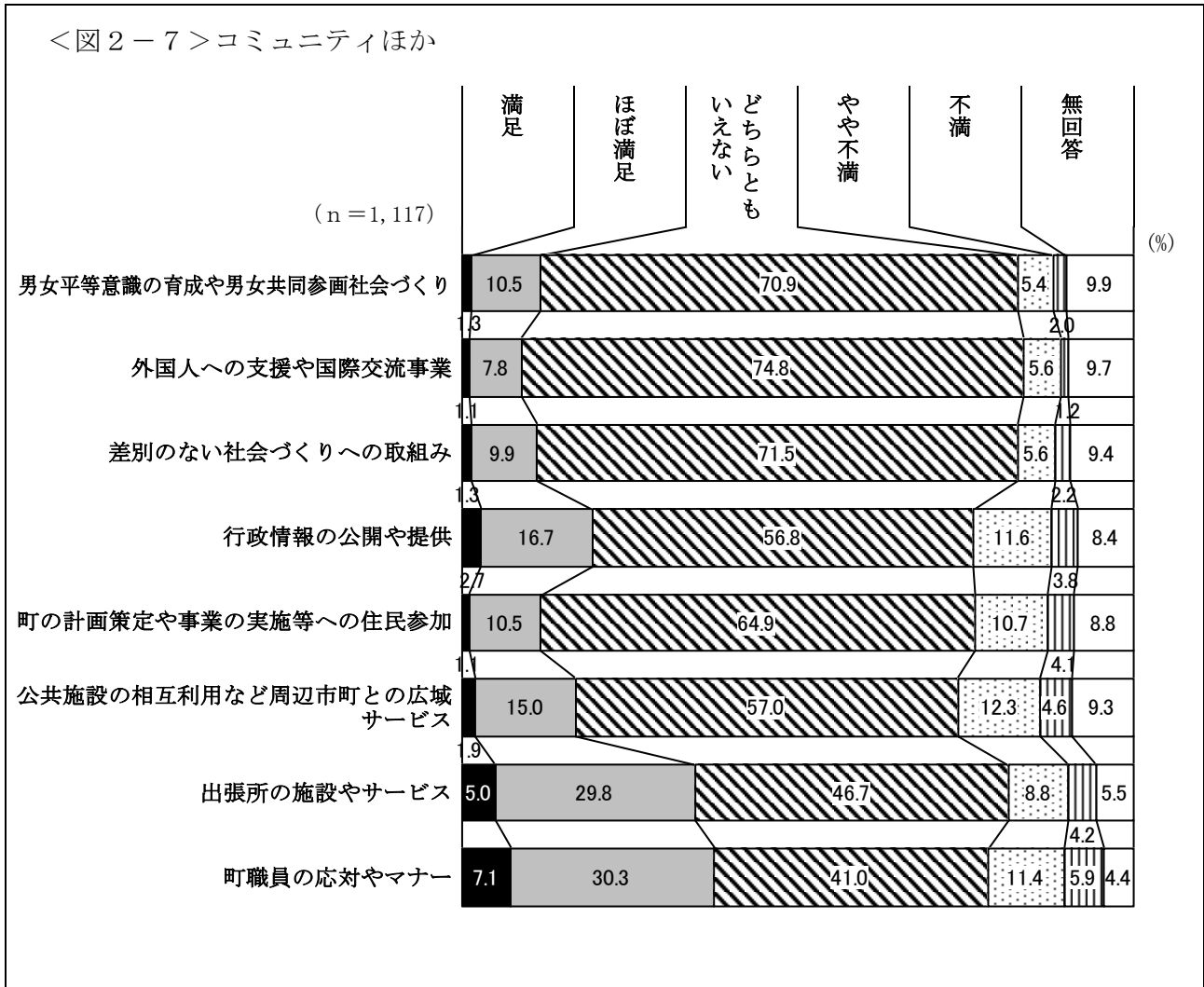
◇〔図書館・公民館の施設やサービス〕で『満足』が半数を占める



文化・教育についての満足度は、『満足』が高いのは〔図書館・公民館の施設やサービス〕(50.2%)で半数を占める。次いで、〔学習やサークル活動など生涯学習の促進や支援〕(26.3%)が2割台半ばとなっている。一方、『不満』が高いのは〔スポーツ・レクリエーション施設や活動支援〕(21.1%)で約2割、次いで〔小・中学校の施設や教育内容〕(15.1%)が1割台半ばとなっている。(図2-6)

「コミュニティほか」について

◇ [町職員の対応やマナー] で『満足』が3割台半ばを超える



コミュニティ等についての満足度は、『満足』が高いのは[町職員の対応やマナー] (37.4%) で3割台半ばを超え、次いで、[出張所の施設やサービス] (34.8%) が3割台半ばとなっている。一方、『不満』が高いのは[町職員の対応やマナー] (17.3%) で1割台半ばを超え、次ぐ[公共施設の相互利用など周辺市町との広域サービス] (16.9%) も1割台半ばを超えている。(図2-7)

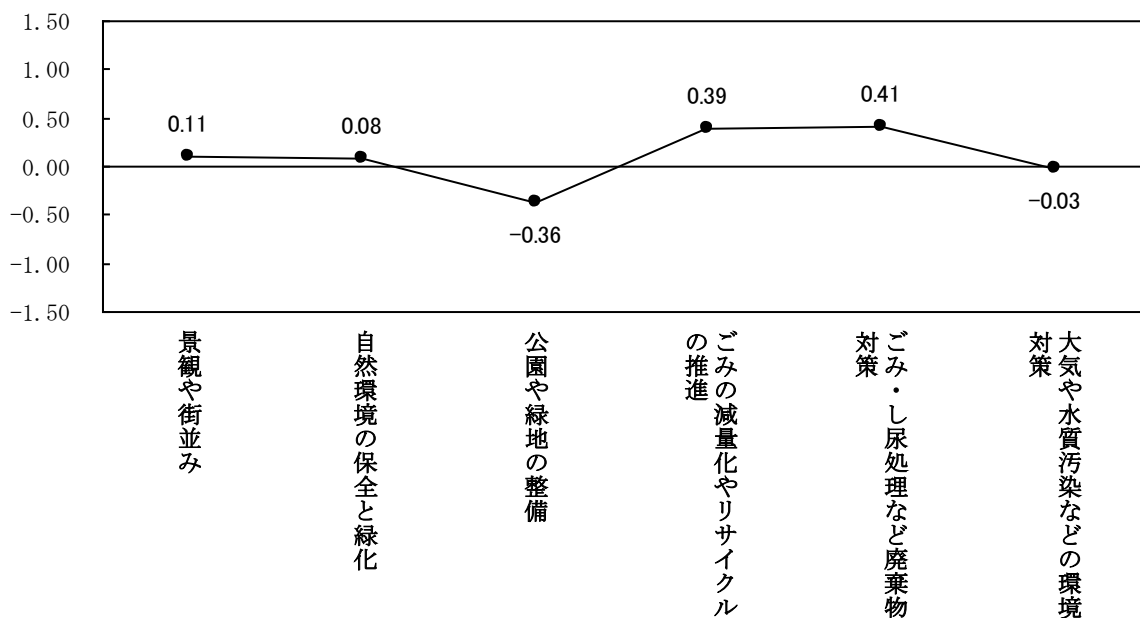
また、各項目間の比較をより単純にするために、下記の計算式のように、5段階の評価に点数を与え、各項目の平均評価点を算出した。

算出方法	「満足」の回答数×2点
	「ほぼ満足」の回答数×1点
	「どちらともいえない」の回答数×0点
	「やや不満」の回答数×▲1点
	「不満」の回答数×▲2点
評価点＝	$\frac{\text{「満足」の回答数} \times 2 + \text{「ほぼ満足」の回答数} \times 1 + \text{「どちらともいえない」の回答数} \times 0 + \text{「やや不満」の回答数} \times (-1) + \text{「不満」の回答数} \times (-2)}{\text{回答者数 (「わからない」と無回答を除く)}}$

この算出方法では、評価点は+2.00点から▲2.00点の間に分布し、0.00点が中間値である。+2.00点に近いほど評価は高く、逆に▲2.00点に近いほど評価は低いことになる。

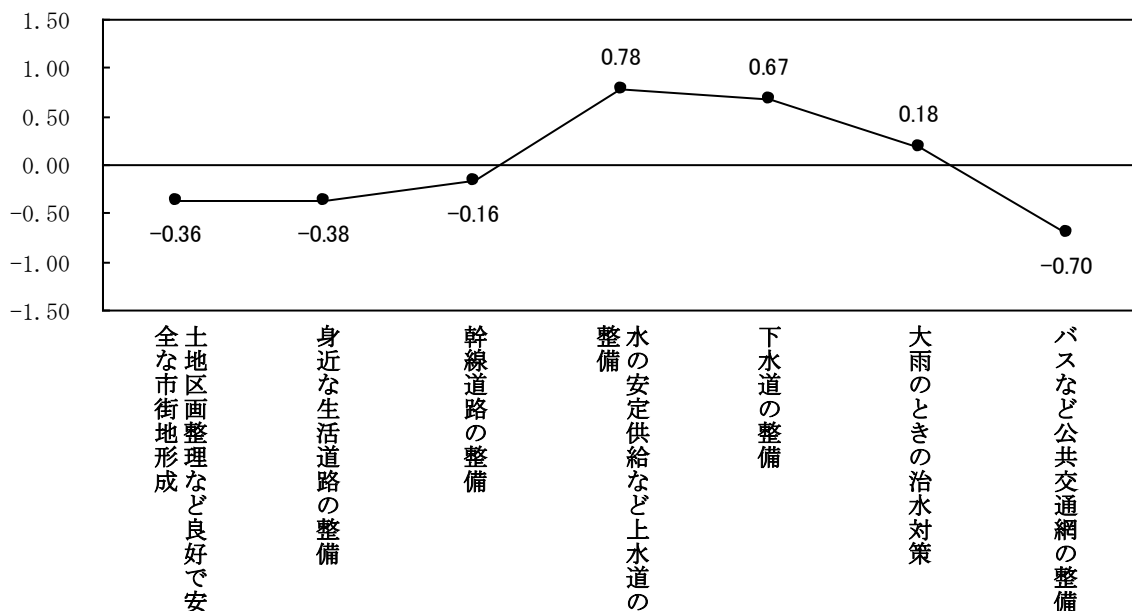
環境の平均評価点をみると、[公園や緑地の整備]が-0.36点、[大気や水質汚染などの環境対策]が-0.03点で、それ以外がプラス評価となっている。評価が最も高いのは、[ごみ・し尿処理など廃棄物対策]で0.41点、続く[ごみの減量化やリサイクルの推進]が0.39点である。(図2-8)

<図2-8> 環境／平均評価点



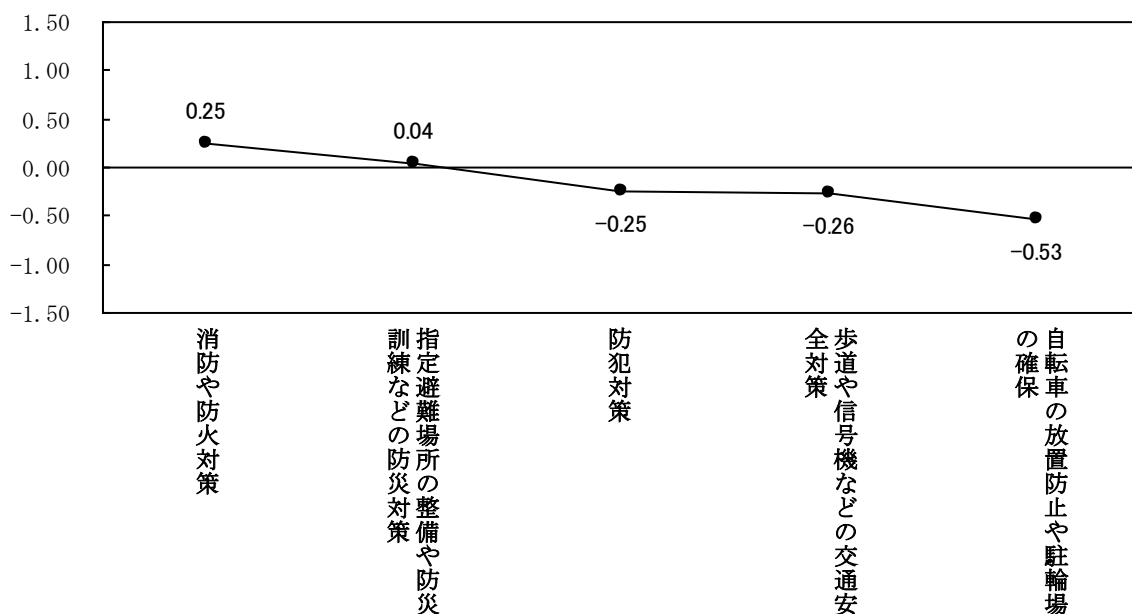
都市整備の平均評価点をみると、[水の安定供給など上水道の整備]が0.78点で最も高く、続く[下水道の整備]が0.67点で、この2項目が突出している。評価が最も低いのは、[バスなど公共交通網の整備]で-0.70点となっている。(図2-9)

<図2-9> 都市整備／平均評価点



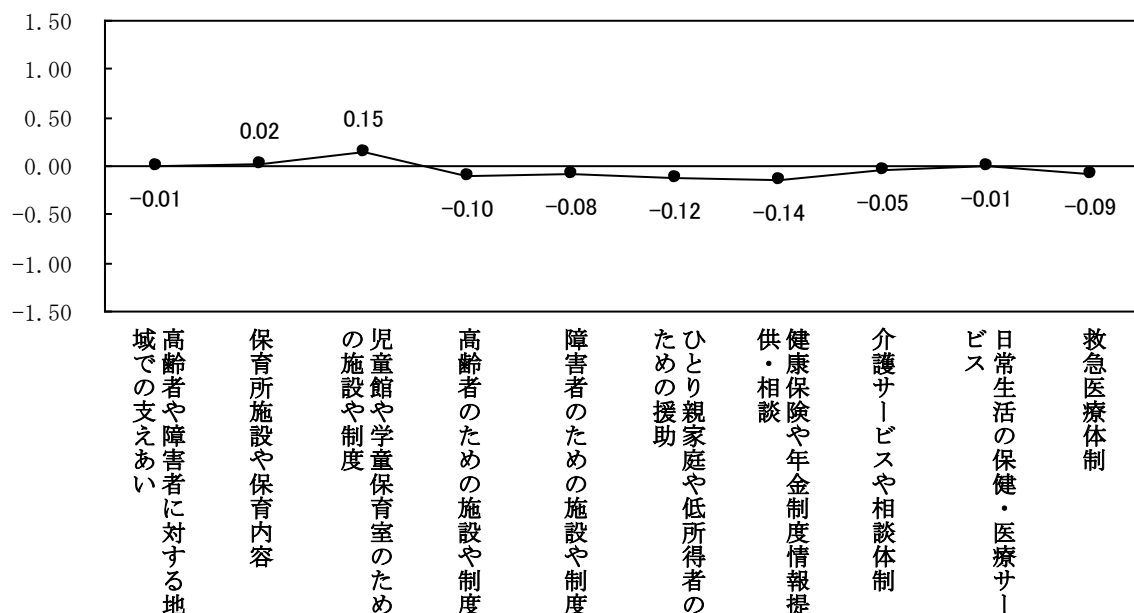
安全対策の平均評価点をみると、[消防や防火対策]が0.25点で最も高く、続く[指定避難場所の整備や防災訓練などの防災対策]が0.04点で、それ以外がマイナス評価となっている。評価が最も低いのは、[自転車の放置防止や駐輪場の確保]で-0.53点となっている。(図2-10)

<図2-10> 安全対策／平均評価点



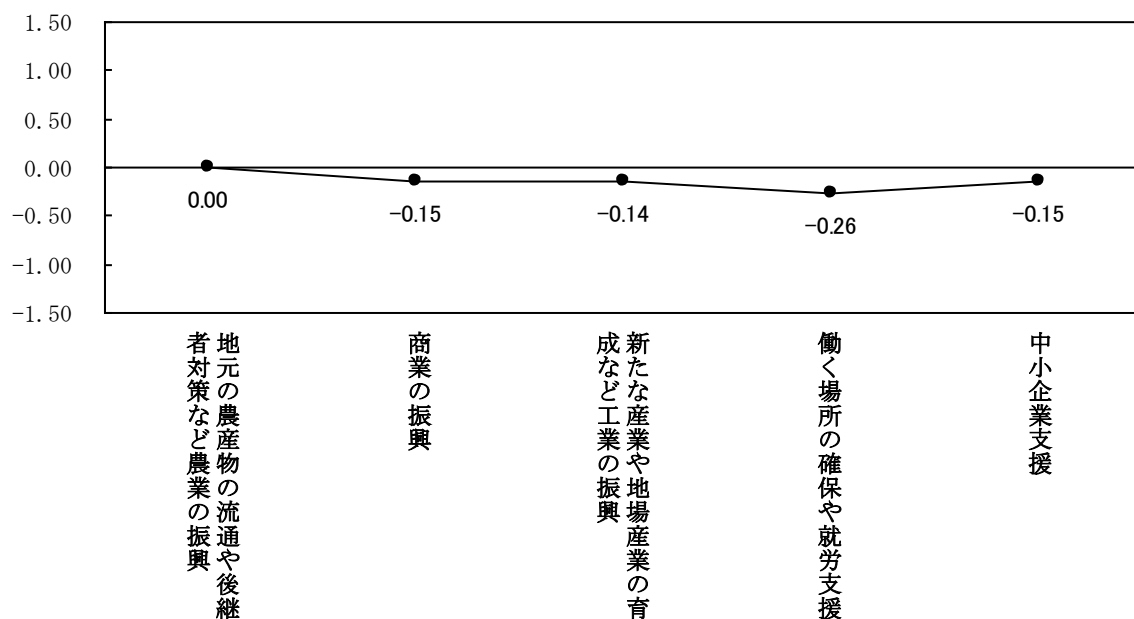
社会福祉の平均評価点をみると、[児童館や学童保育室のための施設や制度]が0.15点で最も高く、続く[保育所施設や保育内容]が0.02点で、それ以外がマイナス評価となっている。評価が最も低いのは、[健康保険や年金制度情報提供・相談]で-0.14点、次いで[ひとり親家庭や低所得者のための援助]で-0.12となっており、いずれの項目についても差が小さい。(図2-11)

<図2-11> 社会福祉／平均評価点



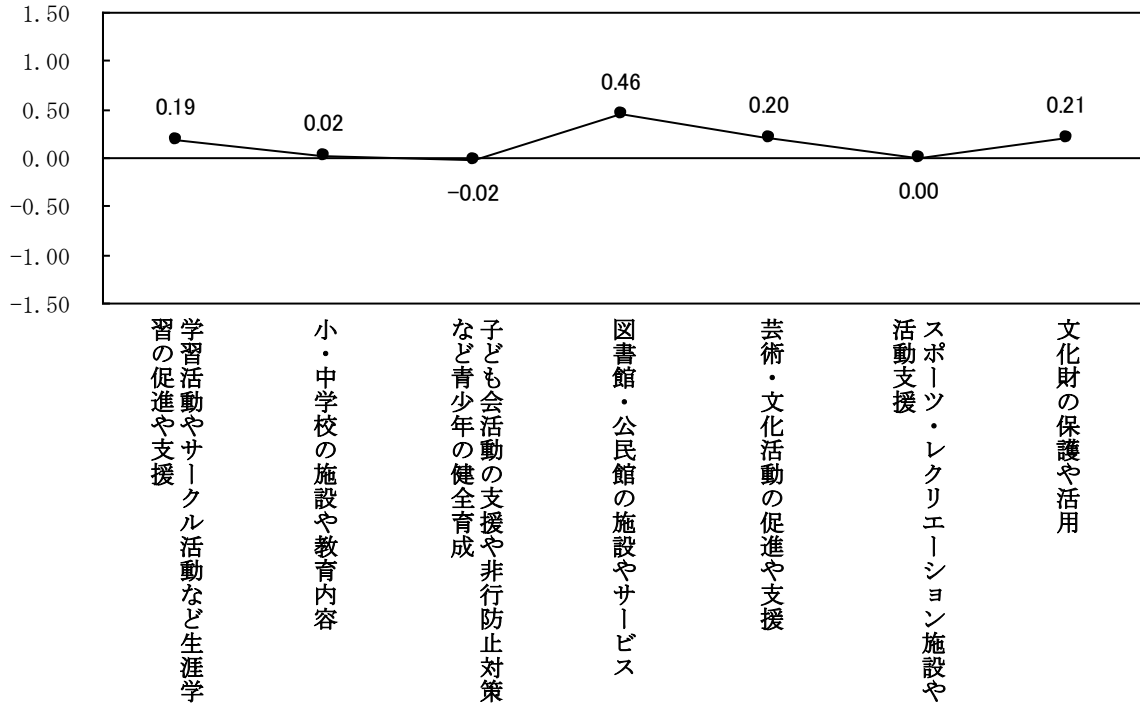
産業経済の平均評価点をみると、[地元の農産物の流通や後継者対策など農業の振興]のみ0.00点で、それ以外がマイナス評価となっている。評価が最も低いのは、[働く場所の確保や就労支援]で-0.26点である。(図2-12)

<図2-12> 産業経済／平均評価点



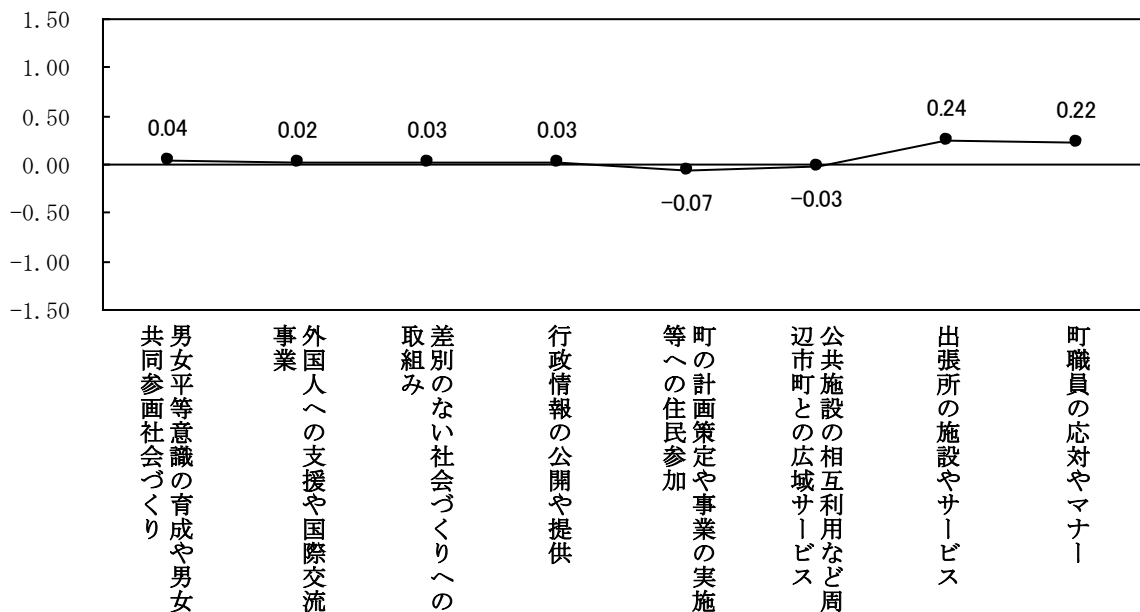
文化・教育の平均評価点をみると、全体的にプラス評価となっており、その中でも[図書館・公民館の施設やサービス]が0.46点と最も高くなっている。唯一[子ども会活動の支援や非行防止対策など青少年の健全育成]のみマイナス評価で、-0.02点となっている。(図2-13)

<図2-13>文化・教育／平均評価点



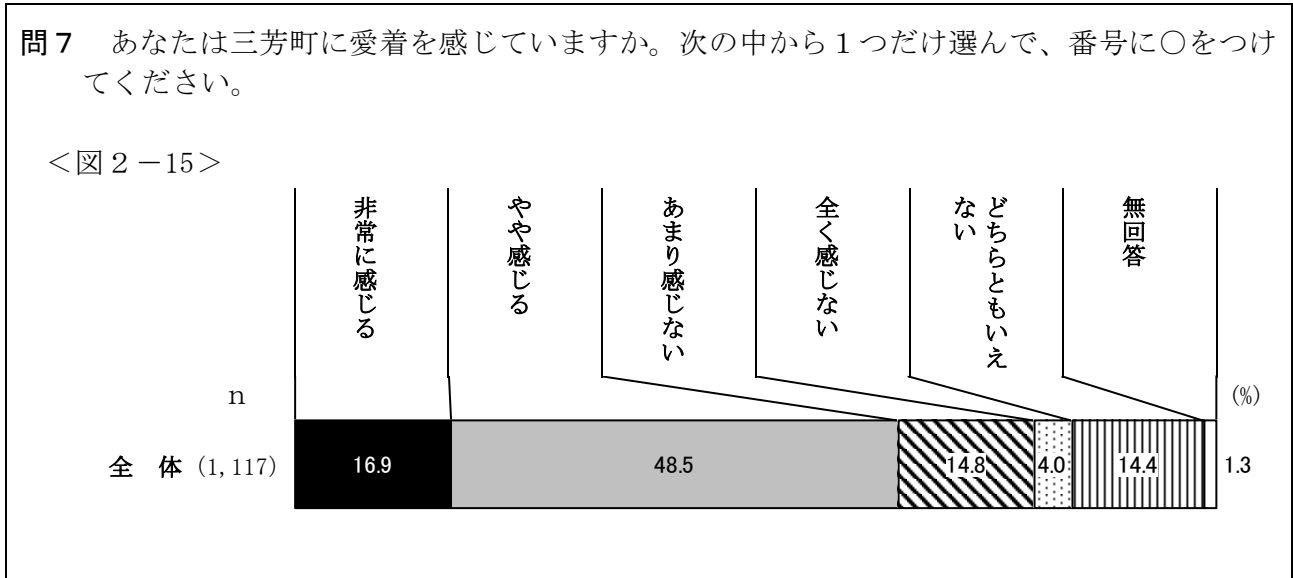
コミュニティほかの平均評価点をみると、中間値(0.00)に近い項目が目立つ。その中で、[出張所の施設やサービス]が0.24点と最も高く、次いで[町職員の応対やマナー]が0.22点となっており、この2項目が突出して高くなっている。(図2-14)

<図2-14>コミュニティほか／平均評価点



(2) 町に対する愛着

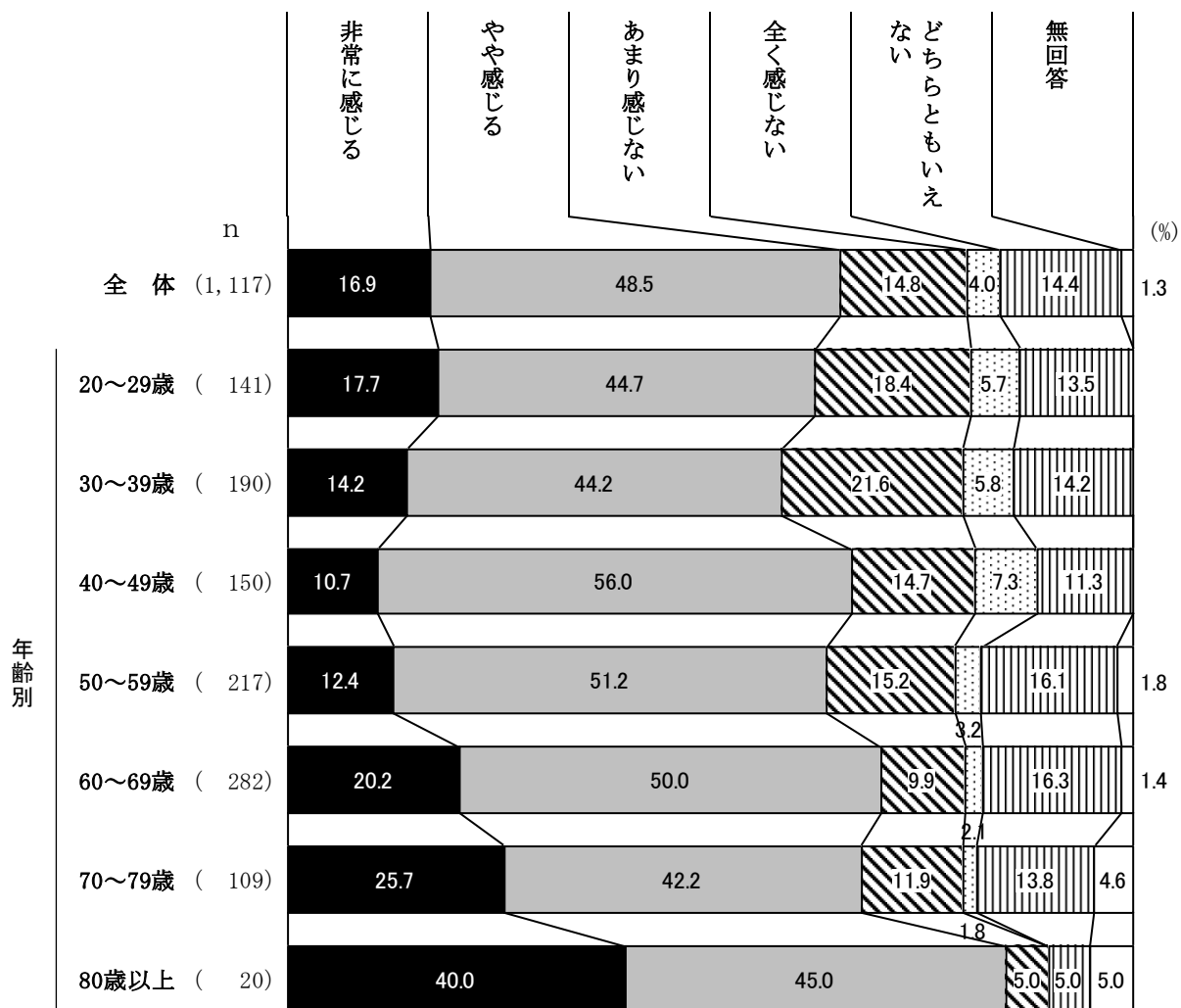
◇『愛着を感じる』が6割台半ば



三芳町への愛着については、「非常に感じる」(16.9%)と「やや感じる」(48.5%)をあわせた『愛着を感じる』(65.4%)が6割台半ばとなっている。一方、「あまり感じない」(14.8%)と「全く感じない」(4.0%)をあわせた『愛着を感じない』(18.8%)は2割弱である。(図2-15)

年齢別に見ると、『愛着を感じる』が60～69歳で7割と最も高い。一方で、『愛着を感じない』が30～39歳で2割台半ばを超えている。(図2-16)

<図2-16> 年齢別



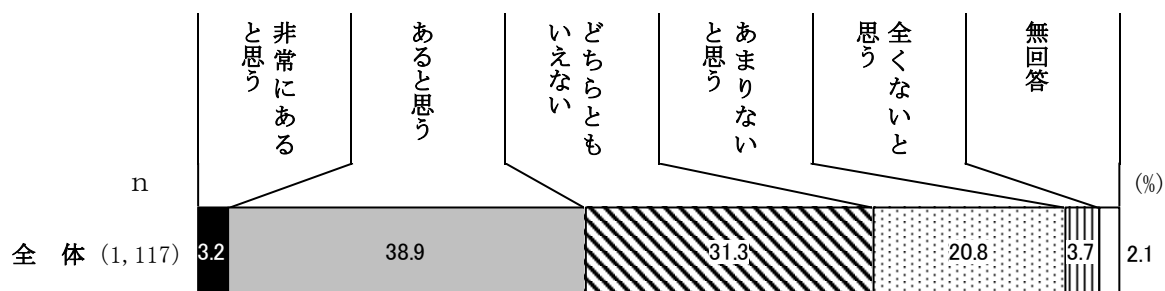
3 地域内の様子について

(1) よりよい地域をつくっていく雰囲気や土壌

◇よりよい地域をつくっていく雰囲気や土壌が『あると思う』が4割を超える

問8 あなたのお住まいの地域では、人々が協力し合ってよりよい地域をつくっていくような雰囲気や土壌はありますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

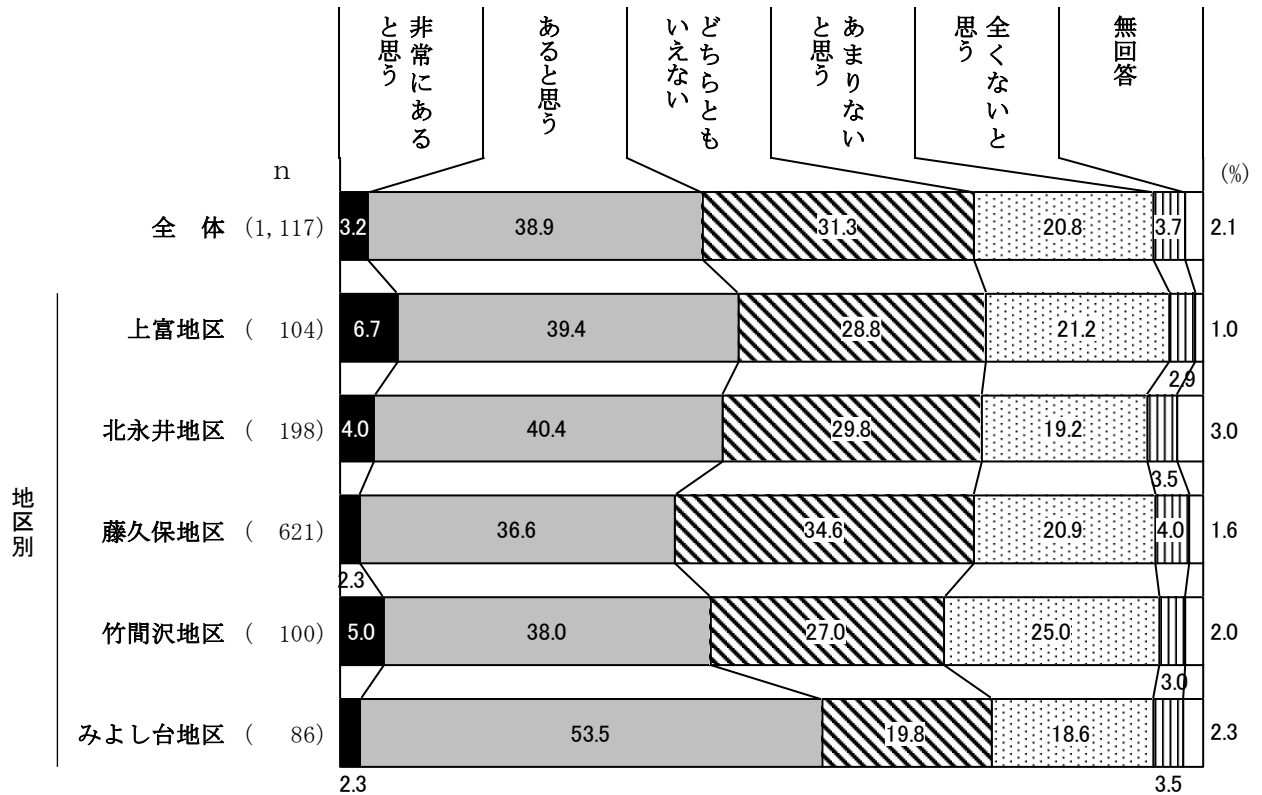
<図3-1>



よりよい地域をつくっていく雰囲気や土壌の有無については、「非常にあると思う」(3.2%)と「あると思う」(38.9%)をあわせた『あると思う』(42.1%)が4割を超えている。一方、「あまりないと思う」(20.8%)と「全くないと思う」(3.7%)をあわせた『ないと思う』(24.5%)は2割台半ばである。(図3-1)

地区別に見ると、『あると思う』がみよし台地区で5割台半ばを超え最も高く、唯一半数を超えている。一方で、『ないと思う』が竹間沢地区で3割に近い。(図3-2)

<図3-2>地区別

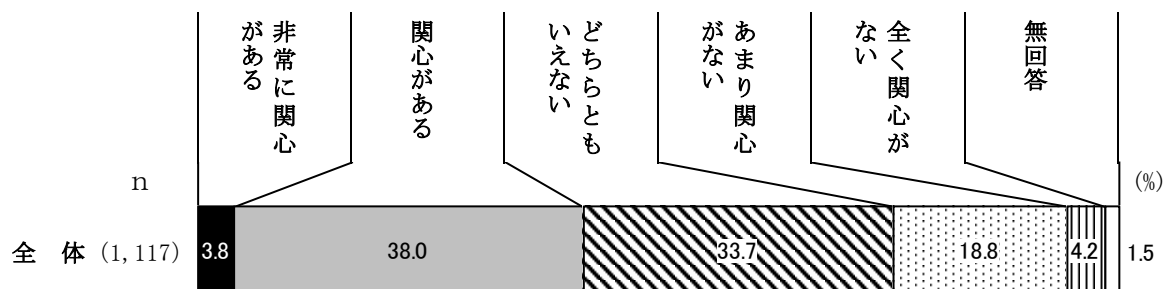


(2) 地域活動や交流への関心

◇『関心がある』が4割を超える

問9 あなたは、地域活動や交流に関心がありますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

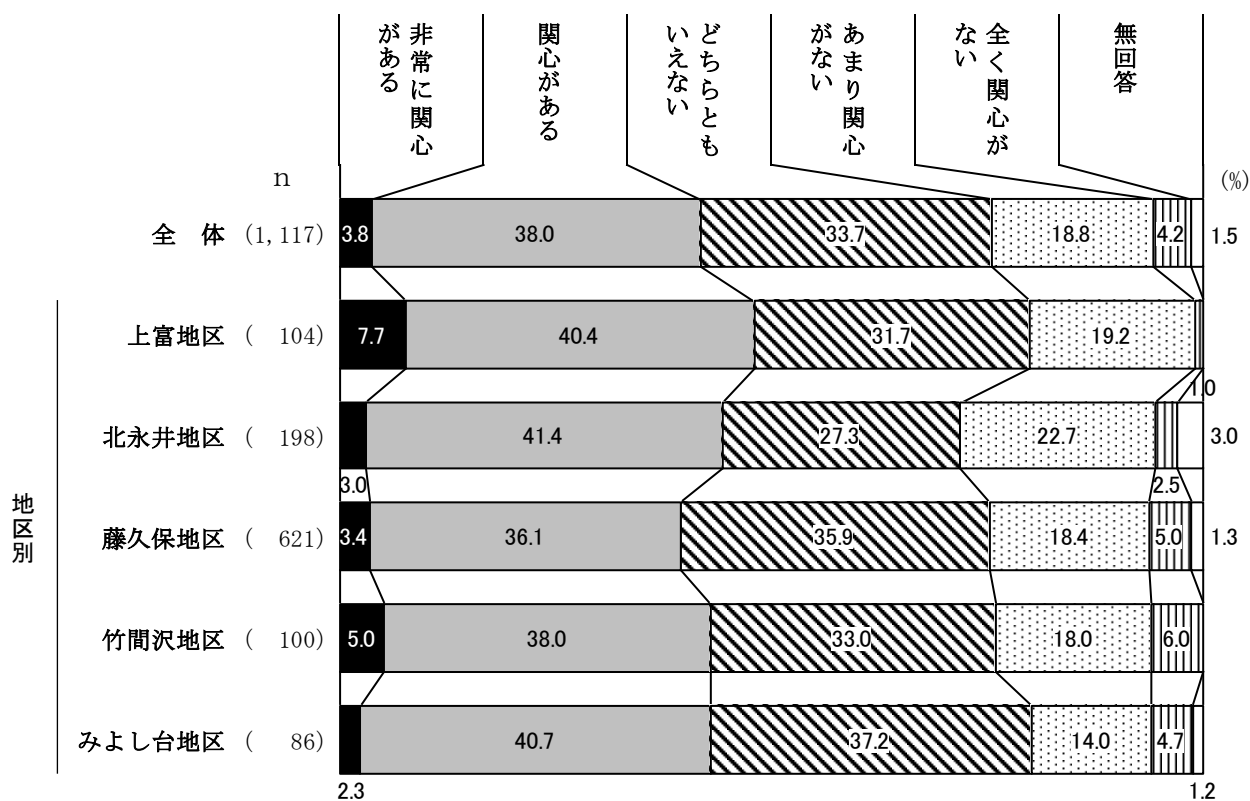
<図3-3>



地域活動や交流への関心は、「非常に関心がある」(3.8%)と「関心がある」(38.0%)をあわせた『関心がある』(41.8%)が4割を超えている。一方、「あまり関心がない」(18.8%)と「全く関心がない」(4.2%)をあわせた『ないと思う』(23.0%)は2割台半ばに近い。(図3-3)

地区別に見ると、『関心がある』が上富地区で半数に近く最も高い。一方で、『関心がない』が北永井地区、藤久保地区、竹間沢地区で2割台半ばとなっている。(図3-4)

<図3-4>地区別

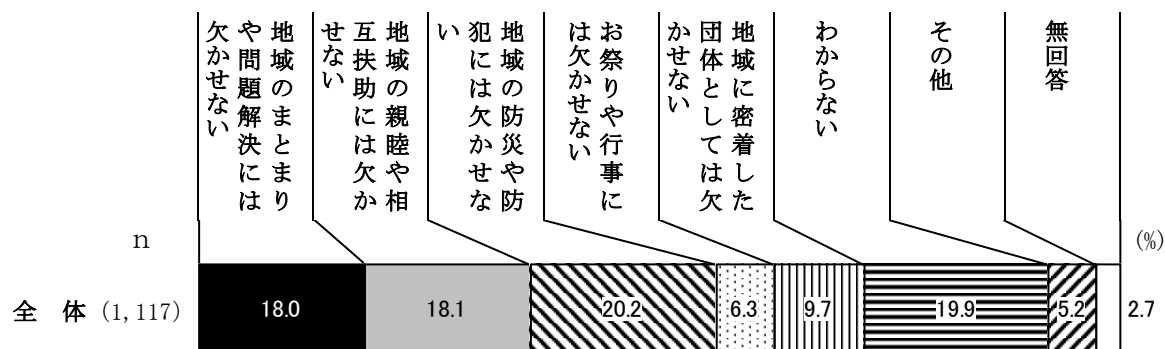


(3) 自治会や町内会についての考え方

◇「地域の防災や防犯には欠かせない」が2割

問10 あなたは、現在の自治会や町内会について、どのように考えていますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

<図3-5>

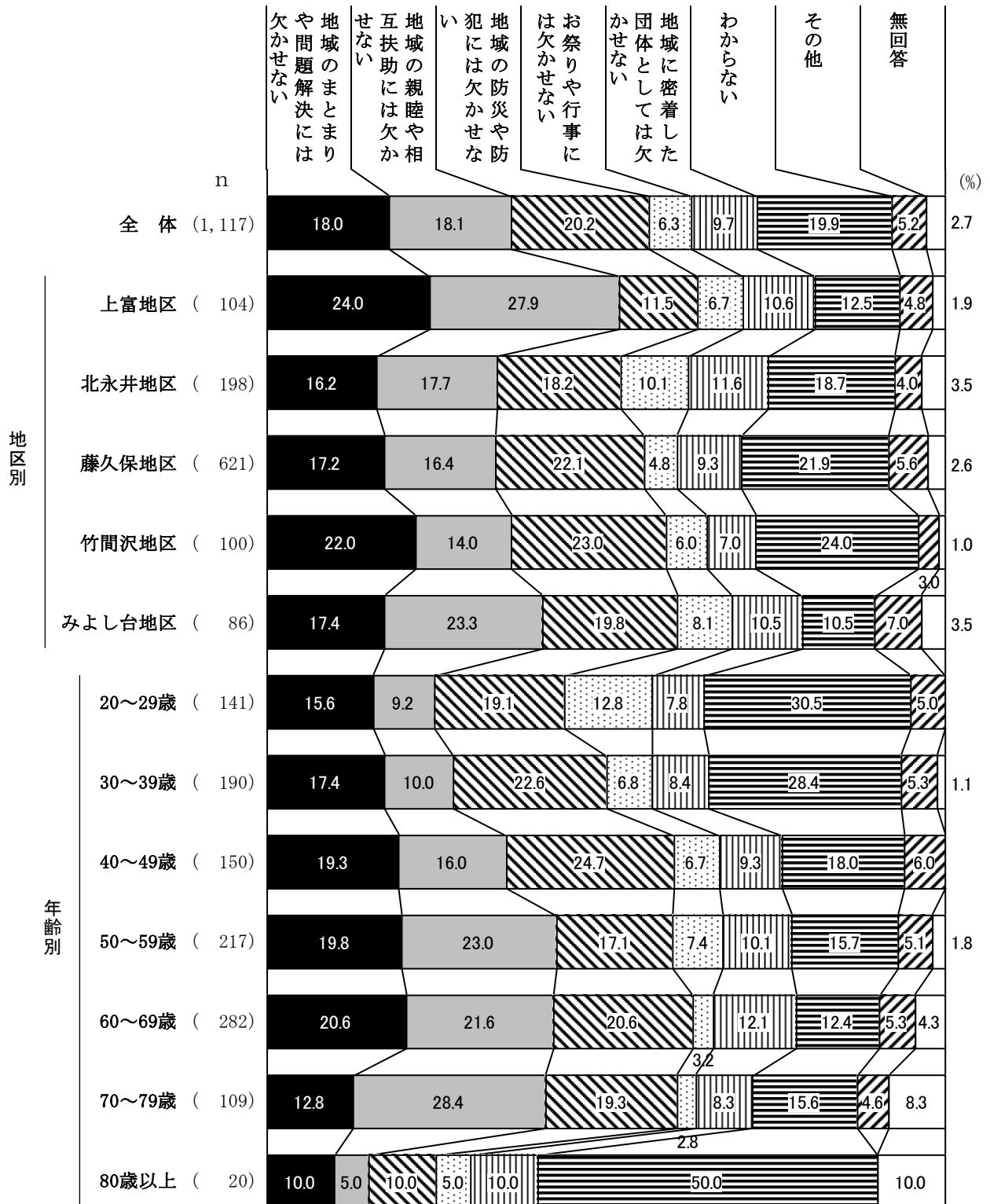


自治会や町内会については、「地域の防災や防犯には欠かせない」(20.2%)が2割で最も高い。以下、「地域の親睦や相互扶助には欠かせない」(18.1%)、「地域のまとめりや問題解決には欠かせない」(18.0%)と続いている。(図3-5)

地区別に見ると、「地域の親睦や相互扶助には欠かせない」では上富地区で3割弱、続くみよし台地区で2割台半ば弱となっており、いずれも2割を超える。また、「地域の防災や防犯には欠かせない」については、藤久保地区と竹間沢地区でいずれも2割を超えている。(図3-6)

年齢別に見ると、「地域の親睦や相互扶助には欠かせない」では70～79歳で3割に近い。また、「地域の防災や防犯には欠かせない」については、30～39歳と40～49歳でいずれも2割台半ば弱となっている。(図3-6)

<図3-6>地区別/年齢別

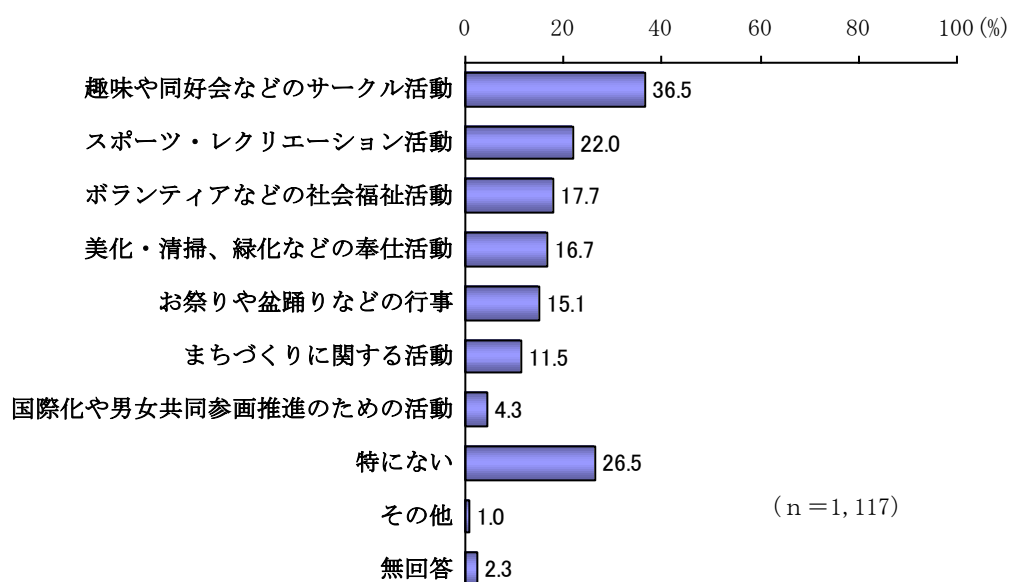


(4) 参加したい地域活動

◇「趣味や同好会などのサークル活動」が3割台半ばを超える

問11 あなたは、どのような地域活動に参加したいですか。次のうち、あなたの考えに近いものを選んで番号に○をつけてください。(複数回答可)

<図3-7>

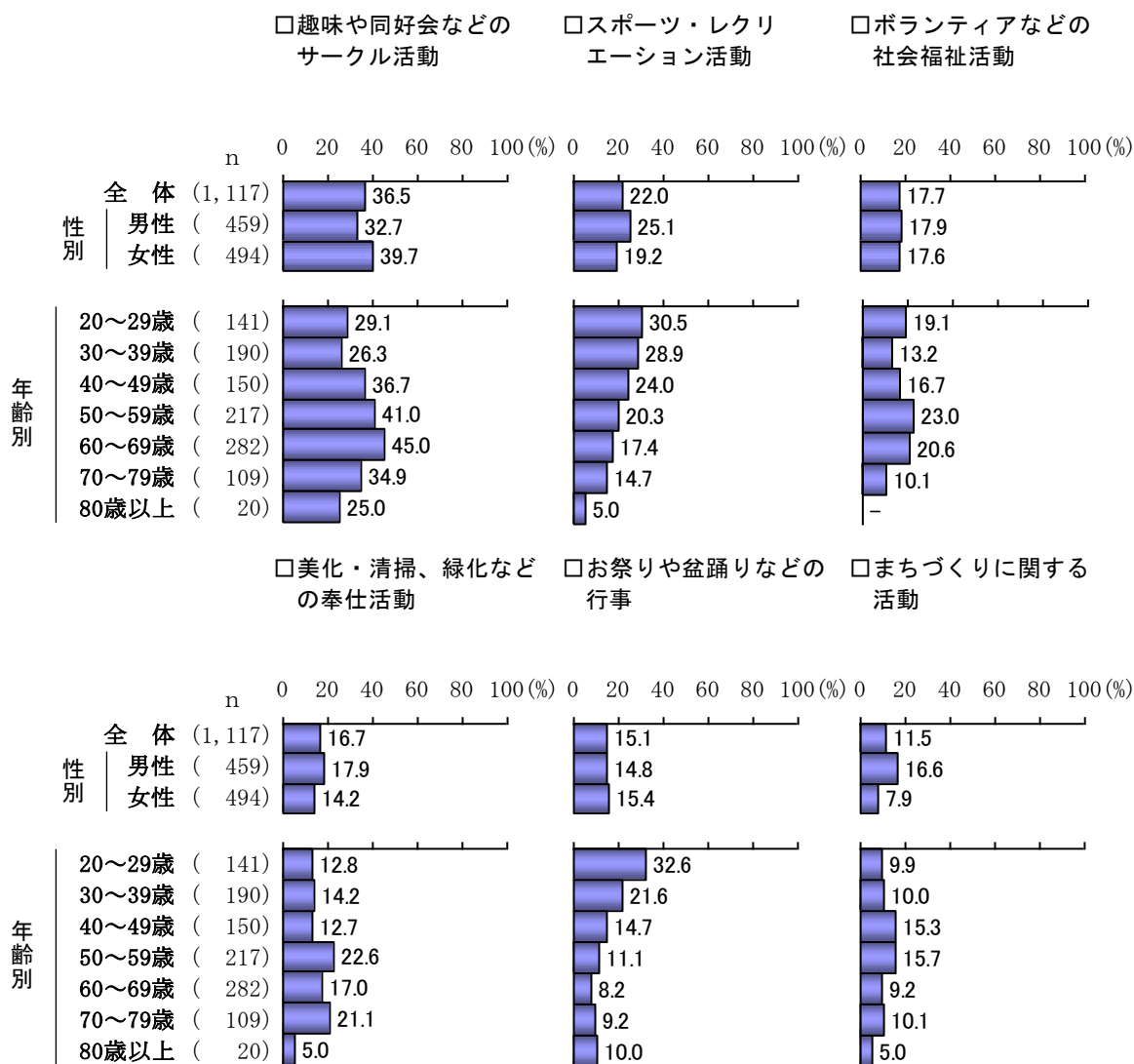


参加したい地域活動は、「趣味や同好会などのサークル活動」(36.5%)が3割台半ばを超え最も高い。以下、「スポーツ・レクリエーション活動」(22.0%)が2割強、「ボランティアなどの社会福祉活動」(17.7%)が2割弱と続いている。(図3-7)

性別に見ると、「趣味や同好会などのサークル活動」では女性が4割となっており、男性より7ポイント高い。一方、「スポーツ・レクリエーション活動」については、男性が2割台半ばで女性を6ポイント上回っている。(図3-8)

年齢別に見ると、「趣味や同好会などのサークル活動」では60～69歳が4割台半ばで最も高く、50～59歳についても4割を超える。また、「スポーツ・レクリエーション活動」については、20～29歳で3割、続く30～39歳も3割に近い。(図3-8)

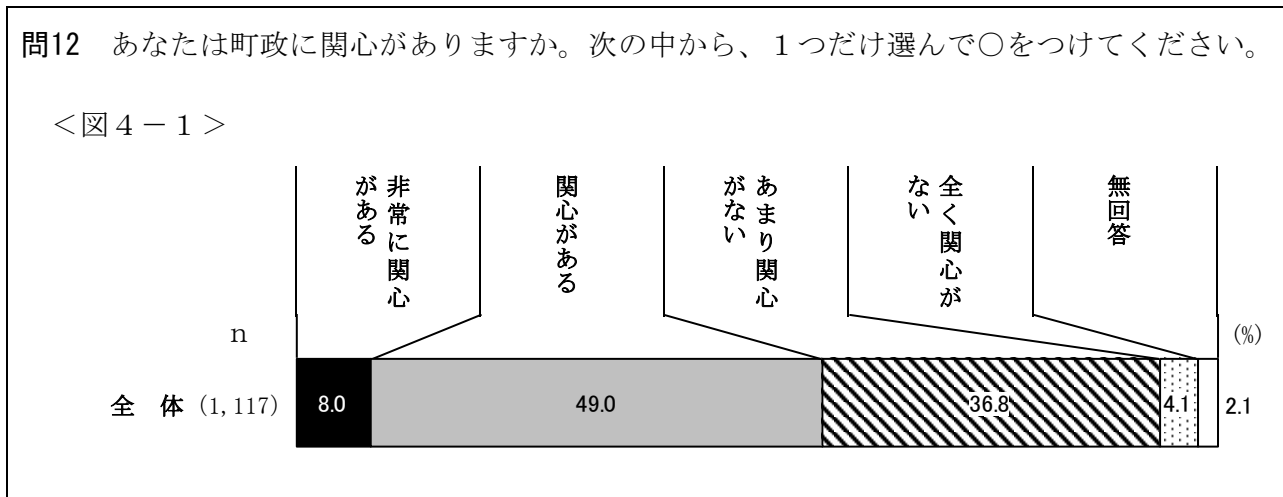
<図3-8>性別/年齢別(上位6項目)



4 町行政運営について

(1) 町政への関心

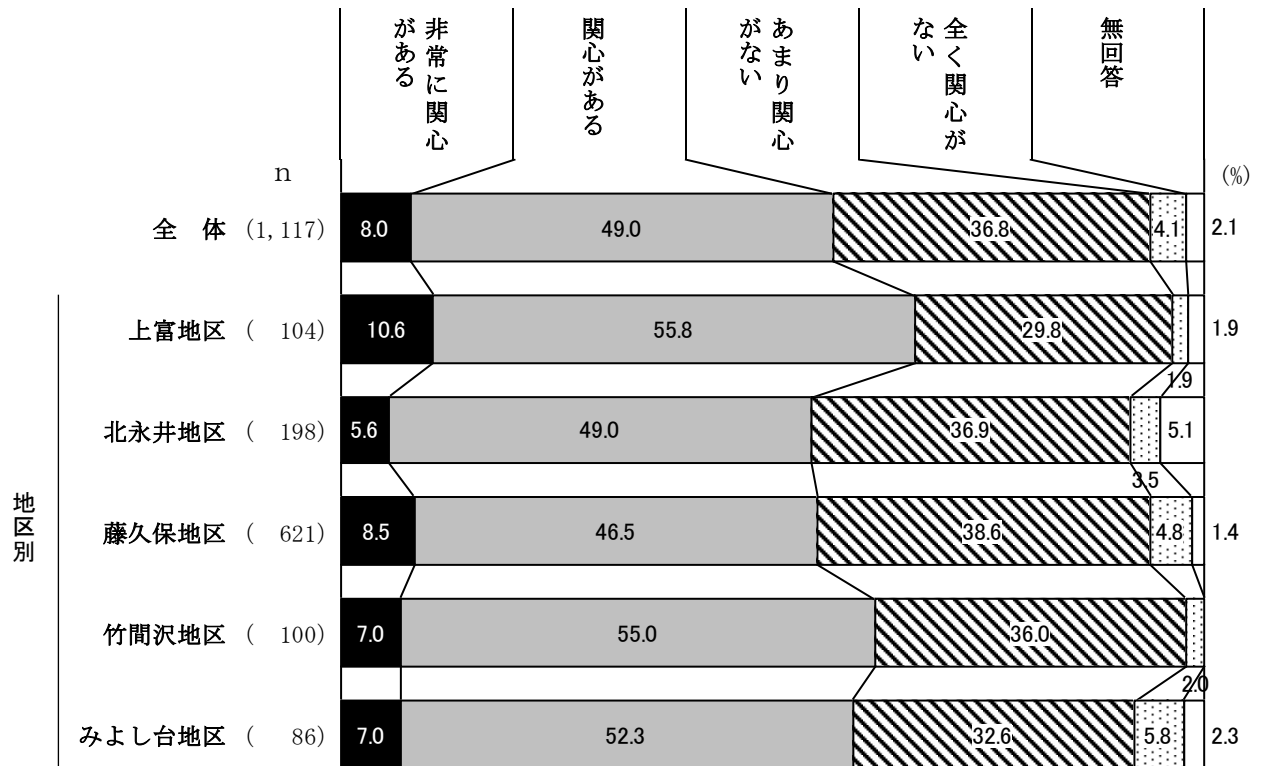
◇『関心がある』が5割台半ばを超える



町政への関心は、「非常に関心がある」(8.0%)と「関心がある」(49.0%)をあわせた『関心がある』(57.0%)が5割台半ばを超え最も高い。一方、「あまり関心がない」(36.8%)と「全く関心がない」(4.1%)をあわせた『関心がない』(40.9%)は4割となっている。(図4-1)

地区別に見ると、『関心がある』では上富地区が6割台半ばを超え最も高く、続く竹間沢地区も6割を超えている。また、『関心がない』については、藤久保地区で4割台半ばに近く、続く北永井地区は4割となっている。(図4-2)

<図4-2>地区別

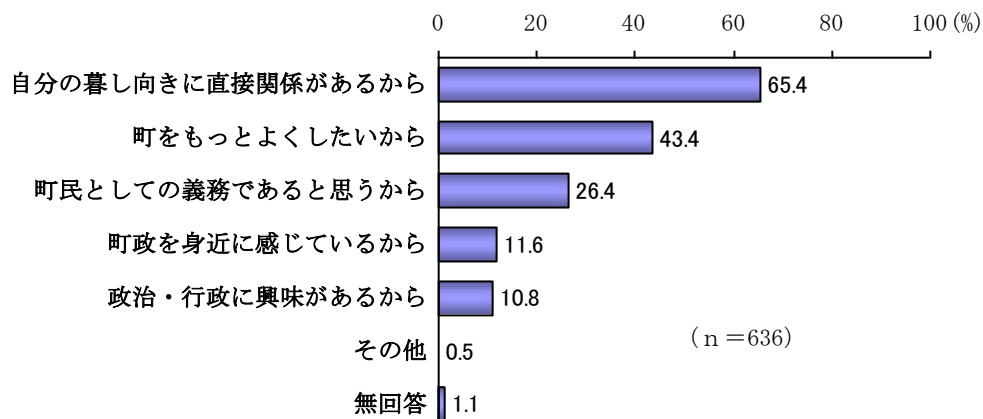


(2) 町政に関心がある理由

◇「自分の暮らし向きに直接関係があるから」が6割台半ば

問12-① 前問（問12）で、1または2に回答された方にお聞きします。関心がある理由としてあてはまるものを選んで、番号に○をつけてください。（複数回答可）

<図4-3>



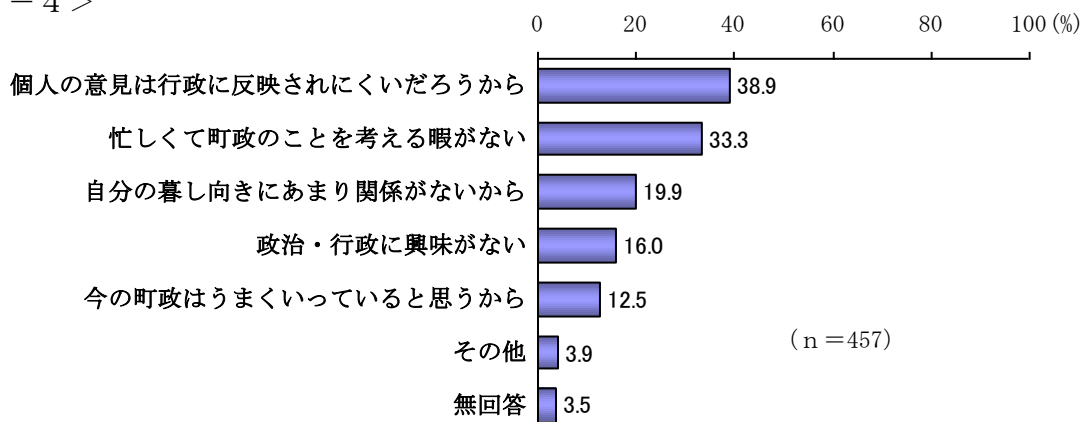
問12で、『関心がある』と答えた方にその理由を聞いたところ、「自分の暮らし向きに直接関係があるから」（65.4%）が6割台半ばで最も高く、次いで「町をもっとよくしたいから」（43.4%）が4割半ば弱となっている。（図4-3）

(3) 町政に関心がない理由

◇「個人の意見は行政に反映されにくいだろうから」が約4割

問12-② 前問（問12）で、3または4に回答された方にお聞きします。関心のない理由としてあてはまるものを選んで番号に○をつけてください。（複数回答可）

<図4-4>



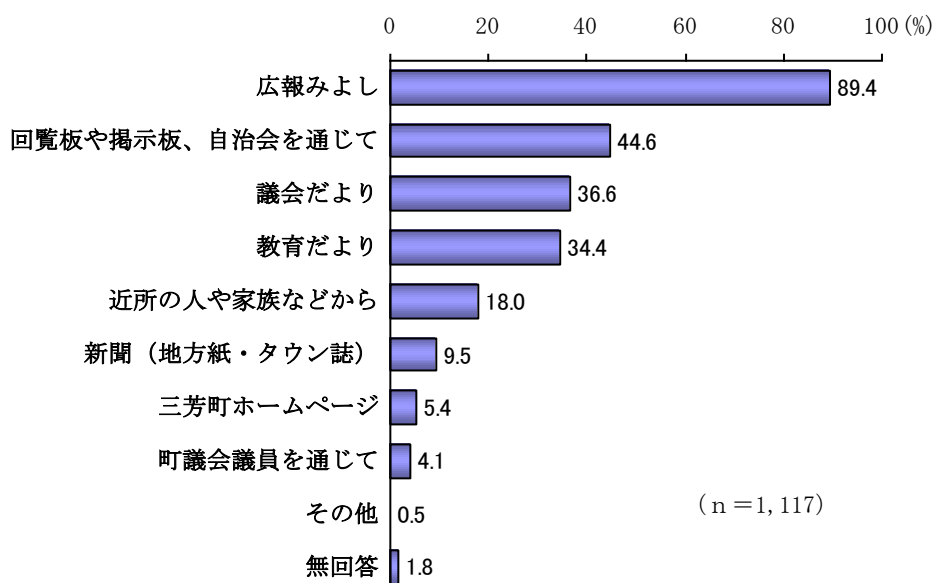
問12で、『関心がない』と答えた方にその理由を聞いたところ、「個人の意見は行政に反映されにくいだろうから」（38.9%）が約4割で最も高く、次いで「忙しくて町政のことを考える暇がない」（33.3%）が3割半ば弱となっている。（図4-4）

(4) 町政や町の行事の情報収集方法

◇「広報みよし」が約9割で突出

問13 あなたは、町政や町の行事などについて、どこから情報を得ていますか。次の中から選んで、番号に○をつけてください。(複数回答可)

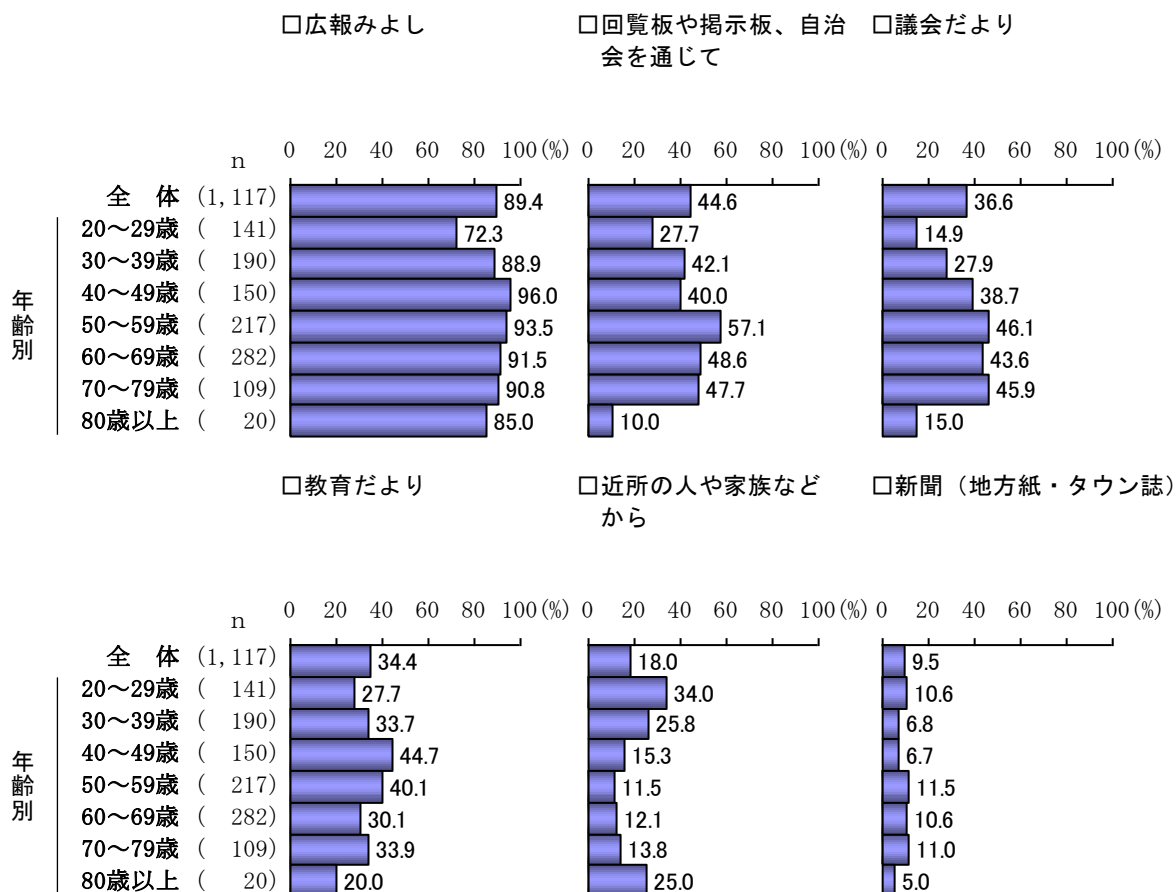
<図4-5>



町政や町の行事の情報収集方法は、「広報みよし」(89.4%)が約9割で突出している。次いで「回覧板や掲示板、自治会を通じて」(44.6%)が4割半ばとなっている。(図4-5)

年齢別に見ると、「広報みよし」が30歳以上の年代で8割半ばから9割半ば強となっている一方で、20～29歳では7割強と比較的低くなっている。また、「回覧板や掲示板、自治会を通じて」については、50～59歳で5割半ばを超え、続く60～69歳と9ポイントの差が見られる。(図4-6)

<図4-6>年齢別（上位6項目）

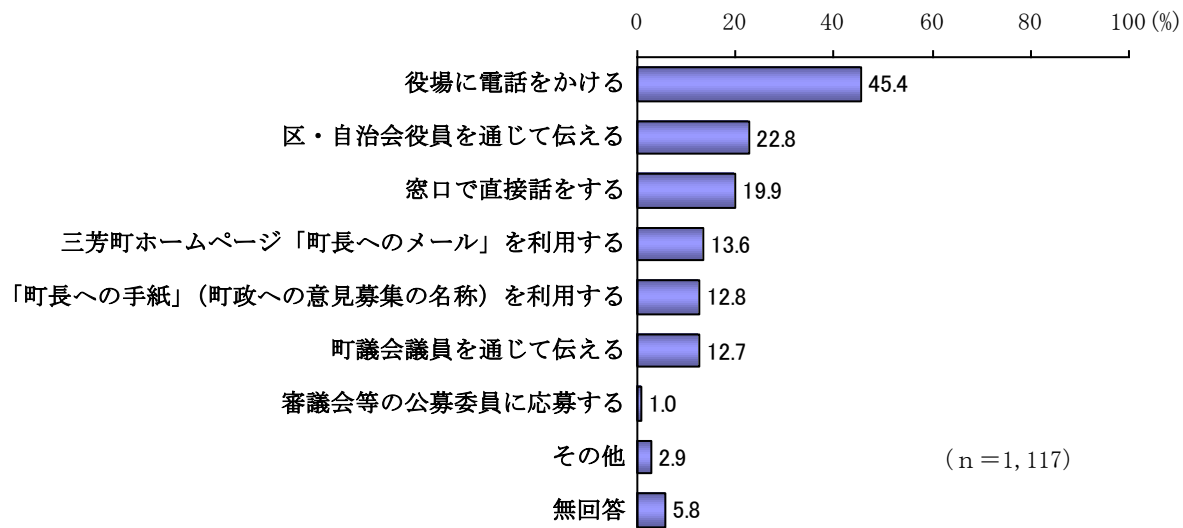


(5) 町政に意向を伝える方法

◇「役場に電話をかける」が4割台半ば

問14 あなたが、ご自分の意向を町政に伝える場合、どのような方法を選びますか。次の中から選んで、番号に○をつけてください。(複数回答可)

<図4-7>



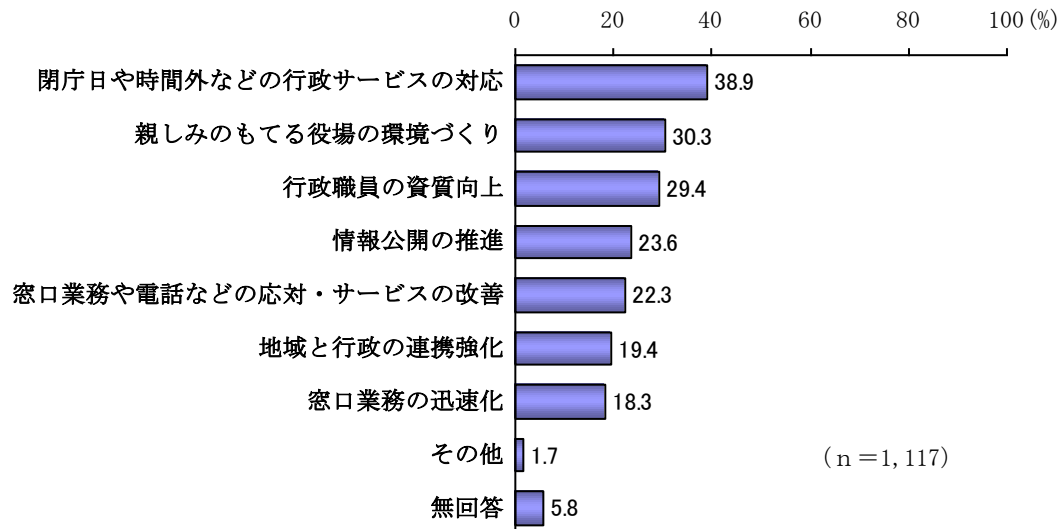
町政に意向を伝える方法は、「役場に電話をかける」(45.4%)が4割台半ばで最も高い。次いで「区・自治会役員を通じて伝える」(22.8%)が2割を超え、「窓口で直接話をする」(19.9%)が2割となっている。(図4-7)

(6) 行政運営に対する要望

◇「閉庁日や時間外などの行政サービスの対応」が約4割

問15 あなたは、三芳町の行政運営に対して特にどのようなことを望みますか。次の中から選んで番号に○をつけてください。(複数回答可)

<図4-8>



行政運営に対する要望は、「閉庁日や時間外などの行政サービスの対応」(38.9%)が約4割で最も高く、次いで「親しみのもてる役場の環境づくり」(30.3%)、「行政職員の資質向上」(29.4%)が3割、「情報公開の推進」(23.6%)が2割強と続いている。(図4-8)

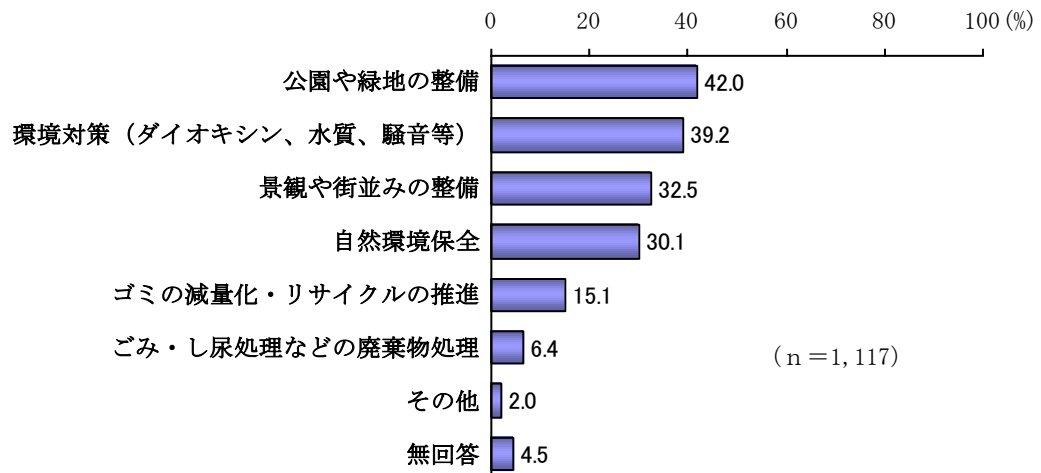
(7) 力を入れるべき施策

「環境」について

◇「公園や緑地の整備」が4割強

問16 三芳町を一層住みやすい町にするためには、今後どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。それぞれの分野ごとに2つ以内で選んで、番号に○をつけてください。

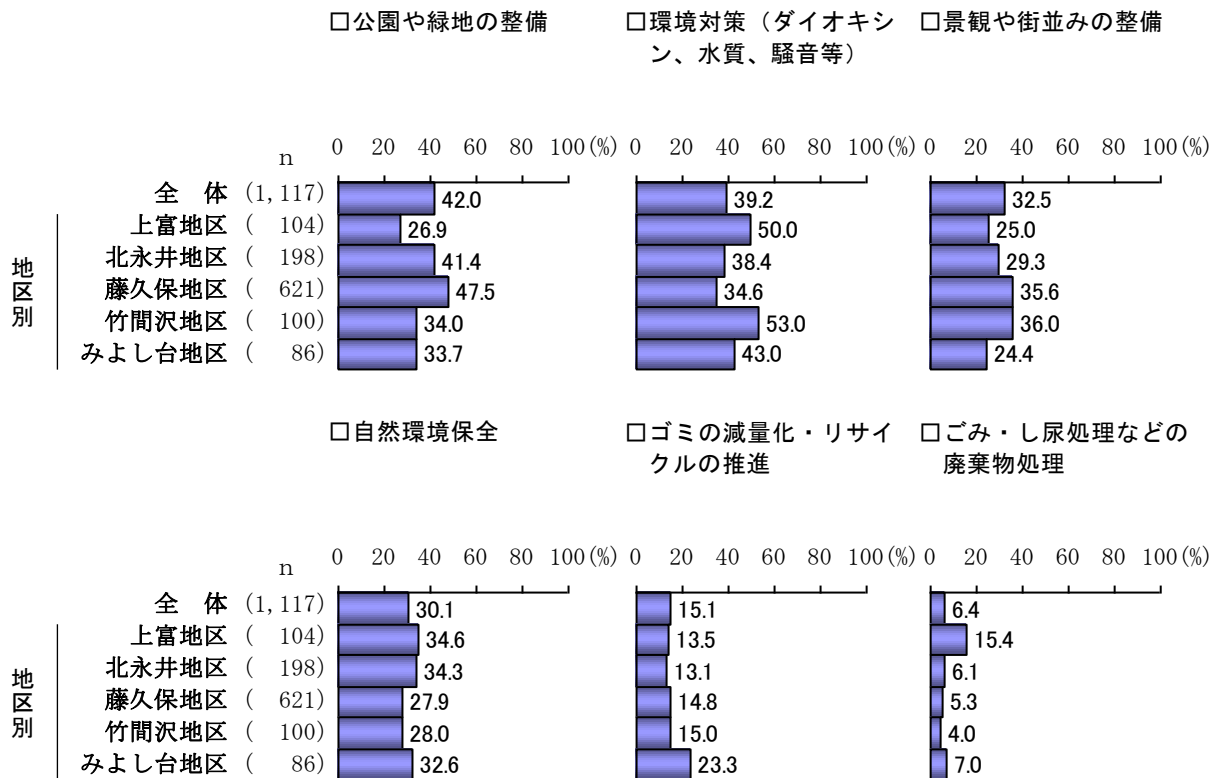
<図4-9>環境



今後力を入れるべき環境分野の施策は、「公園や緑地の整備」(42.0%)が4割強で最も高い。以下、「環境対策(ダイオキシン、水質、騒音等)」(39.2%)が4割、「景観や町並みの整備」(32.5%)が3割強と続いている。(図4-9)

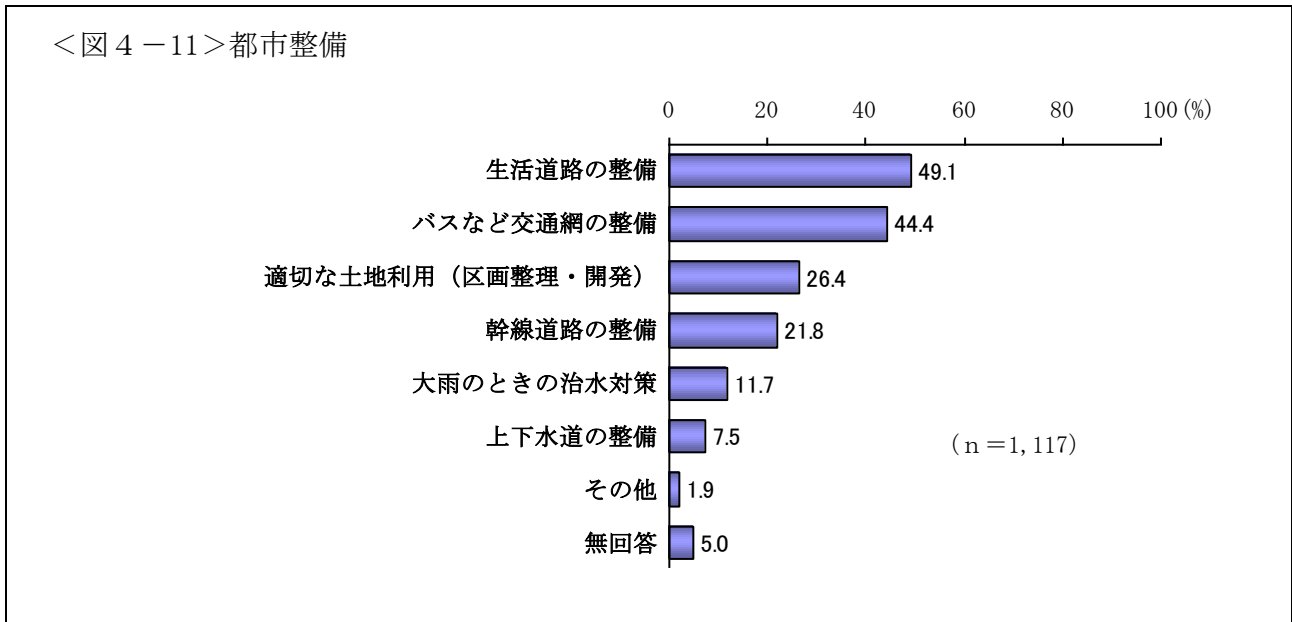
地区別に見ると、「環境対策（ダイオキシン、水質、騒音等）」が竹間沢地区と上富地区で半数を超えている。また、「公園や緑地の整備」についても、藤久保地区で半数に近づいている。（図4-10）

<図4-10>地区別（上位6項目）



「都市整備」について

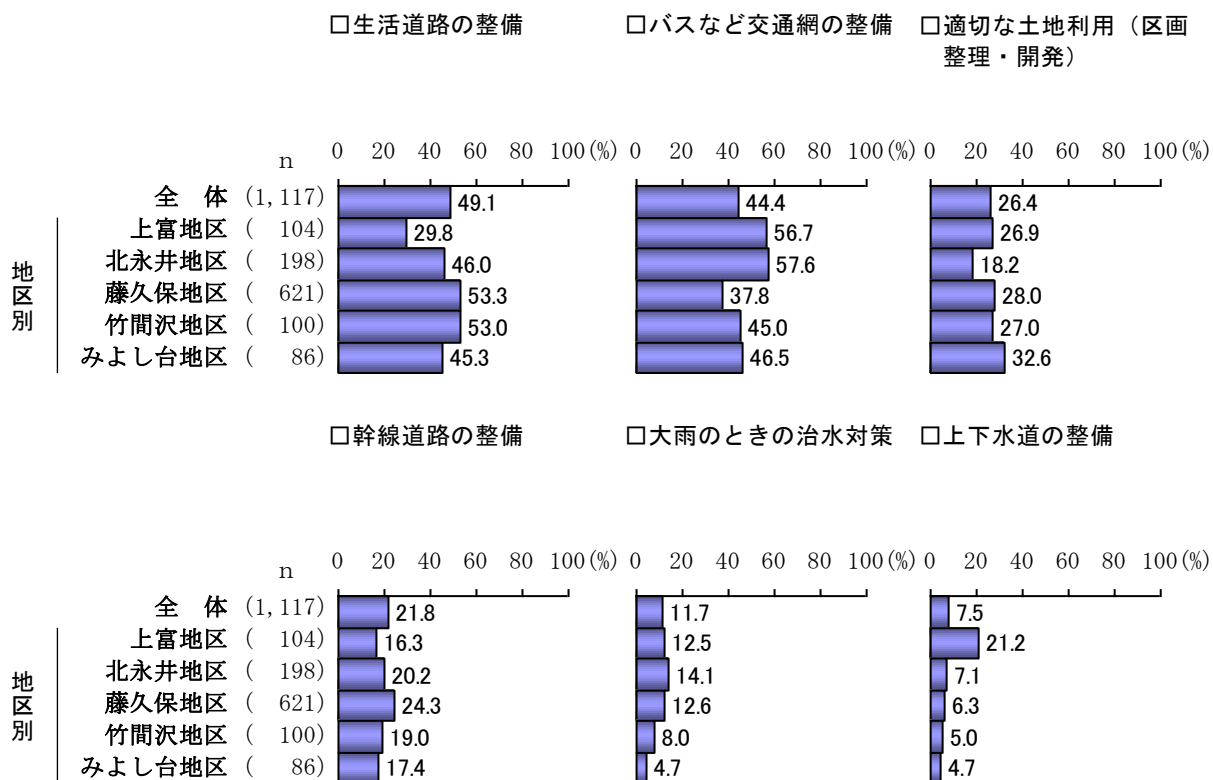
◇「生活道路の整備」が約半数



今後力を入れるべき都市整備分野の施策は、「生活道路の整備」(49.1%)が約半数を占め最も高く、次いで「バスなど交通網の整備」(44.4%)が4割台半ばとなっている。以下、「適切な土地利用(区画整理・開発)」(26.4%)が2割台半ば強と続いている。(図4-11)

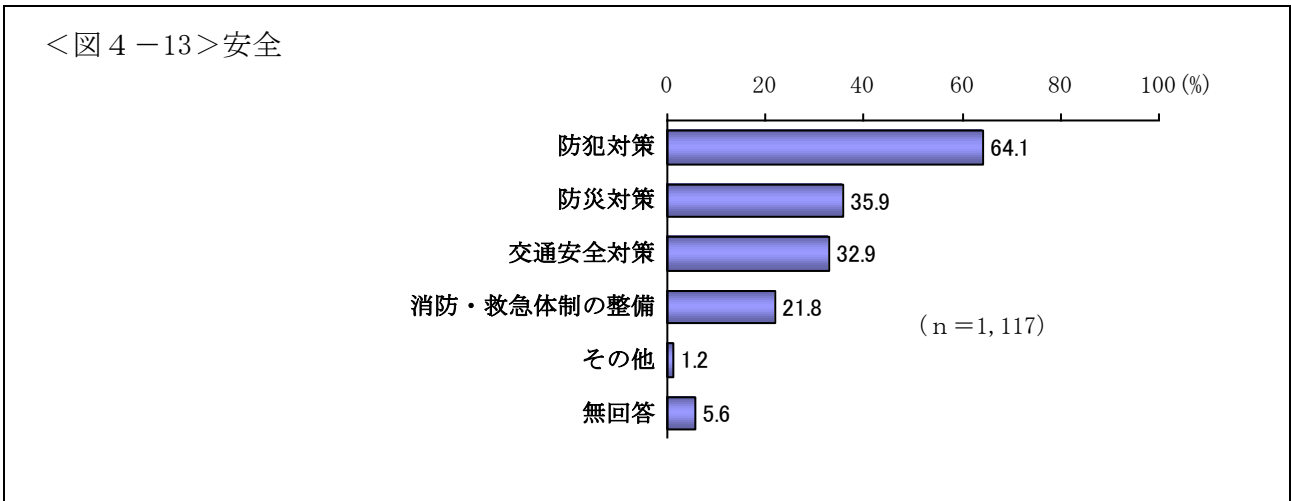
地区別に見ると、「バスなど交通網の整備」が上富地区と北永井地区で5割台半ばを超えている。また、「生活道路の整備」については、上富地区を除いたすべての地区で半数前後となっている。(図4-12)

<図4-12>地区別(上位6項目)



「安全」について

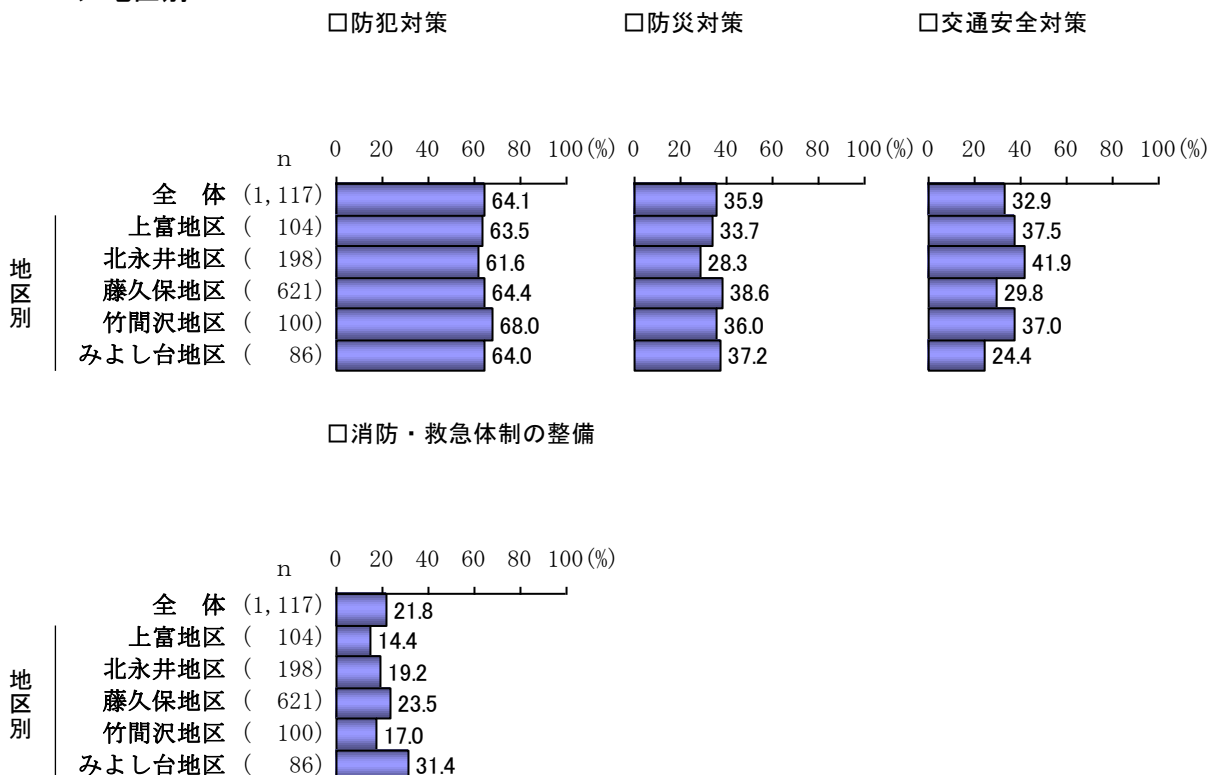
◇「防犯対策」が6割台半ば



今後力を入れるべき安全分野の施策は、「防犯対策」(64.1%)が6割台半ばで最も高い。以下、「防災対策」(35.9%)が3割台半ば、「交通安全対策」(32.9%)が3割台半ば弱と続いている。(図4-13)

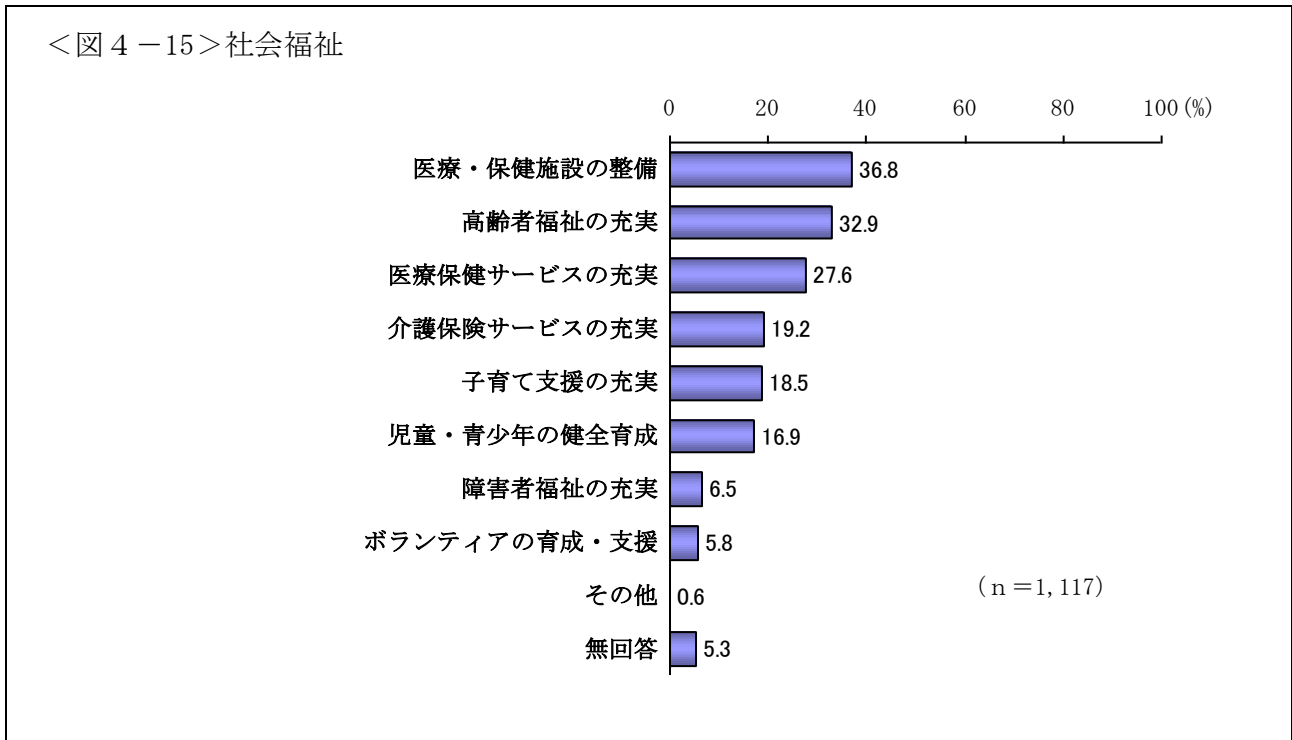
地区別に見ると、「交通安全対策」が北永井地区で4割を超え、上富地区と竹間沢地区で3割台半ば強となっている。また、「消防・救急体制の整備」については、みよし台地区で3割強となっている。(図4-14)

<図4-14>地区別



「社会福祉」について

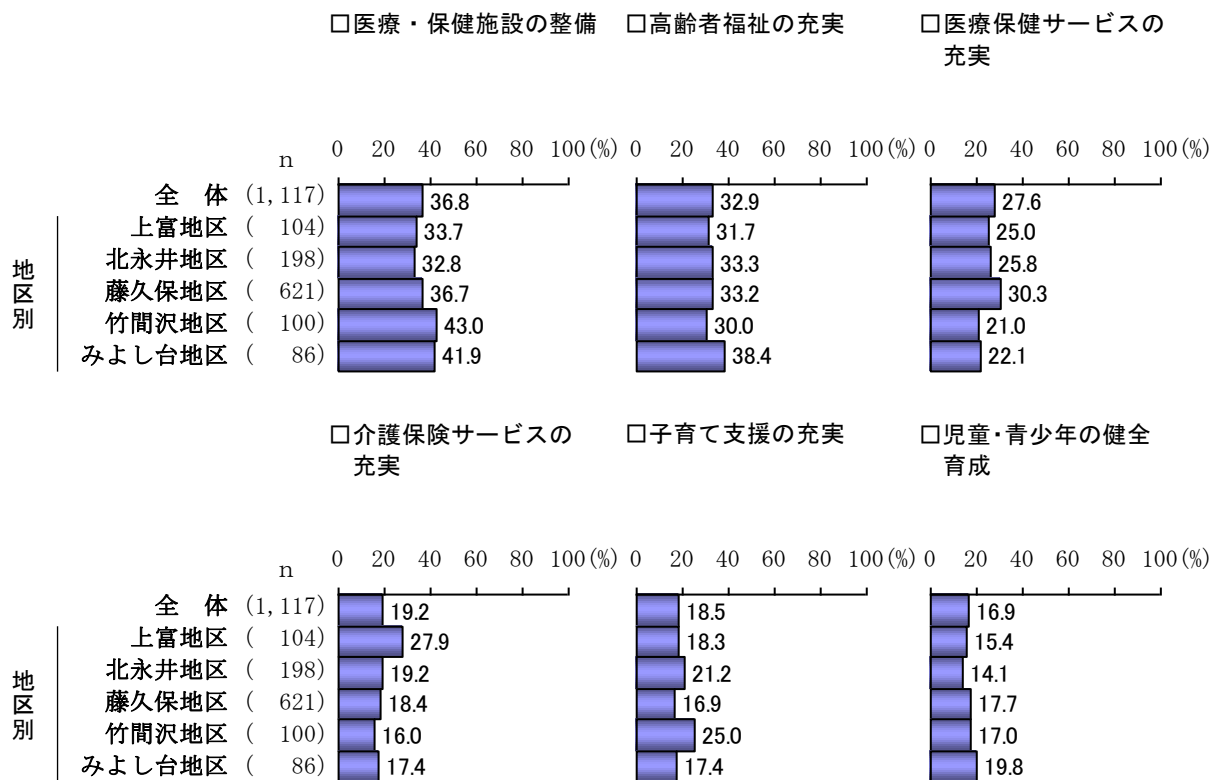
◇「医療・保健施設の整備」が3割台半ば強



今後力を入れるべき社会福祉分野の施策は、「医療・保健施設の整備」(36.8%)が3割台半ば強で最も高い。次いで「高齢者福祉の充実」(32.9%)が3割台半ばとなっている。(図4-15)

地区別に見ると、「医療・保健施設の整備」が竹間沢地区とみよし台地区で4割を超えている。また、「介護保険サービスの充実」については、上富地区で3割に近づいている。（図4-16）

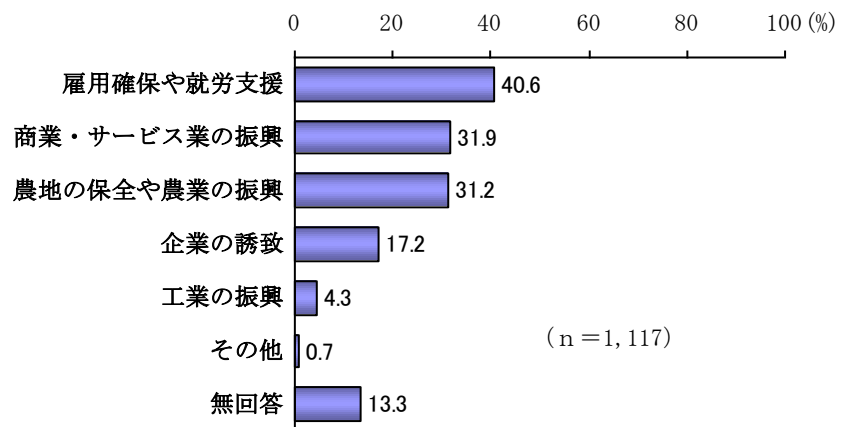
<図4-16>地区別（上位6項目）



「産業経済」について

◇「雇用確保や就労支援」が4割

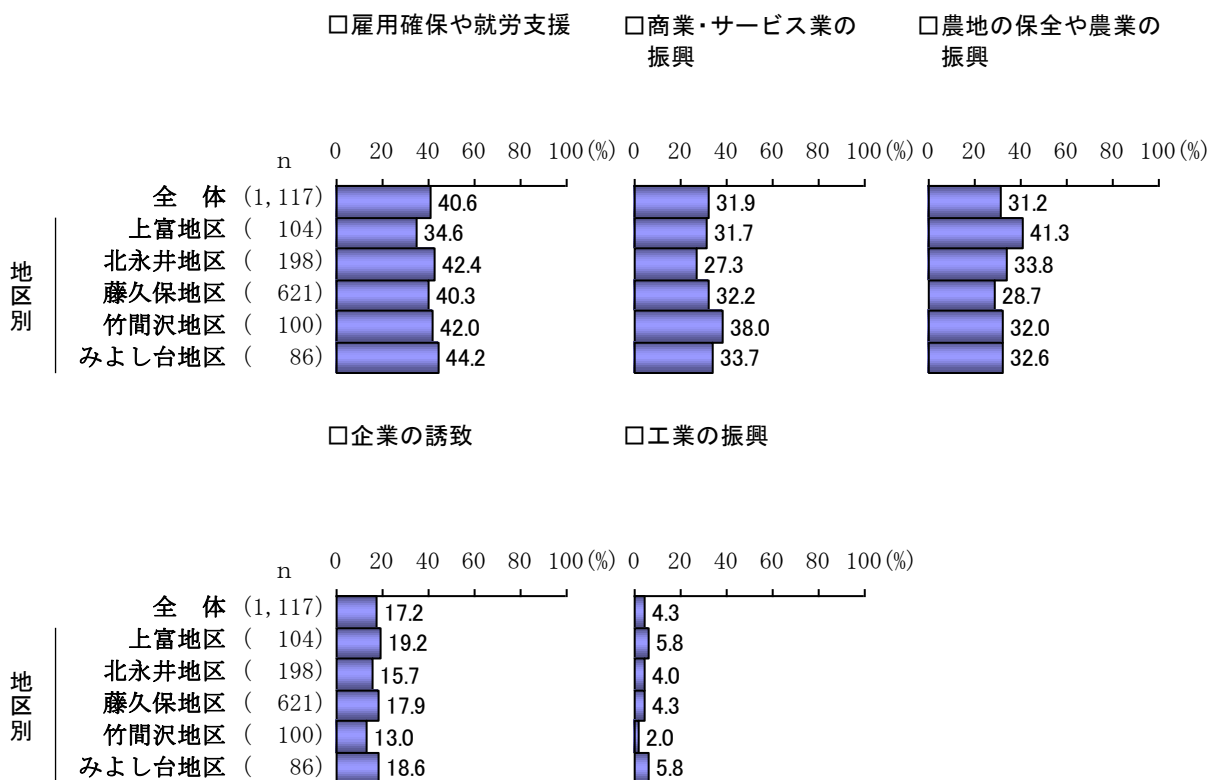
<図4-17> 産業経済



今後力を入れるべき産業経済分野の施策は、「雇用確保や就労支援」(40.6%)が4割で最も高い。次いで「商業・サービス業の振興」(31.9%)、「農地の保全や農業の振興」(31.2%)が3割強となっている。(図4-17)

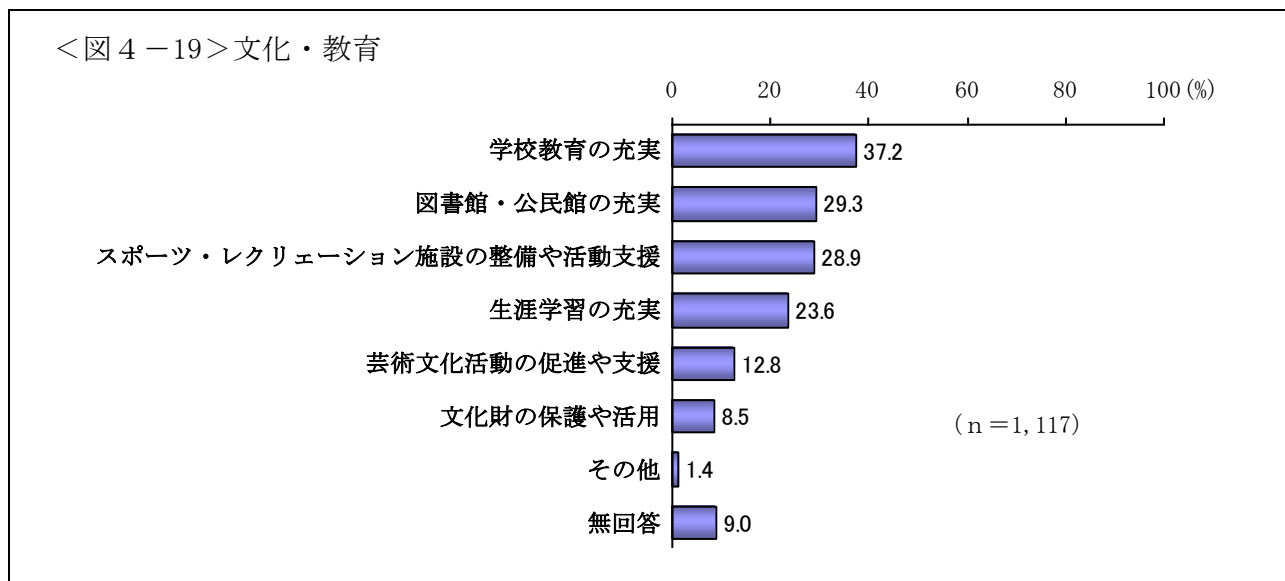
地区別に見ると、「農地の保全や農業の振興」が上富地区のみで4割強となっている。一方、「雇用確保や就労支援」については、上富地区では3割台半ばとなっているのに対し、それ以外の4地域で4割を超えている。(図4-18)

<図4-18>地区別



「文化・教育」について

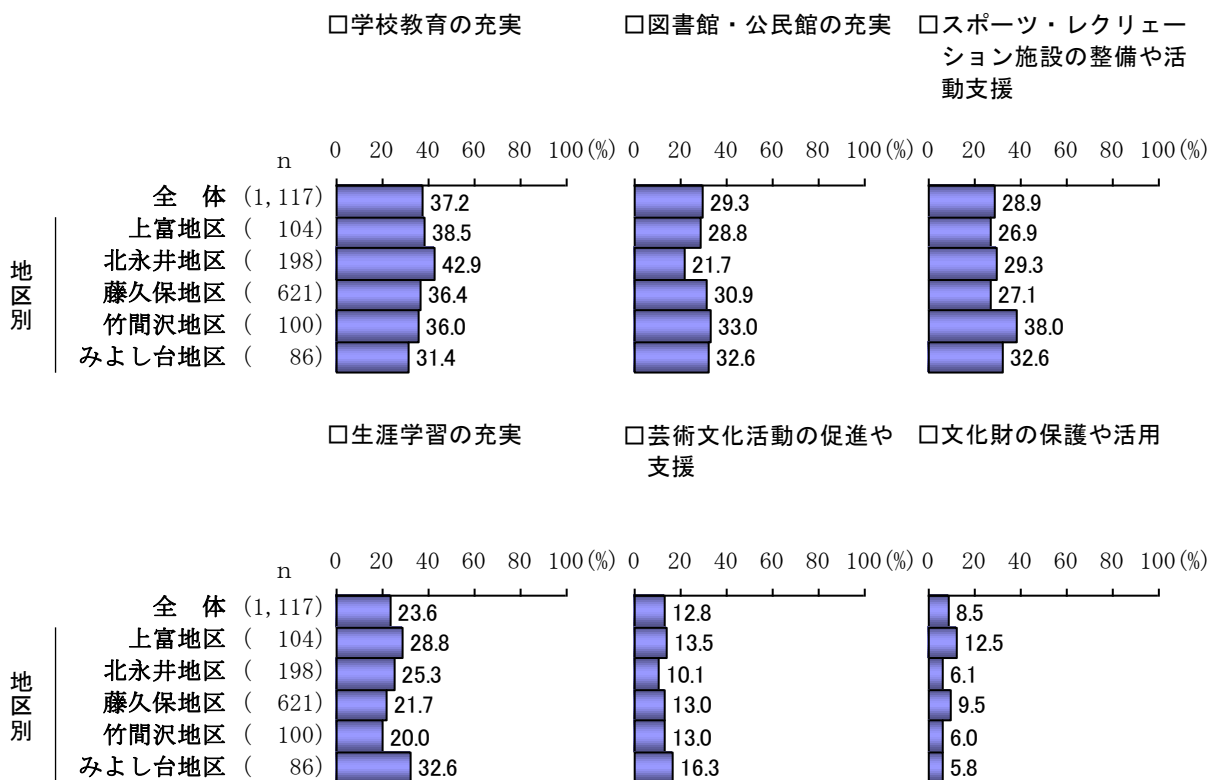
◇「学校教育の充実」が3割台半ば強



今後力を入れるべき文化・教育分野の施策は、「学校教育の充実」(37.2%)が3割台半ば強で最も高い。次いで「図書館・公民館の充実」(29.3%)、「スポーツ・レクリエーション施設の整備や活動支援」(28.9%)が3割弱となっている。(図4-19)

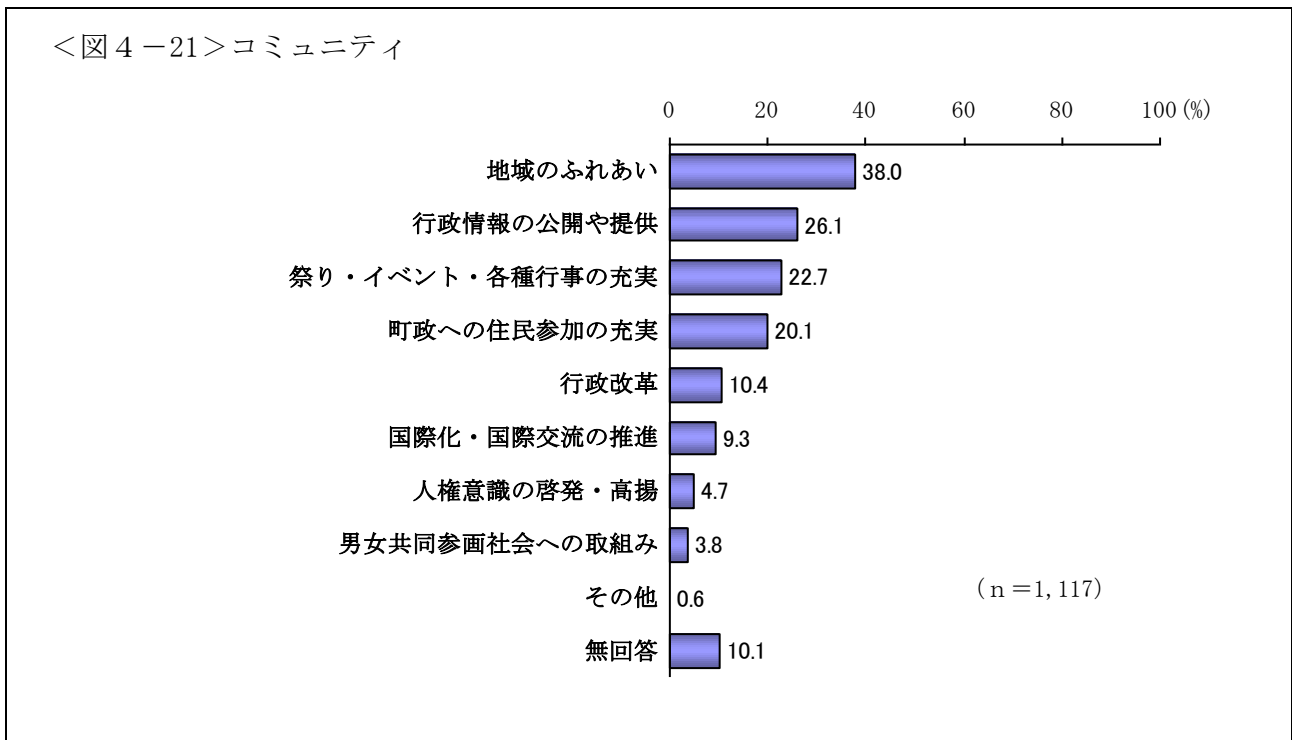
地区別に見ると、「学校教育の充実」が北永井地区のみで4割台半ばに近く、それ以外の地区ではいずれも3割台となっている。一方、「図書館・公民館の充実」については、北永井地区で2割強で、それ以外の4地域では3割前後となっている。また、「スポーツ・レクリエーション施設の整備や活動支援」では、竹間沢地区で4割弱となっている。(図4-20)

<図4-20>地区別(上位6項目)



「コミュニティ」について

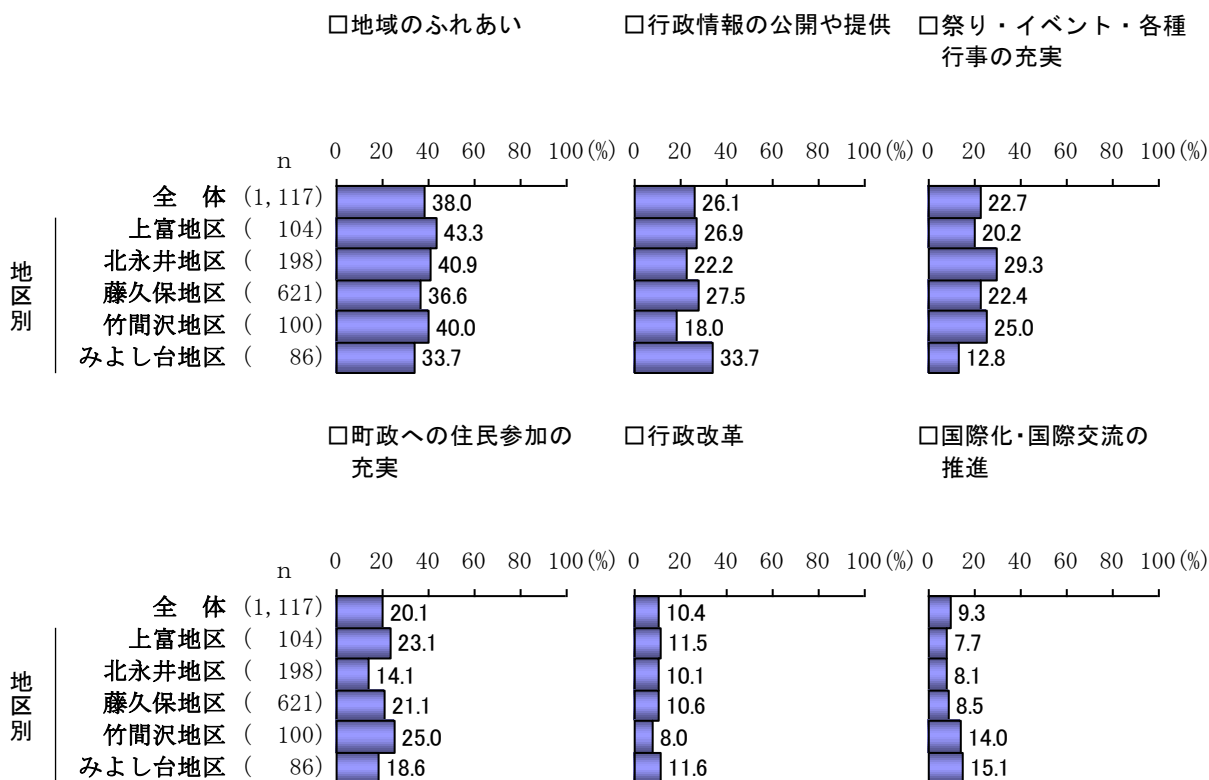
◇「地域のふれあい」が4割弱



今後力を入れるべきコミュニティ分野の施策は、「地域のふれあい」(38.0%)が4割弱で最も高い。次いで「行政情報の公開や提供」(26.1%)が2割台半ばを超える。(図4-21)

地区別に見ると、「行政情報の公開や提供」がみよし台地区で3割台半ばに近い。また、「祭り・イベント・各種行事の充実」では、北永井地区で3割、竹間沢地区で2割台半ばとなっている一方で、みよし台地区では唯一1割台と低くなっている。(図4-22)

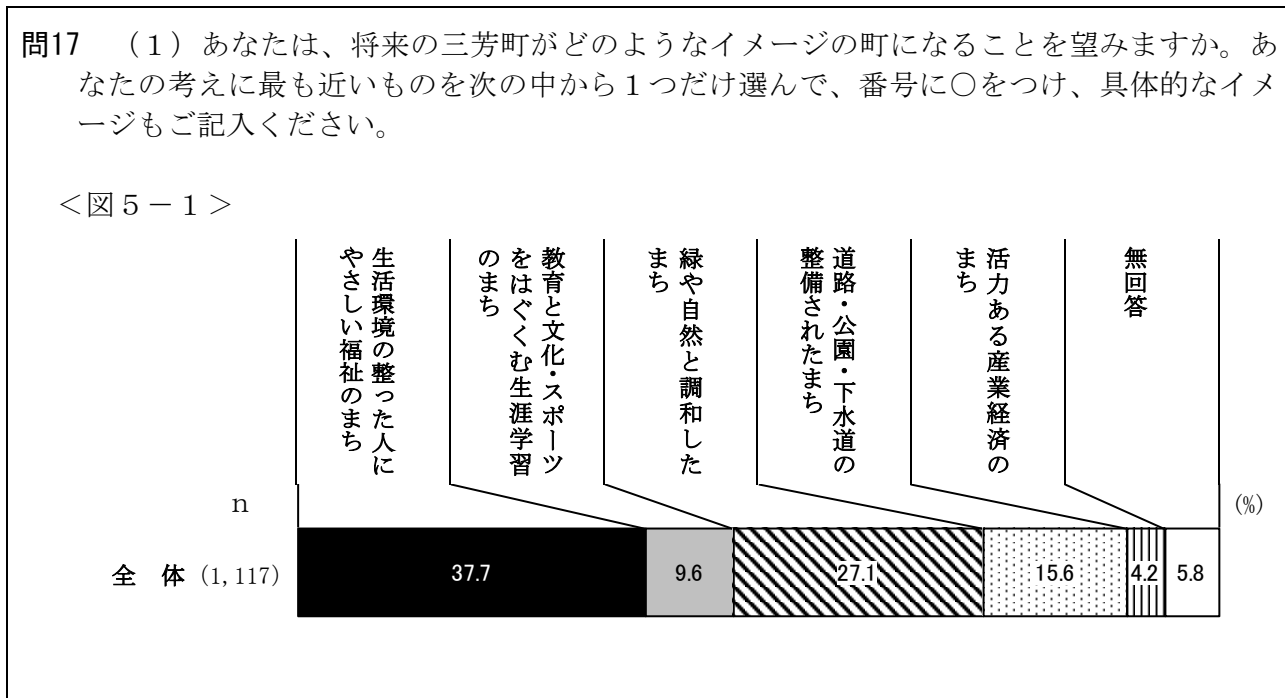
<図4-22>地区別(上位6項目)



5 町の将来イメージ

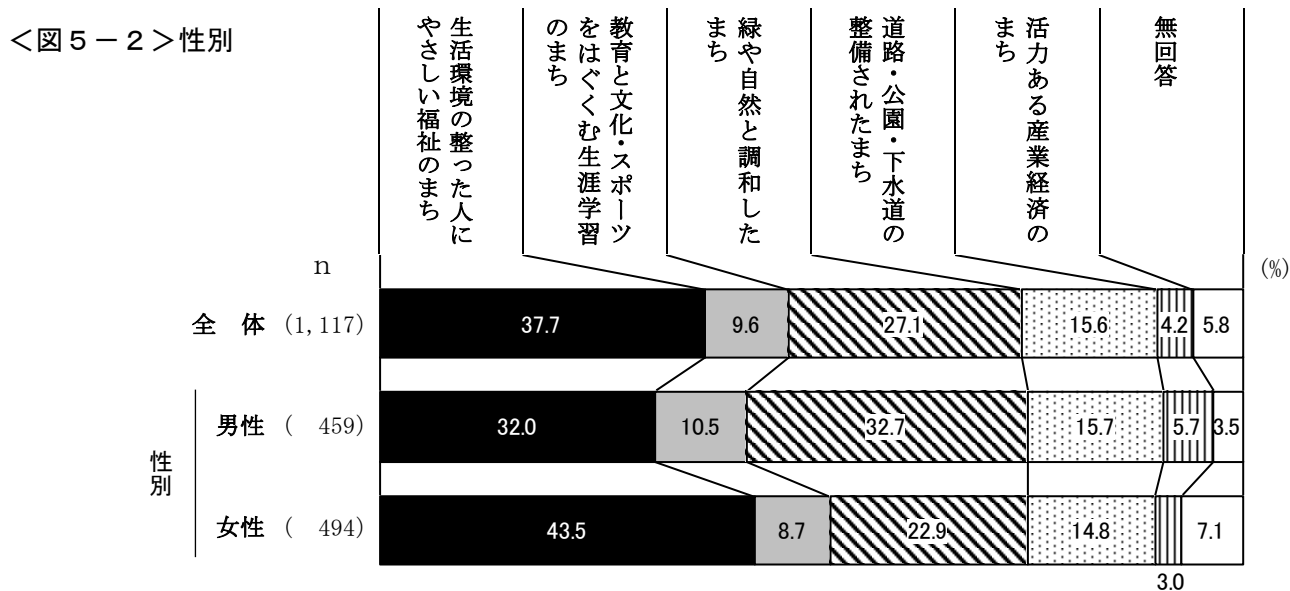
(1) 町に望む将来のイメージ

◇「生活環境の整った人にやさしい福祉のまち」が4割弱



将来の三芳町のイメージについては、「生活環境の整った人にやさしい福祉のまち」(37.7%)が4割弱で最も高い。次いで「緑や自然と調和したまち」(27.1%)が2割台半ばを超える。(図5-1)

性別に見ると、「生活環境の整った人にやさしい福祉のまち」では女性が4割台半ばに近く、男性より12ポイント高い。一方で、「緑や自然と調和したまち」では男性が3割台半ばに近く、女性を10ポイント上回っている。(図5-2)



<具体的な将来のイメージ> 5件以上の回答を抽出掲載

生活環境の整った人にやさしい福祉のまち

・福祉、育児、介護の充実	(76)
・安全なまち（交通安全、防犯など）	(27)
・環境整備された、便利なまち	(22)
・清潔なまち、ごみがない、土埃がない	(21)
・住民が助け合える、ふれあいのあるまち	(11)
・病院、医療の充実	(9)
・老若男女が交流できるまち	(9)
・街灯を増やす、夜明るい	(8)

教育と文化・スポーツをはぐくむ生涯学習のまち

・文化・教育の充実	(25)
・スポーツ施設（プールなど）の整備	(23)
・文化・教育施設の整備	(17)

緑や自然と調和したまち

・緑（自然）の多いまち	(67)
・現在の風景を残す（雑木林など）	(53)
・自然と調和のとれたまち	(20)

道路・公園・下水道の整備されたまち

・公園の整備	(70)
・道路整備（街路樹の整備含む）	(42)
・歩道の確保、整備（段差をなくすなど）	(35)
・区画整理の推進	(21)
・道幅の拡張	(17)
・交通機関の発達	(14)
・下水道の整備	(7)

活力ある産業経済のまち

・商店、企業の誘致	(16)
・農業、地域産業の拡大	(14)

その他

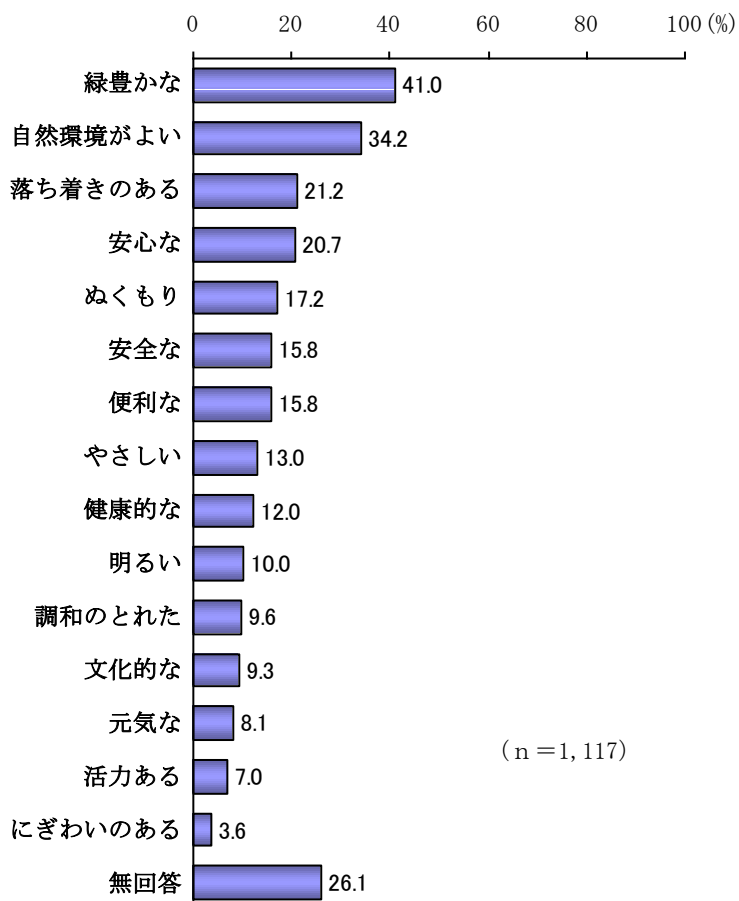
・安心できるまち	(10)
・活気のある、明るいまち	(9)
・住みやすい、住んでいてよかったまち	(8)
・市制への移行、合併をする	(7)
・安らげるまち	(6)

(2) 町の現在のイメージと期待するこれからのイメージ

◇現在のイメージは「緑豊かな」が4割を超える

(2) また、次の言葉の中で「現在のイメージ」と、将来像として期待する「これからのイメージ」を、それぞれあてはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

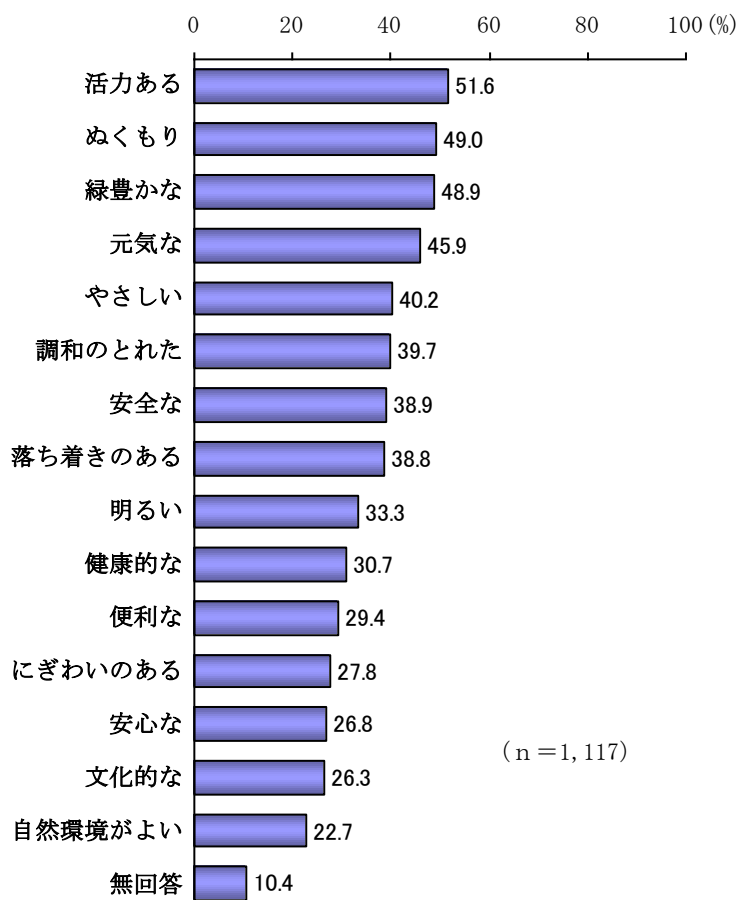
<図5-3>現在の三芳町のイメージ



現在の三芳町のイメージについては、「緑豊かな」(41.0%)が4割を超え最も高く、次いで「自然環境がよい」(34.2%)が3割台半ばとなっている。(図5-3)

◇これからのイメージは「活力ある」が半数を超える

<図5-4>これからの三芳町のイメージ



これからの三芳町のイメージについては、「活力ある」(51.6%)が半数を超え最も高い。以下、「ぬくもり」(49.0%)、「緑豊かな」(48.9%)が約半数、「元気な」(45.9%)が4割台半ばと続いている。(図5-4)

(3) 町の誇りや宝、シンボル等

問18 三芳町の郷土の誇りや宝、シンボルなどについて、あなたはどのように思いますか。次の(1)から(5)の項目について、代表的なものを1つずつ回答欄に記入してください。

5件以上の回答を抽出掲載

(1) 三芳町の誇り・宝

・雑木林（緑）	(91)
・自然（環境）	(75)
・三富開拓地	(40)
・ケヤキ並木	(29)
・多福寺	(29)
・町民、子ども	(21)
・祭り	(17)
・農業、農産物	(16)
・車人形	(12)
・畑	(9)
・松並木（川越街道）	(8)
・旧家	(8)
・住みやすい環境	(8)
・役場	(7)
・上富	(7)
・文化（財）、史跡	(7)
・郷土芸能、お囃子、民話	(5)

(2) 来訪者を案内する町内の場所

・多福寺	(108)
・役場	(55)
・歴史民俗資料館	(31)
・ケヤキ並木	(21)
・こぶしの里	(16)
・三富開拓地	(16)
・上富	(16)
・旧家	(13)
・雑木林	(11)
・松並木（川越街道）	(7)
・畑	(5)
・道路、交差点、パーキング	(5)

(3) 三芳町のお土産として利用するもの

・さつまいも	(265)
・お茶	(53)
・野菜	(36)
・さつまいもの加工品 (芋菓子)	(25)
・農作物	(14)
・シュークリーム	(12)
・くらづくり本舗のお菓子	(10)
・お菓子	(9)
・そば	(9)

(4) 三芳町の象徴 (シンボル)

・ケヤキ並木	(80)
・役場	(71)
・自然・緑・風景	(28)
・みらいくん	(27)
・雑木林 (緑)	(26)
・畑	(19)
・松並木 (川越街道)	(16)
・さつまいも	(6)
・花	(5)
・パーキングエリア、インター	(5)
・土埃	(5)
・ひばり、小鳥	(5)

(5) 三芳町の色 (シンボルカラー)

・緑	(401)
・黄	(30)
・青	(20)
・茶色	(18)
・オレンジ	(15)
・黄緑	(15)
・水色 (ライトブルー)	(13)
・紫	(10)
・若草色	(8)
・グレー、灰色	(6)
・ライトグリーン (ミント、エメラルドグリーン)	(5)
・藤色	(5)

6 自由意見

問19 最後に、三芳町の今後の「まちづくり」に対するご意見、ご提案がありましたら、ご記入ください。

5件以上の回答を抽出掲載、()内は回答件数

1. 環境 (201)

・公園を作る、公園の整備	(65)
・緑を残す、保全	(24)
・ごみ、古紙の回収を増やす (ごみ置場増設、ごみ対策含む)	(23)
・雑木林の保護、活用	(20)
・土埃対策 (休農地対策含む)	(20)
・公害対策 (黒煙、ダイオキシンなど)	(11)
・並木の保護	(9)
・雨水対策 (下水対策含む)	(8)
・雑木林の伐採、整備	(6)
・緑を増やす	(3)
・環境の改善が見られない	(2)
・ドッグランの新設	(2)
・並木の伐採	(1)
・これ以上の開発をしない	(1)
・その他	(6)

2. 都市整備 (240)

・道が狭い、道路建設・整備	(128)
・交通手段、交通網の整備 (バスの増発など)	(63)
・駅、鉄道の設置	(9)
・駐輪場の設置	(7)
・区画整理の推進	(7)
・町のIT化促進 (ケーブル化など)	(6)
・公衆トイレ、ベンチ、エレベーター等の設置	(5)
・住居表示、町案内の整備	(2)
・電波状態の整備、電線を地中へ	(2)
・その他	(11)

3. 安全 (109)

・災害対策（耐震工事など）	(10)
・治安強化、防犯対策	(6)
・交番の設置、警官の常駐	(5)
・学校、幼稚園の防犯対策	(4)
・監視カメラ、防犯装置の設置	(3)
・通学路、学校周辺の防犯、パトロール	(2)
・巡回警官がない	(2)
・その他	(3)

(交通安全)

・道が暗い、街灯の設置	(30)
・交通マナーの向上（無灯火自転車、放置自転車、違法駐車など）	(15)
・交通規則の改善（一方通行化、通行許可など）	(8)
・カーブミラー、ガードレール、信号機の設置	(6)
・スクールゾーンの交通整理	(3)
・道路の死角をなくす	(3)
・自転車走行帯を設ける	(2)
・その他	(7)

4. 社会福祉 (86)

・託児所、保育園、幼稚園の充実	(16)
・福祉、介護の充実	(9)
・福祉施設、高齢者用施設（集会場、運動施設など）の設置	(8)
・子育て支援、児童手当、援助金の支給	(8)
・年金の支払い方法やサービスの改善	(5)
・高齢者が幸せに暮らせるようにする	(4)
・高齢者用住宅の設置	(3)
・ヘルパーの人材育成、質の向上	(2)
・バリアフリー化の推進	(2)
・高齢者が働けるようにする	(2)
・その他	(4)

(医療関係)

・病院の設置、医療設備の充実	(11)
・医療体制の改善、24時間対応	(4)
・医療費の負担減、格安での健康診断	(4)
・小児医療の充実	(2)
・その他	(2)

5. 産業経済 (48)

・小売店の誘致	(12)
・農業のアピール（体験ツアー、農産物販売など）	(11)
・大型小売店（スーパー、デパート）の誘致	(7)
・シンボリック事業、特産品を作る	(4)
・企業の誘致	(3)
・産業、経済の発展	(3)
・イベント、見本市の開催	(2)
・その他	(6)

6. 文化・教育 (102)

・運動施設の設置	(23)
・プール（温水プール含む）の設置	(18)
・学校教育の充実（教員の質向上など）	(15)
・図書館サービスの拡張、充実	(12)
・学校、学習・交流の場の設置	(10)
・娯楽施設（映画館など）の誘致	(5)
・公民館、児童館の拡張、充実	(4)
・学区制の見直し	(3)
・学校、図書館、公民館の有効利用	(2)
・学校でのボランティア活動	(2)
・幼児教育、モラル教育の徹底	(2)
・その他	(6)

7. コミュニティ (224)

・子どもの遊び場、児童館の設置	(18)
・花火まつりの継続	(9)
・集会場、公民館、ホールの設置	(6)
・自治会の再生、町内会・班の廃止	(6)
・町内活動、イベントの開催	(6)
・住宅の供給	(5)
・町民の親睦を図る	(3)
・海外交流、外国人が住みやすいようにする	(2)
・ボランティアの創設	(2)
・その他	(3)

(行政関係)

・税金の無駄遣いをしない（省エネ、無駄な施設など）	(27)
・合併賛成	(23)
・将来を見据えた行政を、ビジョンを明確に	(22)
・合併反対	(12)
・人員削減、リストラをする	(11)
・役場の休日利用を可能に、時間延長	(11)
・住民主体の行政、住民の声を聞く	(10)
・役場の対応改善	(8)
・役場の派出所を設置	(5)
・目に見える成果を示す	(4)
・住民投票を増やす	(3)
・減税	(3)
・若手の登用	(3)
・より住みやすく、行き届いたサービス	(3)
・対外的なアピールをする	(2)
・各部門で専門家を起用	(2)
・広報の内容充実	(2)
・財源に関する情報公開	(2)
・その他	(11)

8. その他 (35)

・昔からの住人が優遇されている、体質が古い	(11)
・安心して暮らせるまちづくり	(8)
・明るく元気なまちづくり	(3)
・住民にやさしいまちづくり	(2)
・その他	(11)